

平成28年度
広島県立美術館年報

平成28年度
広島県立美術館年報



目 次

I	沿革	2
II	展覧会	
	展覧会一覧	5
	特別展	
	1 徳川家康没後400年記念	
	天下太平 徳川名宝展	6
	2 大恐竜展 -よみがえる世界の恐竜たち	10
	3 東山魁夷展 -自然と人、そして町	13
	4 だまし絵の巨匠 エッシャー展	
	-不思議な版画の世界	17
	5 彫金家 清水南山	
	-広島が生んだ近代金工の巨匠	20
	6 第63回日本伝統工芸展広島展	24
	所蔵作品展	28
III	普及活動	
	1 第4回新県美展（第68回広島県美術展）	40
	2 第5回広島県ジュニア美術展	41
	3 博物館実習	43
	4 学校・地域との連携事業	
	「美術作品鑑賞授業」	44
	5 学校等による利用状況	45
	6 県民ギャラリー利用状況	47
	7 友の会事業報告	50
IV	事業実施状況	53
V	業務一覧	59
VI	入館者数一覧	68
VII	美術品等収集状況	70
VIII	美術品等の貸出し	79
IX	関係法規	81
X	名簿	92

I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる
昭和38年 4月	調査費計上
昭和39年 4月	設計委託料計上
10月	建設促進委員会開催
昭和40年 4月	整地費など計上
昭和41年 5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定
12月	建設募金委員会発足
昭和42年 1月	起工式挙行
昭和43年 3月	旧館竣工
4月	広島県立美術館条例施行(昭和43年 広島県条例第20号)
	広島県立美術館管理運営規則施行(昭和43年 広島県教育委員会規則第1号)
	加藤豊館長(常勤)任命
6月	広島県立美術館協議会条例施行(昭和43年 広島県条例第38号)
7月	広島県立美術館協力会結成
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和43年 広島県教育委員会規則第13号)分掌事務
21日	落成式挙行
22日	旧館開館
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定
昭和44年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和44年 広島県教育委員会規則第2号)
	職員の職・職員の職務
	館藏品常設展開設
昭和46年 4月	宮地貫一館長事務取扱任命
昭和47年 1月	広島県立美術館友の会発足
5月	浜本正弘館長事務取扱任命
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和47年 広島県教育委員会規則第11号)職員の職
	羽白幸雄館長(非常勤)任命
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
昭和48年 6月	広島県立美術館条例一部改正(昭和48年 広島県条例第30号)
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年 広島県教育委員会規則第14号)補助職員の職及び職務
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和48年 広島県教育委員会規則第19号)職員の職等
昭和49年 3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和49年 広島県教育委員会規則第4号)その他の職員の職

昭和50年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和50年 広島県条例第25号)施設使用料
昭和51年 4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和51年 広島県条例第9号)入館料
昭和52年 2月	広島県美術展開催運営規則施行(昭和52年 広島県教育委員会規則第2号)
昭和53年 10月	開館10周年記念展開催
昭和54年 3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和55年 2月	収蔵庫拡張工事完了
4月	定宗一宏館長(非常勤)任命
	広島県立美術館条例一部改正(昭和55年 広島県条例第19号)施設使用料
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和55年 広島県教育委員会規則第10号)
昭和56年 4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正(昭和56年 広島県教育委員会規則第5号)課の名称変更・入館料の免除
	広島県立美術館美術品等取得基金条例施行(昭和56年 広島県条例第5号 基金額1億円)
10月	広島県美術品等取得基金運用規定制定
	美術品等収集委員会設置要領制定
昭和57年 3月	定宗館長辞職
4月	広島県立美術館条例一部改正(昭和57年 広島県条例第10号)入館料・施設使用料
	阿川静明館長(非常勤)任命
9月	縮景園窓口入園窓口を設置
昭和60年 3月	阿川館長辞職
4月	赤木博典館長(常勤)任命
昭和61年 10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
昭和62年 2月	渋谷文庫開設
3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想案をまとめる
	赤木館長辞職
4月	吉岡典威館長(兼務)任命
11月	県教育委員会、広島県立美術館整備構想検討委員会を設置、委員8名を委嘱
昭和63年 4月	菅川健二館長(兼務)任命
	広島県立美術館条例一部改正(昭和63年 広島県条例第7号)入館料・施設使用料
	広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額(基金額2億円)
11月	広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
平成元年 3月	さところ文庫開設
5月	広島県立美術館整備基金計画検討委員会を設置、委員14名を委嘱(座長 橋口収県商工

		会議所連合会会長)			を増額(基金額50億円)
	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱	平成9年	3月26日	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料
平成2年	4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億円を増額(基金額7億円)		4月1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定
	12月	知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁	平成10年	3月24日	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付
平成3年	2月	知事、県議会本会議において「基金設計に着手する」ことを提案		7月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)
	3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)を可決	平成12年	2月1日	辰野裕一館長(兼務)就任
	4月	広島県立美術館整備基本計画をまとめる美術品等特別収集に着手	平成13年	3月26日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正
		広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)		29日	広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止
平成4年	7月	施設利用業務休止。館蔵品常設展示室休室		7月10日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成12年 広島県教育委員会規則第5号)入館料等の減免
	9月	閉館記念式典挙行		10月22日	常盤豊館長(兼務)就任
	10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする		12月20日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免
		旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手	平成14年	3月25日	平山郁夫名誉館長辞任
		広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)		4月1日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化
平成5年	3月	解体工事、整地完了		4月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更
		新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手	平成16年	7月1日	関靖直館長(兼務)就任
	4月	久保信保館長(兼務)任命	平成17年	12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限
	12月	寺脇研館長(兼務)任命			広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正
平成6年	5月	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)	平成19年	4月1日	榎田好一館長(兼務)就任
		事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2 幟会館(2階)に移転		6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正
		広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)		12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正
平成7年	4月	常廣泰登館長(専任)任命	平成20年	4月1日	指定管理者制度導入
		広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)	平成21年	4月1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行
	12月	新館竣工			広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号)
平成8年	1月	新館鍵引渡し式を挙行			広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)
	4月1日	事務所を新館に移転			藤田雄山館長(兼務)就任
	7月1日	木曾功館長(兼務)就任	平成21年	12月1日	平田光章館長(兼務)就任
	5日	平山郁夫名誉館長就任	平成22年	4月1日	抹香尊文館長(兼務)就任
	22日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料		6月1日	広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
		広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料			
	10月1日	「広島県立美術館コレクション選」発刊			
	5日	新館開館記念式挙行			
	6日	新館開館			
		広島県立美術館美術品等取得基金、5億円			

28日	広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤 廃に伴う改正		
平成23年 4月 1日	越智裕二郎館長就任	平成26年 3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県 条例第17号、第23号)入館料・施設使用料 及び開館時間
6月29日	広島県立美術館評価委員会設置	平成27年 3月16日	広島県立美術館条例一部改正(平成27年 広島 県条例第3号)展示施設等の利用料金の減免
7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、 入館料の納付等および減免、利用料金の納 付等・減免及び収入	4月 1日	千足伸行館長就任
平成24年 4月 1日	広島県立美術館の入特別展の観覧に係る入 館料に関する規則一部改正(平成24年 広島 県規則第38号)	平成28年 3月22日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広 島県条例第7号)入館料・利用料金の減免、 所蔵作品展の利用料金の範囲
平成25年 2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用 申込期間の変更	10月12日	広島県立美術館条例一部改正(平成28年 広 島県条例第47号)指定管理による管理、入 館料の納付等、利用料金の納付等、入館料 の減免、利用料金の減免、利用料金の収入
3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館 料に関する規則一部改正(平成25年 広島県 規則第13号)広島県立美術館条例一部改正	平成29年 3月23日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平 成29年 教育委員会規則第1号)利用料金の 減免、利用料金の減免の申請

Ⅱ 展覧会

展覧会一覧

特別展

No.	展 覧 会 名	会 期
1	徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展	平成28年 4 月 1 日(金)～ 5 月29日(日)
2	大恐竜展 -よみがえる世界の恐竜たち	平成28年 7 月23日(土)～ 9 月 4 日(日)
3	東山魁夷展 -自然と人、そして町	平成28年 9 月17日(土)～10月30日(日)
4	だまし絵の巨匠 エッシャー展 -不思議な版画の世界	平成28年11月11日(金)～12月25日(日)
5	彫金家 清水南山 -広島が生んだ近代金工の巨匠	平成29年 1 月 6 日(金)～ 2 月12日(日)
6	第63回日本伝統工芸展広島展	平成29年 2 月23日(木)～ 3 月12日(日)

所蔵作品展

	展 覧 会 名	会 期
第1期	彫刻展示スペース	平成28年 4 月19日(火)～ 7 月10日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	
第2期	彫刻展示スペース	平成28年 7 月13日(水)～ 8 月28日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	
第3期	彫刻展示スペース	平成28年 8 月31日(水)～12月18日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	
第4期	彫刻展示スペース	平成28年12月22日(木)～平成29年 4 月16日(日)
	第1室	
	第2室	
	第3室	
	第4室	

1 徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展

- 会 期／平成28(2016)年4月1日(金)～5月29日(日)
- 主 催／広島県立美術館、テレビ新広島、イズミテクノ、
中国新聞社、公益財団法人徳川記念財団
- 後 援／広島商工会議所、広島経済同友会、広島テレビ、
広島ホームテレビ、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6Mhz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1Mhz、
FM東広島89.7 Mhz
- 協 賛／テラル、広島県信用組合、いのうえグループ、
賀茂鶴酒造、にしき堂、広島ガス、広島銀行、
広島市信用組合、広島信用金庫、広島電鉄、広島東照宮、
フマキラー、豊国工業、マツダ、三菱倉庫、もみじ銀行、
日本宝樹会、プラッツ、オタフクソース、ザイエンス、
中国醸造、中国電力、中国放送、中電工、徳川チェーン、
フジタ、(日東製網、一心寺、奥田商事、ヒロクラ)
- 特別協力／日光東照宮、久能山東照宮、大樹寺、日光山輪王寺、増上寺、寛永寺、
公益財団法人徳川黎明会、公益財団法人徳川ミュージアム
- 入 館 料／一 般 1,200(1,000)円
高・大学生 700(500)円
中学生以下無料
※()内は前売・20人以上の団体料金
- 入館者数／43,857人(51日間)



応仁の乱から150年近く続いた戦乱を終らせ、以後250年にわたる太平の世を導くことになった徳川家康(1542-1616)。その没後400年を迎える節目の本展では、家康の遺愛品や自筆書画、消息等の資料から、その人となりを知ると共に、将軍家・御三家ゆかりの寺社などに受け継がれた名宝、太平の世のもとに成熟する豊穡な暮らしが生み出した多彩な作品を加えて、「徳川の平和(Pax Tokugawana)」とも呼ばれる江戸時代の繁栄を象徴する総数170点の品々を展観した。(本展担当者：隅川 明宏)

関連事業

- (1) 記念講演会「太平の世の美術」
日 時：4月1日(金) 13:30～
場 所：地階講堂
講 師：榊原 悟(本展監修者、岡崎市美術博物館長)
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：105人
- (2) 記念講演会「パクス・トクガワナへの道」
日 時：4月17日(日) 13:30～
場 所：地階講堂
講 師：徳川 恒孝(徳川宗家18代当主、公益財団法人徳川記念財団)

共 催：広島県立美術館友の会

参加者：290人

(3) 記念講演会「辻ヶ花に迫る！～復元・修理を通して～」

日 時：5月8日(日) 13:30～

場 所：地階講堂

講 師：矢野 俊昭(染織文化財修復家)

共 催：広島県立美術館友の会

参加者：106人

(4) 美術講座「御用絵師狩野派と広島」

日 時：5月22日(日) 13:30～

場 所：地階講堂

講 師：隅川 明宏(当館学芸員)

参加者：84人

(5) 学芸員によるギャラリートーク

日 時：4月8日(金)、22日(金)、5月13日(金)、27日(金) 各回11:00～

場 所：3階企画展示室(5/27のみ地階講堂)

参加者：計205人(52人、55人、61人、37人)

(6) ウェブレポーター大募集！

日 時：4月8日(金) 17:00～19:30

場 所：3階ロビー

参加者：10人

(7) 出世大名家康くん握手会

日 時：5月5日(木) 10:30～ 13:30～ 15:30～

場 所：3階ロビー

参加者：計136人(40人、51人、45人)

(8) ロビーコンサート(徳川家康公ジャズ組曲ほか)

「守屋純子×中村健吾ジャズデュオ・コンサート」

日 時：4月16日(土) 13:00～

演 奏：守屋 純子(ピアニスト・コンポーザー) 中村 健吾(ベーシスト・コンポーザー)

参加者：202人

主要関連番組・広告・記事

○ラジオ番組

4月5日(火) 尾道エフエム放送「You Gotta Radio」

4月7日(木) FMはつかいち「いきいきfactory」

4月21日(木) FM東広島「和のころ」

4月26日(火) 広島FM放送「DAYS」

○テレビ番組

1月26日(火) テレビ新広島(記者発表)

2月16日(火) BSスカパー「Newsザップ」(展覧会紹介)

3月31日(木) テレビ新広島(内覧会)

4月5日(火) テレビ新広島「満点ママ」(会場生中継)

4月10日(日) NHK「日曜美術館」(アートシーン)

4月17日(日) NHK(開催中)

4月19日(火) テレビ新広島(入場1万人)

5月5日(木・祝) テレビ新広島(出世大名家康くん登場)

5月8日(日) フジテレビ「新報道2001」(展覧会紹介)

5月13日(金) テレビ新広島(入場3万人)

○新聞記事

1月26日(火) 中国新聞 社会面(社告)
1月27日(水) 中国新聞 社会面「江戸の粋『徳川名宝展』の概要発表」
産経新聞 (記者発表)
3月18日(金) 朝日新聞 (来月開催)
3月26日(土) 中国新聞 文化面「江戸期 多彩な美とスピリット 広島で徳川名宝展」
3月28日(月) 中国新聞 特集「徳川名宝展」
3月30日(水) 中国新聞 経済面「徳川家とコラボ 葵もみじいかが」
4月2日(土) 中国新聞 社会面「太平が育んだ美 徳川名宝展始まる」
4月9日(土) 中国新聞 文化面「将軍の権威示す松 監修の榊原さん」
4月20日(水) 中国新聞 社会面「徳川名宝展1万人」
4月29日(金) 中国新聞 (事業ガイド)
4月30日(土) 中国新聞 文化面「狩野探幽 躍動する筆致」
5月6日(金) 産経新聞 (紹介)
5月14日(土) 中国新聞 社会面「徳川名宝展3万人」
産経新聞 (入場3万人)
5月19日(木) 中国新聞 広場面「潮流 ベネチアと江戸の美」
毎日新聞 備後版「毎日美術館」
5月24日(火) 中国新聞 文化面「徳川名宝展に寄せて」

○雑誌等広告・記事

フリーペーパー『旨い!広島・宮島(広島観光パスポート)』春号
『サライ』2016年4月号(3/10発売)
『シック』春号
『Qdas』
『美術のフリーマガジン「つくりびと」』44号(3/1発売)
株式会社good speed『ザ・マイカー』4月号(2/20発売)
春秋社『月刊 経済春秋』3月号(2/25発売)(寄稿)
株式会社アスコン『Coccal』春号(3/10発行)
株式会社アスコン『ウインク』4月号(3/23発行)
株式会社アドプレックス『TJ Hiroshima』4月号(3/25発行)
株式会社K.M.N『KURE: BAN』4月号(4/1発行)
広島県立美術館友の会『色絵馬』75号(4/10発行)
株式会社amico design『ワイエムレポート』4月号(4/1発売)
経済レポート『経済レポート』4月19日号(4/19発行)
春秋社『月刊 経済春秋』5月号(4/25発売)
『家庭画報』5月号(4/1発売)
リクルート『ホットペッパー』(広島版、3/25発行)
藤樹社『書道界』4月号(4/15発行)
刀剣春秋『刀剣春秋』3月号(3/1発行)、4月号(4/1発行)
日本宝樹会『さつき研究』4月号(4/5発売)・5月号(5/2発売)
日本宝樹会『趣味の山野草』4月号(4/12発売)・5月号(5/12発売)
一般社団法人日本盆栽協会『盆栽春秋』4月号(4/1発売)・5月号(5/1発売)
『花saku』5月号
『フラワーフェスティバル公式ガイド』
中国新聞社『Cue』4月8日号
アートコレクションハウス『arch』4月号

○ウェブ

株式会社システムフレンド『まいぶれ広島』

NPOひろしまインターネット美術館『わくわくつくログ!』

株式会社イーエム『ミニナルアート』

『ウォーカープラス』

交通新聞社『トレたび』

広島県立美術館HP、メールマガジン、ツイッター、フェイスブック

カタログ内容

あいさつ

「天下太平 徳川名宝展」開催にあたって
平和と繁栄の時代の輝き

徳川 恒孝

徳川 家広

●特別鼎談 徳川 恒孝、大石 学、半藤 一利

●図版

第一章 徳川家康—戦国の覇者

第二章 葵の系譜—神君家康の血統

第三章 太平の世—威光の演出と都市の表現

●論文・資料

葵三代肖像画論—絵画の領分

榊原 悟

天下太平の構築—頼山陽の徳川家康観

濱野靖一郎

大樹寺「東照大権現坐像」とその位相
作品解説

塩澤 寛樹

展覧会巡回先

新潟市美術館 平成28年7月30日～9月25日



2 大恐竜展 ―よみがえる世界の恐竜たち

会 期／平成28(2016)年7月23日(土)～9月4日(日)
主 催／広島県立美術館、読売新聞社、広島テレビ、イズミテクノ
後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz
協 賛／広島県信用組合
特別協力／福井県立恐竜博物館
協 力／飯田市美術博物館、群馬県立自然史博物館、
三重県総合博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館
入 館 料／一 般 1,200(1,000)円
高・大学生 1,000(800)円
小・中学生 600(400)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／88,287人(44日間)



全長17mのスピノサウルスやトリケラトプスなどの全身骨格や復元生体モデルを展示し、また巨大恐竜ロボットによる餌やり体験など、その生体もリアルに紹介。アンモナイト発掘体験や写真撮影スポットなど恐竜の時代を体感できるコーナーも設け、太古の昔に君臨した恐竜の姿を復元するにとどまらず、恐竜の生きた時代をダイナミックに再現した。
(本展担当：角田 新)

関連事業

- (1) 福井県立恐竜博物館東洋一特別館長によるギャラリートーク
本展の企画に特別協力をいただいている福井県立恐竜博物館の東洋一特別館長によるギャラリートーク。実際の標本を前に、最新の研究成果、発掘・復元作業の様子なども交えて解説いただいた。
日 時：7月23日(土) 11:00～
場 所：3階企画展示室
講 師：東 洋一(福井県立恐竜博物館特別館長)
参加者：60名
- (2) 恐竜アニメ映画上映会
日 時：7月23日(土)、7月24日(日) 各日10:30～、13:30～
場 所：地階講堂
上映作品：「おまえうまそうだな」(監督・藤森 雅也、2010年公開、89分)
参 加 者：395名
- (3) ビギナーズ・トーク
初心者の方でも恐竜の世界を楽しんでいただける解説を展示室にて実施。(各回30分程度)
日 時：7月29日(金)、8月12日(金)、8月26日(金) 各日11:00～、18:00～
場 所：3階企画展示室内
講 師：当館学芸員
参加者：240名
- (4) ウェブレポーター大募集！
日 時：7月29日(金) 17:00～19:30
場 所：3階ロビー
参加者：20名

主要関連番組・広告・記事

○ラジオ番組

- 7月12日 キラリはつかいち／7／12放送／FMはつかいち
- 7月18日 素敵にティータイム／7／18放送／FMふくやま
- 7月28日 欲張りファクトリー／7／28放送／FMはつかいち
- 8月2日 ユウガッタ・レディオ／8／26 18：20／FM尾道
- 8月25日 イーストじゃけん／8／26 14：08／FM東広島

○テレビ番組

- 7月23日 広島テレビ(お昼のニュース)
- 7月24日 NHK(お昼のニュース、夕方ニュース)

○新聞記事

- 1月7日 読売新聞 事業ページ 今年の主なイベント紹介
- 5月21日 読売新聞 中国四国エリア 社告
- 6月8日 読売新聞 読売プレミアム 夏休みイベント紹介
- 6月27日 読売新聞 近畿、中国、四国エリア わいず倶楽部イベント告知
- 6月29日 読売新聞 広島県版 ゆめタウンイベント掲載
- 7月6日 読売新聞 広島県版 親子新聞教室告知
- 7月23日 読売新聞 広島県版 今日開幕
- 7月24日 読売新聞 社会面 開幕記事
- 7月24日 読売新聞 中国エリア 開幕記事
- 7月26日 読売新聞 事業ページ 恐竜展紹介
- 7月26日 中国新聞 全5段 カラー テレビ欄下 イベント紹介の中で
- 7月29日 読売新聞 科学面 恐竜展紹介
- 7月30日 読売新聞 広島版 1万人突破
- 7月30日 産経新聞(朝刊)
- 8月11日 読売新聞 広島版 3万人突破
- 8月14日 読売新聞 中国エリア 連載1回目
- 8月15日 読売新聞 中国エリア 連載2回目
- 8月15日 読売新聞 近畿、中国、四国エリア わいず倶楽部イベント開催
- 8月18日 読売新聞 中国エリア 連載3回目
- 8月19日 読売新聞 中国エリア 連載4回目
- 8月22日 読売新聞 中国エリア 連載5回目、親子新聞教室開催
- 8月26日 中国新聞 全5段 白黒 イベント紹介の中で
- 8月27日 読売新聞 広島版 7万人突破
- 9月5日 読売新聞 広島版 閉幕記事

○雑誌等広告・記事

- るるぶ情報版『広島 宮島 尾道 呉17』／6月中旬
- 世界遺産登録20周年観光キャンペーン(2／28)
- まいんど(3／13)
- 学校共済組合(4／25)
- 家族で遊ぼう！おでかけBOOK／7月初下旬
- ことりっぷ 広島版(7／1)
- 家族で遊ぼう！おでかけBOOK／7月初下旬
- 地域情報紙『ぶれすしーど』 チケットプレゼント／6月～7月
- Fanfare!+(プラス)(5／10) ※チケットプレゼント
- 美術の窓(6／20) ※チケットプレゼント
- TJHiroshima(7／25) ※チケットプレゼント
- マイカー8月(6／20) ※チケットプレゼント
- ウェンディ広島7月号 ※チケットプレゼント
- 不動産ニュース ※チケットプレゼント
- TJHiroshima「西日本おでかけマンスリー」
- 美術の窓8月号(7／20) ※チケットプレゼント
- ホットペッパー高知版(7／22)
- Cue(7／15) ※チケットプレゼント
- Cue(8／5)
- アランビックタイアップチラシ



月刊くれえばん／8月 ※チケットプレゼント
ばけた広島・宮島(7/27)
広島中心部・広島駅前 街歩きマップ(7/28)
男の隠れ家(7/30)

○ウェブ

4月19日 ウェブ／地方職員共済組合HP「7月・8月おすすめ情報」／地方職員共済組合広島県支部
4月26日 ウェブ／JAF Mate 7月号／一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)
5月17日～ ●(ネット)広テレHP内 イベントページ 恐竜展
5月24日 ウェブ／ひろしまナビゲーター／公益財団法人 広島観光コンベンションビューロー
ウェブ／ぴあ／ぴあ株式会社 ※チケットプレゼント
ウェブ／まいぶれ広島／株式会社システムフレンド ※チケットプレゼント
ウェブ／わくわくつくログ!／NPOひろしまインターネット美術館 ※チケットプレゼント
ウェブ／ミニナルアート／株式会社イーエム ※チケットプレゼント
5月31日 ウェブ／Walkerplus 7月／写真工房アンセル
7月19日 ウェブ／まいぶれ広島／株式会社システムフレンド
7月20日 ウェブ／友の会HP／7/21/広島県立美術館友の会
8月～ ●(SNS)イベント情報番組「エンタの達人」SNS公式アカウントでの告知(FB、TW)

○その他の広報

チラシミュージアム／5/27/株式会社 イープラス ※チケットプレゼント
ファミリーマートの中四国全店舗の店頭外向きのポスター／6/28～7/25
NAVIA／6/1～
7月～8月 ●(車両広告)タクシー車両に割引券設置(第一交通タクシー 計250台)
7月～8月 ●(車両広告)JR 山陽本線車両にポスター掲示
車両：JR西日本 山陽本線(三原から岩国)・呉線227系(通称：Red Wing)
枚数：1車両1枚 B3〈これを未来の遊園地と半分〉(広島エリア総車両数：158)・掲示場所：
車両ドア横
7月～ ●(ビラ配布)広島テレビ住宅展示場 チラシ設置
7月27～9月4日 ●(ビラ配布)チームラボアイランド 踊る美術館と学ぶ未来の遊園地 会場にて

○その他イベント

5月21～22日 ●「子育て応援団すこやか2016」広テレ・ブース内での告知
37,354人が来場。2日間とも午前中に来場者のピークがあったが、その後も安定的に来場があった。
※缶バッジ製作数は約1,000人 (その他チラシ配布多数)

カタログ内容

- 01 恐竜は「怪獣」ではない
 - ・恐竜とは？
 - ・地球史の中の恐竜時代
 - ・恐竜のなかま
 - ・変わる恐竜像
 - 02 恐竜を科学、復元する
 - ・恐竜の発掘
 - ・日本での恐竜発掘
 - ・発掘から復元まで
 - ・さまざまな研究アプローチ
 - ・角竜とは？
 - ・比較し分類する
 - ・恐竜がいた環境を知る
 - 03 よみがえる恐竜たち
 - ・アニマトロニクスでの復元
 - ・恐竜の声を復元
 - ・画で復元
 - ・CGで復元
- 標本リスト



3 東山魁夷展 —自然と人、そして町

会 期／平成28(2016)年9月17日(土)～10月30日(日)
前期：9月17日～10月2日、後期：10月4日～10月30日
主 催／広島県立美術館、中国新聞社、中国放送、イズミテクノ、
日本経済新聞社
後 援／広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz
協 賛／リベラ、広島県信用組合
特別協力／唐招提寺
協 力／東京国立近代美術館、長野県信濃美術館 東山魁夷館
入 館 料／一 般 1,300(1,100)円
高・大学生 900(700)円
小・中学生 600(400)円
※()内は前売・20人以上の団体料金
入館者数／72,030人(40日間)



清澄で深い情感をたたえた風景画で知られる日本画家・東山魁夷(1908-1999)。横浜に生まれ、東京美術学校で学んだ画家は、風景との真摯な対話を通じて生み出した精神性の高い作品により、戦後の日本画壇に大きな足跡を残した。

中国地方では17年ぶりの本格的な回顧展となる本展では、初期から晩年までの代表作により、国民的画家とうたわれた東山魁夷の画業の変遷をたどるとともに、およそ10年の歳月をかけて完成させた、画業の集大成というべき唐招提寺御影堂の障壁画全68面を特別展示。同寺でも年に数日間しか公開されない本作をはじめ、日本人の自然観や心情までもが表現された詩情豊かな作品約80点を通し、画家の奥深い絵画世界を紹介した。
(本展担当者：藤崎 綾)

関連事業

(1) 記念講演会

①日 時：9月17日(土) 13:30～

講 師：尾崎 正明(本展監修者・茨城県近代美術館館長)

演 題：「東山魁夷の生涯と芸術」

共 催：広島県立美術館友の会

参加者：247人

②日 時：9月22日(木・祝) 13:30～

講 師：石田 太一(唐招提寺 副執事長)

演 題：「東山魁夷画伯と唐招提寺 —鑑真和上の道を辿る旅路—」

参加者：315人

(2) ワークショップ

日 時：10月8日(土) 13:30～

講 師：廣藤 良樹(日本画家)



内 容：「日本画に挑戦しよう！」

対 象：小・中学生(保護者同伴可)

参加者：計19人(小学生17人・中学生2人)

(3) ギャラリートーク

日 時：9月23日(金)、9月30日(金)、10月7日(金) 各回11:00～

10月7日(金)、10月14日(金) 各回18:00～

参加者：計314人(各回：73人、81人、83人、34人、43人)

(4) ウェブレポーター

日 時：9月23日(金) 17:00～

参加者：18人

(5) アートと私の美味しい時間 賀茂金秀で楽しむアート、イタリアン、生演奏

日 時：9月30日(金) 17:00～20:45

内 容：解説付き展覧会鑑賞と日本酒解説

参加者：48人

(6) ロビーコンサート

①「東山魁夷と巡る音楽の旅」

日 時：9月25日(日) 12:00～

演 奏：平福 知夏(ソプラノ) 根石 照久(フルート)

土門華奈子(ピアノ)

参加者：266人

②「東山魁夷の愛したモーツァルト」

日 時：10月9日(日) 12:00～

演 奏：上野 眞樹(ヴァイオリン) 三島 良子(ピアノ)

参加者：413人

主要関連番組

(1) テレビ

RCC 15秒スポットCM(7月23日～10月30日 278本以上)

『イマなまっ!』(「くらしナビ」 8月30日)

ミニ番組『日本画家 東山魁夷』(4回シリーズ 9月5日、9月12日、9月19日、9月26日)

『エンタがR』(障壁画30秒編 9月5日、障壁画60秒編 9月12日・26日・10月24日、

障壁画45秒編 9月19日・10月10日・17日)

『dポんなび』(9月10日・17日・18日)

昼ニュース・夕方ニュース(開会式 9月17日)

『イマなまっ!』(1万人セレモニー 9月23日、3万人セレモニー 10月7日、5万人 10月22日)

NHK 日曜美術館「アートシーン」(7月24日)

(2) ラジオ

RCCラジオ 20秒スポットCM(6月24日～10月30日 313本以上)

『らじぼんモーニング』(前売券発売中告知 8月10日～14日)

『ぱりしゃきNOW』(9月5日)、『京橋の杜 ON SATURDAY』(9月10日)

『田口麻衣のらじぼん』(9月12日)

ラジオカー中継『一文字弥太郎の週末ナチュラルリスト』(9月24日)

『歌のない歌謡曲』(10月6日)

エフエムふくやま『レディオBINGO』(9月27日)

エフエムはつかいち『昼はまるごと761 ラジオカー』(10月4日)

エフエムおのみち『You Gotta Radio』(10月4日)

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞

記事：2月9日(「魁夷の青 広島で会える 唐招提寺障壁画巡回展前に法要」)、6月16日(社告)、7月8日(「東山魁夷展の早割券販売中」)、7月9日(中国新聞セレクト「東山魁夷展の早割券販売中」)、7月15日(「事業ガイド 唐招提寺の障壁画 広島初」)、7月16日(中国新聞セレクト「唐招提寺の障壁画 広島初」)、7月16日(東山魁夷の画業たどる 福岡きょう開幕)、8月9日(中国新聞セレクト「日本画体験 小中生募る」)、8月10日(「ふれあい 日本画 自然との対話重ね 東山魁夷展 来月17日から広島」)、8月12日(「割引券に人気の『白馬』」)、8月13日(中国新聞セレクト「割引券に人気の『白馬』」)、8月19日(五感で楽しむ美術・食・音楽)、8月26日(「図録・前売り券セットで」)、8月27日(中国新聞セレクト「図録・前売り券セットで」)、9月2日(「代表作解説する講座も」)、9月2日(「入場料割引など入館者増へ連携 県立・ひろしま両美術館」)、9月3日(中国新聞セレクト「代表作解説する講座も」)、9月9日(「作品に迫る記念講演会」)、9月14日(「自然と語らう 東山魁夷展 17日から広島県立美術館」)、9月16日(「無料招待 感想ネットに」)、9月17日(中国新聞セレクト「無料招待 感想ネットに」)、9月17日(「東山魁夷展 名品ぞろい 広島県立美術館きょう開幕」)、9月18日(「集大成の障壁画 壮観 広島県立美術館 東山魁夷展開幕」)、9月19日(「静寂の風景 東山魁夷展・上 残照」)、9月20日(「静寂の風景 東山魁夷展・中 緑響く」)、9月21日(「静寂の風景 東山魁夷展・下 夕星」)、9月22日(臺信祐爾「心洗われる「一筋の道」名品80点 唯一無二の出会い」)、9月24日(「東山展に1万人 広島県立美術館でセレモニー」)、9月28日(古谷可由「深き交流 磨かれた感性 川端康成と東山魁夷 広島の2会場巡り堪能」)、9月30日(「イベントナビ 圧巻の代表作一堂に」)、10月4日(「『東山魁夷展』作品の魅力語る 監修者の尾崎正明・茨城県近代美術館長」)、10月8日(東山魁夷展3万人)、10月9日(「魁夷の魅力 描いて発見」)、10月10日(読者投稿欄)、10月15日(「『東山魁夷』展 障壁画の魅力 唐招提寺の石田副執事長」)、10月19日(「障壁画への道・上」)、10月20日(「障壁画への道・中」)、10月21日(「障壁画への道・下」)、10月21日(作品とメニュー コラボ)、10月22日(「東山魁夷展5万人突破」)、10月25日(読者投稿欄)、10月26日(藤崎綾「写真と装飾性 一体化 東山魁夷の『日本画』表現」)、10月28日(画業集大成 30日まで)

中国新聞

広告：6月30日(半5段)、7月4日(半5段)、7月14日(半5段)、7月26日(全3段)、8月1日(半3段)、8月3日(半3段)、8月11日(半3段)、8月20日(半3段)、8月24日(半3段)、8月25日(全3段)、8月28日(全5段カラー)、8月29日(半3段)、9月1日(半5段)、9月1日(ちゅーピーカレッジ)、9月4日(全5段カラー)、9月15日(全5段カラー)、9月16日(全5段カラー)、9月17日(全面カラー)、9月24日(全3段)、9月26日(全3段)、9月25日(全5段カラー)、10月1日(全5段カラー：感動の声)、10月2日(「ミュージアムで会いましょう」)、10月4日(全5段カラー：感動の声)、10月7日(1面カラー)、10月7日(「鑑賞とランチ セットに」)、10月8日(全5段カラー：感動の声)、10月9日(中国新聞セレクト「SELECTをもって東山魁夷展へ」)、10月12日(全5段カラー：感動の声)、10月14日(イベント)、10月18日(全5段カラー)、10月19日(中国新聞セレクト 全5段カラー：感動の声)、10月25日(全5段カラー)、10月27日(全5段カラー)、10月26日(中国新聞セレクト 全5段カラー：感動の声)

日本経済新聞

記事：1月3日(「美術・芸術 東山魁夷展」)、1月10日(「日経の文化事業 唐招提寺御影堂障壁画全68面再現 東山魁夷展 福岡、広島で」)、6月19日(「東山魁夷展—自然と人、そして町 東京描いた連作初出品」)、7月17日(「東山魁夷展 自然と人、そして町 障壁画を再現展示」)、8月30日(「東山魁夷展 9月17日から広島市で開催」)、9月10日(「『東山魁夷展 自然と人、そして町』静謐なる日本 写す」)、9月11日(「『東山魁夷展』広島会場 記念講演会を開催」)、9月17日(「東山魁夷展きょう開幕」)、10月10日(「『東山魁夷展』広島会場 後期展示中」)、10月16日(「白い馬シリーズ 軽快なりズム感」)

朝日新聞

記事：9月23日(「東山魁夷展—自然と人、そして町」)

(2) 雑誌等

『色絵馬(広島県立美術館友の会会報)』76号(7月10日)、『月刊ローソンチケット』(8月号)、『美術の窓』(9月号)、

『to you』(9月号)、『アートコレクターズ』(9月号)、『月刊ギャラリー』(9月号)、『経済春秋』(9月号)、『Wendy 広島』(9月号・10月号)、『Wink』(9月号)、『月刊タウン情報ひろしま』(9月号)、『ちゅーピーカレッジ通信』(9月)、『つくりびと』(9月1日)、『Cue』(9月9日)、『広響363回定期演奏会プログラム』(9月9日)『日経インテレッセ』(9月25日)、『JAF PLUS』(10月号)、『JAF MATE』(10月号)、『月刊フローリスト』(10月号)、『せとうち文化出版』(10月号)、『7ぴあ中国四国九州』(10月1日～31日)、『リビングひろしま』(10月8日号)

(3) ウェブ

『美術館・博物館情報サイト アートアジェンダ』、『わくわくつくログ! (NPOひろしまインターネット美術館)』、『ミニナルアート(イーエム)』、『ひろしま美術館HP』、『Walkerplus 9月』、『ひろしまナビゲーター(広島観光コンベンションビューロー)』、『ブンカッキーネットひろしま(ひろしま文化振興財団)』、『net TAM(トヨタ・アート・マネジメント)』(9月22日)、『イベント情報(イベスタ)』(9月22日)、『いこーよ』(9月22日)、『こどものための博物館情報』(9月22日)、『個展ナビ』(9月22日)、『全国イベントガイド』、『イベントナビ』(9月22日)

カタログ内容

東山魁夷の生涯と芸術 尾崎 正明

魁夷は幸運 川崎 鈴彦

カタログ

I 模索の時代(戦前)

II-1 自然との対話：日本の風景

II-2 自然との対話：北欧の風景

III-1 古都の佇まい：京洛四季

白い馬の見える風景

III-2 古都の佇まい：ドイツ・オーストリア紀行

IV 唐招提寺御影堂障壁画

V 終わりのない道

東山魁夷年譜 瀬尾 典昭 編

文献目録 瀬尾 典昭 編

出品作品リスト



展覧会巡回先

九州国立博物館 平成28(2016)年7月16日(土)～8月28日(日)

4 だまし絵の巨匠 エッシャー展 —不思議な版画の世界

会 期／平成28(2016)年11月11日(金)～12月25日(日)
主 催／広島県立美術館、イズミテクノ、広島テレビ
後 援／中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、
FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協 賛／広島県信用組合

企画協力／ハウステンボス美術館

入 館 料／一 般 1,200(1,000)円

高・大学生 800(600)円

小・中学生 400(200)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／34,279人(45日間)



紙から這い出すトカゲ、下から流れる水…。オランダを代表する版画家マウリッツ・コルネリス・エッシャー(1898-1972)が描く不思議な世界。《昼と夜》や《滝》など彼の代表作を含む150点以上の作品のほか、版木やドローイングなど貴重な資料や、師のド・メスキータなど関連作家の作品を一堂に展示。加えて、グラフィックデザイナー福田繁雄による、エッシャーのだまし絵を立体化した作品も特別出品。私たちの「あたりまえ」が覆される、エッシャーの驚くべき世界を多角的に紹介した。

(本展担当者：山下 寿水)

関連事業

(1) 記念講演会「エッシャー その作品と生涯」

日 時：11月13日(日) 13:30～15:00(開場30分前)

講 師：安田 恭子(佐世保市博物館 島瀬美術センター館長)

会 場：地階講堂

共 催：広島県立美術館友の会

参加者：72人

(※講演会終了後のギャラリートークには38人参加)

(2) ワークショップ「くりかえしの世界」

日 時：11月26日(土) 14:00～16:00

講 師：松尾真由美(美術家)

会 場：地階講堂

協 力：泉美術館

対 象：全年齢

参加者：18人

(3) 美術講座「エッシャーは何を追い求めたのか」

日 時：12月10日(土) 13:30～14:30

講 師：山下 寿水(当館学芸員)

会 場：地階講堂

参加者：55人



- (4) ギャラリートーク
 日 時：11月18日・12月2日・12月16日(金) 各日11:00～
 11月25日・12月9日(金) 各日17:00～
 講 師：山下 寿水(当館学芸員)
 会 場：3階企画展示室
 参加者：計129人
- (5) ウェブレポーター大募集
 日 時：11月18日(金) 17:00～
 会 場：3階企画展示室
 対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックにて情報発信をされている一般の方
 参加者：21人
- (6) ロビーコンサート
 「無限の潮流～エッシャーと共に～」
 日 時：12月18日(日) 12:00～
 お話とピアノ演奏：平野 満(ひろしま・オペラ音楽推進委員会)
 参加者：121人
 (※コンサート終了後のギャラリートークには26人参加)

主要関連番組

- (1) テレビ
 11/8 広島テレビ「テレビ派」(「街かど伝言板」) ※出演
 11/11 広島テレビ「テレビ派」 ※出演
 11/14 テレビ新広島「みんなのテレビ」(「街角情報局」) ※出演
 11/28 NHK広島放送局「昼ニュース」
 12/2 広島テレビ「てっぺん」 ※出演
- (2) ラジオ
 11/10 RCCラジオ「おひるーな」(ゲストコーナー「おひるーム」) ※出演
 11/10 FMはつかいち「いきいきFactory」 ※出演
 11/18 エフエムふくやま「GO!GO!B びんご～」 ※出演
 11/30 エフエム尾道You Gotta Radio(「よっちゃんのちょっといい話」) ※出演
 12/8 FMはつかいち「いきいきFactory」 ※出演

主要関連広告・記事

- (1) 新 聞
 『読売新聞』2段広告、複数回(読売新聞社)、『朝日新聞』イベント情報10/28・31(朝日新聞社)、『聖教新聞』11/26(聖教新聞社)
- (2) 雑誌等
 『Wink』2016年12月号(株式会社アスコン)、『Wendy広島』11月号・12月号(合人社計画研究所)、『おとなスタイル』2016年秋号(講談社)、『Cue』2016年11/11(中国新聞社)、『くれフレンドリーニュース』11月号(呉市文化ホール)、『月刊経済春秋』2016年11月号(春秋社)、『GetHiroshima』2016年冬号(株式会社Nininbaori)、『CHIC』9/15(株式会社トマトコーポレーション)、『JAF PLUS』2016年11月号(株式会社JAFメディアワークス)、『JAF MATE』2016年11月号(株式会社JAFメディアワークス)、『女性セブン』2017年1号(小学館)、『つくりびと』53号(株式会社国民みらい出版)、『TJHiroshima』11月号(株式会社アドプレックス)、『7ぴあ中国四国九州』10/1-31(セブンドリーム・ドットコム)、『7ぴあ』12/1-31(セブンイレブン)、『トライアングル』2016年12月号(ふじたプリント社)、『つくりびと』2016年12月号(国民みらい出版)、『広島交響楽団第365回定期演奏会』プログラム(広島交響楽団)、『Hiroshima Exsite』vol.27(広島ジン大学)、『FunFANFun』12月号(株式会社ガリバープロダクツ)、『不動産ニュース』(せとうち文化出版)、『HOT PEPPER』11/25(リクルート/株式会社メディアハウス)、

『マツダ労働組合広報誌11月号』（マツダ労働組合）、『Lamp』2016年Vol.11（株式会社プレスシード）、『リビングひろしま』11/12（リビングひろしま）、『月刊ローチケHMV』10/15（株式会社ローソンHMVエンタテインメント）

(3) インターネット

『アートニュース』（株式会社オフィス サーティーズ）、『ギャラリー・ミュージアムガイド』（プレスネット）、『個展ナビ』（株式会社個展ナビ）、『地方職員共済組合HP』「11月・12月のおすすめ情報」（地方職員共済組合広島県支部）、『チラシミュージアム』（株式会社イープラス）、『ぴあポイントサイト』（ぴあ株式会社）、『マイ・フェイバリット瀬戸内』（JR西日本／有限会社ピース）、『まいぷれ広島』（株式会社システムフレンド）

カタログ内容

ごあいさつ

エッセイ

序文

図版)

1. 青少年時代と修学時代
2. イタリア時代
3. 独自の世界
4. 無限への挑戦

作品解説

年譜

参考文献

関連地図



5 彫金家 清水南山 — 広島が生んだ近代金工の巨匠

会 期／平成29(2017)年1月6日(金)～2月12日(日)

主 催／広島県立美術館、中国新聞社、
広島県立美術館指定管理者株式会社イズミテクノ

後 援／中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、
テレビ新広島、広島エフエム放送、
FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、
FM東広島89.7MHz

協 賛／広島県信用組合、日本通運広島支店、
広島県立美術館友の会

特別協力／法隆寺、東京国立近代美術館、三原市教育委員会、
郷土と南山先生を語る会

協 力／住吉大社、東京藝術大学大学美術館、
宮内庁三の丸尚蔵館、清水三年坂美術館、造幣博物館、広島市立大学芸術資料館、広島城、
ギャラリー竹柳堂、平安アート

入 館 料／一 般 1,100(900)円

高・大学生 700(500)円

小・中学生 400(200)円

※()内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／6,293名(38日間)



当館のリニューアル20周年に当たり、地域の美術文化の継承・発展に貢献するため、広島出身で近代金工の巨匠である清水南山を顕彰する自主企画展を開催した。

広島県三原市出身の彫金家・清水南山(明治8(1875)年～昭和23(1948)年)は、日本伝統金工の真髄を受け継ぎ、後世へと伝える上で大きな役割を果たした。その技術は抜群であり、当時美術家の最高名誉とされた皇室技芸員や東京美術学校教授などを歴任した。

本展では、清水南山の格調高い彫金作品を中心に、その源泉となる装剣金工、南山の師である加納夏雄や海野勝珉、教え子の増田三男などの彫金作品を交え、さらに、日本画家・平山郁夫の大叔父にあたり自身優れた画家でもあった南山の絵画作品をあわせた165件及び南山資料館(三原市)に保管される貴重な書簡・写真・彫金工具等の関連資料類を展覧することにより、その人物像と業績を包括的に紹介した。

(本展担当者：宮本真希子)

関連事業

(1) 記念講演会

日 時：1月22日(日) 13:30～15:00

会 場：地階講堂

演 題：「日本の彫金－技術とその魅力」

講 師：飯野 一郎(東京芸術大学教授、工芸科彫金)

共 催：広島県立美術館友の会

参加者：82名



(2) ワークショップ

日 時：1月8日(日) 10:00~12:00

会 場：3階ロビー

内 容：「ヘラ押しレリーフで清水南山の猫を作ろう」

講 師：南 昌伸(広島市立大学芸術学部教授、金工家)ほか

参加者：16名

(3) 美術講座

日 時：1月14日(土)・29日(日) 各回13:30~14:30

会 場：地階講堂

演 題：「清水南山の生涯 天才は努力によって作られるー巨匠への道を辿る」

講 師：担当学芸員

参加者：1回目/29名、2回目/43名 計72名

(4) ギャラリートーク

日 時：毎週金曜日(1月6日・13日・20日・27日、2月3日・10日) 11:00~
2月11日(土) 11:00~(広島県立美術館友の会主催)

会 場：3階企画展示室

講 師：担当学芸員

参加者：各回37名、6名、8名、10名、7名、14名、51名 計133名

(5) アートと私のおいしい時間

日 時：1月20日(金) 17:00~20:45

会 場：3階企画展示室、1階レストランZona ITALIA in Centro

内 容：「三原のおいしい産物とイタリアン」(展覧会鑑賞、展覧会に因んだ料理と日本酒)

協力酒造：株式会社酔心山根本店(三原市)

参 加 者：26名

(6) ウェブレポーター大募集

日 時：1月6日(金) 17:00~18:30

場 所：3階企画展示室

内 容：展覧会のレポートをインターネットで発信

参加者：3名

(7) ロビーコンサート(会場はいずれも1階ロビー)

①日 時：1月7日(土) 12:00~

出 演：広島文化学園大学学生

参加者：124名

②日 時：1月8日(日) 12:00~

出 演：平井千香子(サクソ)、上田尾菜那(ピアノ)

参加者：83名

③日 時：2月5日(日) 12:00~

出 演：福原 一閑(篠笛)、岩村 尚子(謡)

参加者：188名

(8) オリジナルグッズ販売

ワークショップで制作した「南山の猫ブローチ」を考案者の広島市立大学に
制作販売を委託(20点限定受注)



主要関連番組

(1) テレビ

1月6日 11:50~ RCC ローカルニュース

1月9日 12:10~ NHK ローカルニュース

1月11日 11:45～、18:15～ テレビ新広島 ローカルニュース
 2月5日 17:50～ 広島ホームテレビ 報道ステーションサンデー
 2月9日 11:52～ NHK総合「ひるまえ直送便」(広島県内向け)

(2) ラジオ

1月13日 8:30～ エフエムふくやま「びんごピカイチ情報」
 1月17日 12:20～ エフエムはつかいち「昼はまるごと761」
 1月17日 18:17～ エフエムおのみち「よっちゃんのちょっといい話」
 1月19日 13:20～ FM東広島「和のこころ」
 2月6日 15:15～ RCCラジオ「バリシャキNOW」

主要関連記事

(1) 新聞

中国新聞 11月5日社会面(社告)
 1月5日文化面「彫金の真髄 極めた技 清水南山展」
 1月7日文化面「南山芸術 全貌に迫る」
 1月27日文化面「寄稿 彫金家清水南山展『伝統継承しつつ開明的』」
 2月2日文化面「ひと・とき 飯野一朗さん」
 1月11日ふれあい「清水南山展」(事業ガイド)
 1月13日「近代金工 巨匠の技光る」(〃)
 1月17日「中国新聞文化センター一日講座 清水南山」(〃)
 1月27日「出かけよう 彫金家清水南山展」(〃)
 2月3日「魅惑の逸品 彫金家清水南山」(〃)
 日経新聞 1月11日カルチャーガイド「彫金家 清水南山展」
 毎日新聞 1月26日「毎日美術館 寄稿『伝統技術と近代的表現』」
 朝日新聞 1月29日「近代金工の巨匠 南山の作品紹介」

(2) 雑誌等

ふれあい(中国化薬株式会社社内報/平成28年秋号)
 色絵馬(広島県立美術館友の会会報/平成29年1月/寄稿「彫金家清水南山」)
 Cue(平成29年1月13日)、月刊春秋(平成29年1月)、JAF Mate(平成29年1月)
 JAF PLUS広島版(平成29年1月)、月刊ウェンディ広島(平成28年12月)
 Tj Hiroshima(平成29年1月)ほか

(3) インターネット

①広島県立美術館ホームページ

②その他情報サイト

まいふれ広島(広島の地域情報サイト)、個展ナビ、Musca全国のミュージアムカレンダー、広島文化大百科(広島県文化資源情報サイト)、ひろたび(広島広域観光情報サイト)ほか

③SNS(当館から発信)

ツイッター28件(ほか本展関連ツイート43件を広島県立美術館ホームページで紹介)、フェイスブック15件、ブログ5件(作品解説)

カタログ内容(A4判96ページ(含カラー図版32ページ))

主催者あいさつ／目次

〔巻頭言〕「彫金家 清水南山－広島が生んだ近代金工の巨匠」展によせて 清水 能子

〔本文〕彫金家 清水南山の生涯－伝統を守り伝えた道程 宮本真希子

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 はじめに | 2 生い立ち |
| 3 東京美術学校 | 4 東京美術学校卒業後の逡巡 |
| 5 香川県工芸学校から四国巡礼 | 6 奈良での古美術研究 |
| 7 彫金界の頂点への歩み | |
| 8 創作の軌跡－展覧会での活動・主要テーマを中心に | |
| 9 南山の人物評 | 10 おわりに |

〔図版〕

〔コラム〕彫金家 清水南山の精神を継承する

阪田 光昭

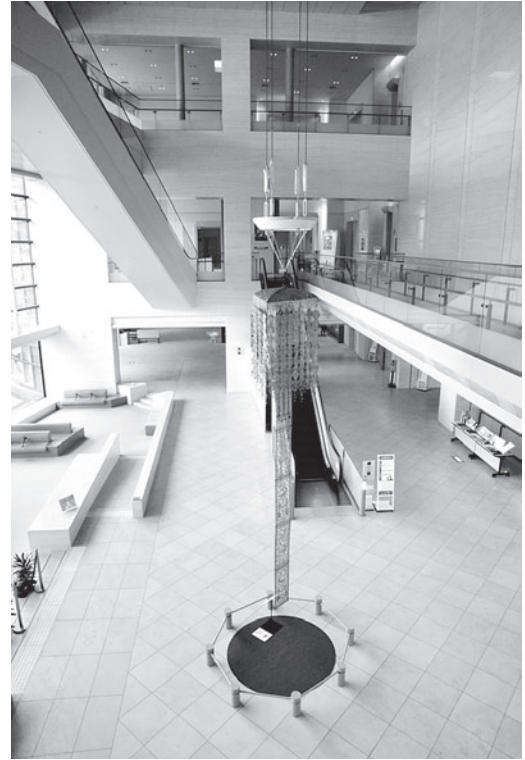
年譜／謝辞／参考文献／出品目録



開会式



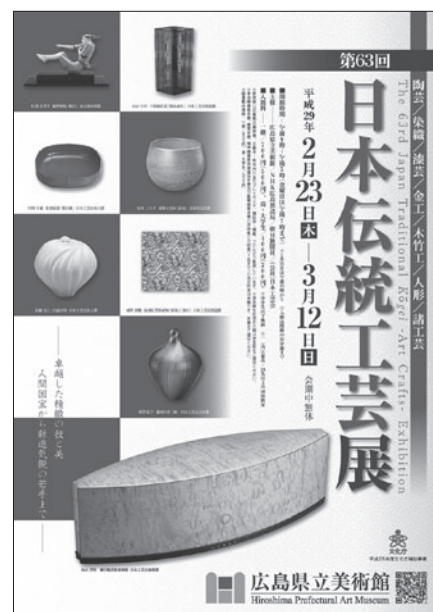
展示室



ロビー展示

6 第63回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成29(2017)年2月23日(木)～3月12日(日)
主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、
NHK広島放送局、朝日新聞社、公益社団法人日本工芸会
助 成／文化庁
入 館 料／一 般 700円(500円)
高・大学生 400円(200円)
中学生以下無料
入館者数／8,185人(18日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土から生まれた世界に誇る工芸技術を発展・継承し、新しい時代の生活に即した美を築くことを目的にしている。広島展では、全入選作品627点の中から重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作品、広島県や中国地方からの入選作品を中心に陶芸103点、染織42点、漆芸43点、金工31点、木竹工42点、人形16点、その他の工芸28点、合計305点を厳選して一堂に展示した。県内からは9名の作家の作品が入選した。日本の伝統を引き継ぐ優れた工芸作品を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。

(本展担当者：福田 浩子)

広島県在住入選者

陶 芸 今田 拓志《隔壁の陶》、木村 芳郎《碧釉壺「滴」》
漆 芸 金城一國斎《切金箱「織波」》、田代 昭夫《藍胎箱「宙」》
木竹工 藤井 義久《千鳥編花籠「秋彩」》、松岡 裕治《柘縮斑盃蘇芳染文筥》
諸工芸 栗根 仁志《七宝箱「朝まだき」》、宇田勢津子《有線七宝蓋物「秋明」》、
菅坂 安子《有線七宝花瓶「きらめく波光」》

関連事業

(1) 記念講演会

日 時：平成28年2月25日(土) 13:30～15:00
場 所：地階講堂
内 容：「伝統の工芸ということ—現代を見つめる—」
講 師：諸山 正則(東京国立近代美術館工芸館主任研究官)
共 催：広島県立美術館友の会
参加者：93名

(2) ギャラリートーク(作品解説)

○日時：	講師(内容)：	
平成28年2月25日(土) 11:00～	田代 昭夫(漆芸)	50名
2月26日(日) 11:00～	栗根 仁志(七宝)	45名

2月26日(日)	13:30～	佐故 龍平(金工)	50名
3月4日(土)	11:00～	松岡 裕治(木工)	47名
3月4日(土)	13:30～	木村 芳郎(陶芸)	82名
3月5日(日)	11:00～	今田 拓志(陶芸)	75名
3月11日(土)	11:00～	井戸川 豊(陶芸)	31名
3月11日(土)	13:30～	菅坂 安子(七宝)	36名
3月12日(日)	11:00～	金城一国斎(漆芸)	81名
3月12日(日)	13:30～	福田 浩子(全般)	56名

○場所：3階企画展示室

(3) ウェブレポーター

日 時：平成29年3月3日(金) 17:00～18:30

場 所：3階企画展示室

参加者：2名

(4) 子ども鑑賞コース 出張授業

平成29年1月25日(水)	三原市立久井小学校5年生(29名)	馬船 宏明(木工・漆芸)
2月15日(水)	広島県立尾道特別支援学校4～6年生(6名)	小林 松齋(木工)
2月17日(金)	廿日市市立四季が丘小学校4年生(68名)	栗根 仁志(七宝)

(5) 子ども鑑賞コース ワークショップ

内 容：「ギャラリートークに挑戦しよう！」

講 師：今田 拓志(陶芸家、日本工芸会正会員)

栗根 仁志(七宝作家、日本工芸会正会員)

福田 浩子(広島県立美術館学芸課長)

神内 有理(広島県立美術館学芸員)

日 時：3月5日(日) 13:00～16:00

場 所：3階大会議室・3階企画展示室

参加者：10名、ギャラリートーク参加者52名

(6) こども鑑賞ガイドブック作成・配布

A5版16ページ、付録シール、3,000部

(7) アートと私の美味しい時間

日 時：平成29年3月3日(金) 17:00～

場 所：3階企画展示室及び1階レストラン

内 容：特別鑑賞会(17:00～17:40)

トークショー(18:30～20:30)

ゲスト：栗根 仁志(七宝作家)、藤井 善文(藤井酒造五代目当主)

参加者：44名

マスメディアによる報道・広報

(1) 朝日新聞

(記事)

平成28年8月30日 「日本伝統工芸展県内の9人入選」

平成29年2月3日 「広島展特集記事「旬の美 個性きらり」

1月26日 「漆芸の魅力を「出張授業」で 三原の児童体感」

2月9日 社告

2月16日 「日本伝統工芸展 23日から 県立美術館」

2月18日 「作家に学ぶ七宝 児童驚き 伝統工芸展前に廿日市で出張授業」

2月19日 折込チラシ

2月27日 「作品の魅力を解説 伝統工芸展 作家トーク」

- 3月1日 「技と感性光る作品群 広島で日本伝統工芸展」
- 2月23日 県内入選作品解説記事①木村 芳郎
- 2月24日 「豊かな感性 じっくり 日本伝統工芸展開幕」
県内入選作品解説記事②今田 拓志
- 2月25日 県内入選作品解説記事③栗根 仁志
- 3月1日 県内入選作品解説記事④菅坂 安子
- 3月2日 県内入選作品解説記事⑤松岡 裕治
- 3月4日 県内入選作品解説記事⑥藤井 義久
- 3月8日 県内入選作品解説記事⑦宇田勢津子
- 3月9日 県内入選作品解説記事⑧田代 昭夫
- 3月11日 県内入選作品解説記事⑨金城一国斎

(新聞広告)

- ・広島県版：平成29年2月22日 (有料)全5段
- ・広島県版：平成29年2月23日、25日、3月1日(タイアップ)
平成29年3月7日、10日(フリー)半5段
- ・備 後 版：平成29年3月2日、9日、11日(フリー)半5段
- ・ビジネス朝日 平成29年2月16日号「ひろしまアートめぐり」
- ・2月19日 折込チラシ

(2) その他新聞

平成29年2月18日 山口新聞 読者プレゼント

(3) NHK

(テレビ)

- ・平成29年2月17日 「お好みワイドひろしま」ローカルニュース 出張授業(総合／広島県内)
- ・平成29年2月23日 ローカルニュース 日本伝統工芸展開幕 (総合／広島県内)
- ・平成29年2月19日 日曜美術館 第63回日本伝統工芸展 再放送(総合・広島県内)
- ・平成29年1月26日～3月11日 随時「30秒スポット」(総合・Eテレ／広島県内)

(ラジオ)

- ・平成29年2月25日 「おはよう中国」広島県立美術館福田学芸課長出演(ラジオ第1／中国地方)
- ・平成29年1月26日～3月11日 随時「ラジオお知らせ」(ラジオ第1／広島県内) RCC(テレビ)

(データ放送) 平成29年1月27日～3月12日

(ホームページ) 平成29年1月27日～3月12日

(4) その他

- ・平成29年2月16日 FM東広島 栗根仁志七宝作家・日本工芸会正会員出演
- ・平成29年2月24日 テレビ新広島 みんなのテレビ告知



その他の媒体

(1) 情報誌

- ・サンデー周南2月25日／毎日メディアサービス山口
- ・ウェンディ広島2月号／合人社グループ出版局
- ・不動産ニュース／有限会社 せとうち文化出版
- ・TJHiroshima／株式会社アドブレックス
- ・to-you／1／25／広島市文化財団
- ・広島リビング新聞／広島リビング新聞社
- ・キュー2月10日／中国新聞
- ・リビングひろしま2月25日
- ・月刊くれえばん2月号
- ・ホットペッパー2月号

- (2) 懸垂幕(美術館列柱間)
- (3) インターネット
 - ・広島県立美術館ホームページ
 - ・ブンカッキーネットひろしま／公益財団法人 ひろしま文化振興財団
 - ・あーと散歩／プレスネット
 - ・まいぶれ広島／株式会社システムフレンド
 - ・ぴあポイントサイト
 - ・Walkerplus
 - ・ホルバインアーティストナビ
- (4) 市内タクシー車内チラシ掲示
 - 福助タクシー・第一交通・広交タクシー

カタログ内容

趣旨

出品目録

出品作品図版

特別展示「わざを伝える」文化財保存事業報告 「備前焼」伝承者養成研究会
第63回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

展覧会巡回先

東 京	平成28年 9月21日(水)～10月 3日(月)	日本橋三越本店
名古屋	10月 5日(水)～10月10日(月・祝)	名古屋栄三越
京 都	10月12日(水)～10月17日(月)	京都高島屋
金 沢	10月28日(金)～11月 6日(日)	石川県立美術館
岡 山	11月17日(木)～12月 4日(日)	岡山県立美術館
松 江	12月 7日(水)～12月25日(日)	島根県立美術館
高 松	平成29年 1月 2日(月・休)～ 1月22日(日)	香川県立ミュージアム
仙 台	1月25日(水)～ 1月30日(月)	仙台三越
福 岡	2月 3日(金)～ 2月 8日(水)	福岡三越
大 阪	2月16日(木)～ 2月20日(月)	大阪高島屋
松 山	3月14日(火)～ 3月19日(日)	松山三越



所蔵作品展

平成28年度は、平成8年の新館開館から20年にあたるため、「リニューアル・オープン20周年記念」と題した展示を4期に分けて開催した。

入場者数／106,373人(326日間)

第1期 必見！ 広島ゆかりの名品セレクション展

平成28年4月19日(火)～7月10日(日)

前期：4月19日(火)～6月5日(日)

後期：6月7日(火)～7月10日(日)

彫刻展示スペース 彫刻

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	圓鐔 勝三	1905-2003	星羅	1960(昭和35)	高223×140×78	木・金属	1点	第3回新日展	
2	圓鐔 勝三		タクト	1963(昭和38)	高165×39×98	テラゾー	1点	第11回日彫展	
3	圓鐔 勝三		面	1965(昭和40)	高130×25×25	木・彩色	1点	第13回日彫展	
4	圓鐔 勝三		ムーランルージュの夜	1975(昭和50)	高91×33×52	木・アクリル・金属	1点		
5	圓鐔 勝三		キリスト	1975(昭和50)	高58×29×20	テラコッタ	1点	日本陶彫展	
6	圓鐔 勝三		婦人像B	1976(昭和51)	高70×21×20	大理石	1点		
7	圓鐔 勝三		白い花	1982(昭和57)	高120×38×32	木・銅板・彩色	1点	第12回日彫展	
8	圓鐔 勝三		月夜の僧	1985(昭和60)	高88×97×90	木・銅板・彩色	1点	第17回改組日展	

第1室 西洋美術

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
9	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
10	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14	ブロンズ	1点		
11	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面		
12	アレクサンダー・カノルト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1面		
13	パブロ・ピカソ	1881-1973	フランコの夢と嘘	1937	I : 38.8×57.2 II : 38.7×56.7	エッチング・アクアチント・紙	2面		
14	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面		
15	アンリ・ローランス	1885-1954	イヤリングをつけた女の顔	1921	高36.9×12.8×11.6	テラコッタ	1点		
16	ジャン(ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938(1983铸造)	高47.5×24×23	ブロンズ	1点		
17	マン・レイ	1890-1976	サルバドール・ダリ	1921	28.7×22.6	ゼラチンシルバープリント	1面		
18	マン・レイ		シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ	1936	26.0×21.2	ゼラチンシルバープリント	1面		
19	マックス・エルンスト	1891-1976	流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ	1919	45.5×33.0	リトグラフ・紙	8面		
20	マックス・エルンスト		オイディプス I	1934(1992铸造)	高さ62.0	ブロンズ	1点		
21	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992铸造)	高さ66.0	ブロンズ	1点		
22	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.7×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
23	ベン・シャーン	1898-1969	強制収容所	1944	61.0×61.0	油彩・画布	1面		
24	ベン・シャーン		陪審員席	1932-33	41.9×58.4	グワッシュ・紙	1面		
25	ベン・シャーン		四人の検事	1931-32	24.8×37.5	グワッシュ・板	1面		
26	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高28.8×10.7×5.7	ブロンズ・弦	1点		
27	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		
28	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944(1983～84铸造)	高さ125.7	ブロンズ	1点		
29	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会	

第2室 日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
30	小林 千古	1870-1911	やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面		
31	小林 千古		ミルク・メイド	1897(明治30)	69.0×50.8	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
32	小林 千古		茶器と梅花	1903(明治36)	18.5×65.5	油彩・画布	1面	第10回白馬会展	
33	小林 千古		自画像	1903-05(明治36-38)頃	67.5×58.0	油彩・画布	1面		
34	南 薫造	1883-1950	美校一隅	1904(明治37)	45.6×60.6	油彩・画布	1面		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
35	南 薫造		ノースモルトン風景	1908(明治41)	61.0×76.5	油彩・画布	1 面		
36	南 薫造		ロンドン河畔	1908(明治41)	73.5×91.3	油彩・画布	1 面		
37	小林徳三郎	1884-1949	西瓜	1932(昭和7)	45.5×53.0	油彩・画布	1 面	第27回春陽会展	
38	小林 和作	1888-1974	春の山	1967(昭和42)	80.0×100.0	油彩・画布	1 面		
39	田中 万吉	1895-1945	曇り日	1924・27(大正13・昭和2)頃	37.0×45.5	油彩・厚紙	1 面		
40	名井 萬亀	1896-1976	鰯網(二)	1959(昭和34)	130.2×162.2	油彩・画布	1 面	第11回読売アンデパンダン展	
41	山路 商	1903-1944	男(眠れる)		72.5×61.0	油彩・画布	1 面		
42	檜山 武夫	1906-1932	陸橋	1931(昭和6)	91.0×91.0	油彩・画布	1 面	第18回二科展	
43	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1 面	第7回槐樹社展	
44	巖 光		花園の虫	1942(昭和17)頃	26.7×34.8	油彩・板	1 面		
45	巖 光		帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1 面		
46	巖 光		風景	1944(昭和19)	41.0×52.5	油彩・画布	1 面		
47	太田 忠	1908-1971	池のある風景	1956(昭和31)	162.1×130.3	油彩・画布	1 面	第2回現代日本美術展	
48	土屋 幸夫	1911-1996	果てしなき餐食	1938(昭和13)	37.9×45.5	油彩・画布	1 面	創紀美術協会前哨展	
49	岡部 繁夫	1912-1969	作品N R	1963(昭和38)	181.8×227.5	油彩・画布	1 面		
50	菅井 汲	1919-1996	DIABLE PARTANT POUR LA LUNE(月へ旅立つ鬼)	1963(昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1 面		
51	菅井 汲		SOLEIL NO BLANC(太陽 白)	1969(昭和44)	150.0×150.0	アクリル・画布	1 面		
52	菅井 汲		RIVIERE(川)	1987(昭和62)	157.0×197.0	アクリル・画布	1 面		
53	金光 松美	1922-1992	AUGUST	1960(昭和35)	182.8×182.8	油彩・画布	1 面		
54	入野 忠芳	1939-2013	風成 94-5	1994(平成6)	162.1×162.1	油彩・画布	1 面	アジアひろしま芸術大賞展(大賞)	

第3室 日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
55	岡 岷山	1734-1806	仏法僧図	1766(明和3)	99.0×39.0	絹本彩色	1 幅		前期
56	頼 山陽	1780-1832	寒林訪友図	1827(文政10)	132.0×27.6	紙本墨画	1 幅		前期
57	山野峻峯斎	1784-1852	蓬萊図	19世紀	各97.0×36.0	絹本墨画淡彩	2 幅		後期
58	名草 逸峰	1822-1889	高士観瀑図	1884(明治17)	186.0×86.0	絹本彩色	1 幅		前期
59	田中 頼璋	1868-1940	高士訪友図	1914(大正3)頃	241.0×142.0	絹本彩色	1 幅		後期
60	児玉 希望	1898-1971	浅春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1 面		
61	児玉 希望		暮春	1930(昭和5)	266.0×176.0	絹本彩色	1 面	第11回帝展(特選)	
62	和高 節二	1898-1990	娘旅芸人	1928(昭和3)	173.5×184.6	紙本彩色	2曲1隻		
63	和高 節二		田植時	1929(昭和4)	106.0×147.0	紙本彩色	1 面	第10回中央美術社展	
64	森谷南人子	1889-1981	初春閑村	1938(昭和13)	116.0×195.0	紙本彩色	1 面	第2回新文展	
65	金島 桂華	1892-1974	牡丹	1948(昭和23)	各163.0×171.0	紙本彩色	2曲1双	第4回日展	
66	丸木 位里	1901-1995	柳暗	1941(昭和16)	205.0×91.0	紙本墨画	1 面	第2回美術文化協会展	
67	丸木 位里		不動	1941(昭和16)	213.0×106.0	紙本彩色	1 面	第1回岩橋英達・丸木位里・船田玉樹三人展	
68	船田 玉樹	1912-1991	宇治の春	1954(昭和29)	180.0×242.0	紙本彩色	1 面	第39回院展	
69	奥田 元宋	1912-2003	柳鷺	1940(昭和15)	175.7×175.7	絹本彩色	1 面	第4回児玉希望画塾展	
70	奥田 元宋		室戸	1952(昭和27)	100.0×181.5	紙本彩色	1 面	第8回日展	
71	塩出 英雄	1912-2001	草庵	1964(昭和39)	178.2×223.0	紙本彩色	1 面	第49回院展	
72	水谷 愛子	1924-2005	くらしき	1968(昭和43)	165.0×212.0	紙本彩色	1 面	第53回院展	
73	平山 郁夫	1930-2009	内海の春	1954(昭和29)	145.0×208.0	紙本彩色	1 面	第39回院展	
74	平山 郁夫		浅春	1955(昭和30)	181.0×200.0	紙本彩色	1 面	第40回院展	

第4室 工芸

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
75			伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半(江戸時代)	高44.3	磁器・色絵	1 軀		
76			伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半(江戸時代)	高45.0	磁器・色絵	1 軀		
77			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	17世紀後半(江戸時代)	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1 口		

広島工芸の伝統を辿る ～国斎高盛絵／宮島轆轤細工／宮島御砂焼／銅蟲／県東部の木工産業／熊野焼・岩谷焼から陶津窯へ～

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
78	金城三代・国斎	1829-1915	菊雲鶴文食籠	1902(明治35)	径22.3 高13.7	木・漆・高盛絵	1 合		
79	鯉城 政廣		高塗果蟲菓子盆		径34.2 高2.5	木・漆・高盛絵	1 枚		
80	金城五代・国斎	1906-1991	高盛絵四季寄花硯箱	1980(昭和55)	27.0×23.0×高4.7	木・漆・高盛絵	1 合		
81	小松初代寿山	1902-1991	黒壇拭漆盆	1978(昭和53)	径40.5 高6.5	黒檀・挽物	1 枚		
82	小松二代寿山	1929-	松丸盆	1980(昭和55)	径45.0 高4.0	松・挽物	1 枚	第27回日本伝統工芸展	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
83	小林健一郎	1924-2013	櫛丸盆	1987(昭和62)	径40.0 高4.2	櫛・挽物	1 枚	第34回日本伝統工芸展	
84	川原 繁夫	1912-1983	花器「彩河」	1969(昭和44)	径41.0 高30.0	陶器	1 口		
85	伊藤 顕	1936-1969	種子	1966(昭和41)	168.0×110.0	銅・鍛金	1 面	第9回新日展	
86	山根 寛斎	1933-2010	玉椿壺彩箱	1990(平成2)	31.0×15.2×高18.6	玉椿他・木画	1 合	第37回日本伝統工芸展・奨励賞	
87	皿谷緋佐子	1930-	組皿・泰山木	1983(昭和58)	径22.5 高3.5	陶器	5 枚	第38回新匠工芸展覧会 富本賞	
88	初代藤本陶津 (絵付け：田中頼理)	1875-1967	花瓶	1932(昭和7)頃	口径10.5 高26.0	陶器	1 口		
89	藤本二代陶津	1914-2009	「四郊」器	1977(昭和52)	径35.0 高38.0	陶器	1 口	改組第9回日展	

広島に新たに芽吹いた工芸文化～近代から現代へ ～①広島が生んだ近代工芸の巨匠

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
90	六角 紫水	1867-1950	螺鈿宝石小箱	1925(大正14)	10.5×8.7×高4.0	木・漆・螺鈿・彫刻	1 合		
91	六角 紫水		線のすさび麒麟文香盆	1927(昭和2)	径25.5 高1.9	漆・漆絵・彫刻	1 枚		
92	六角 紫水		理想界の図蒔絵手箱	1929(昭和4)	34.0×15.9×高9.5	漆・蒔絵・螺鈿	1 合	第10回帝展	
93	清水 南山	1875-1948	花卉文壺	1926(大正15)	径12.2 高16.0	銅・彫金	1 口	日本工芸美術会 第1回展覧会	
94	清水 南山		飛龍躍浪文硯屏	1942(昭和17)	23.5×8.9×高27.5	真鍮・彫金	1 点		

広島に新たに芽吹いた工芸文化～近代から現代へ ～②広島工芸の諸相 陶芸・染織・漆芸・七宝・金工・竹工芸・人形

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
95	迦河 無坪	1891-1947	聖徳太子摂政像	1941(昭和16)	44.5×32.0	素焼	1 軀		
96	西本 瑛泉	1928-	玄・縄文想譜	1978(昭和53)	口径35.0 高48.0	陶器	1 口	第10回日展特選	
97	今井 政之	1930-	苔泥彩漕花壺	1975(昭和50)	口径9.9 高42.7	陶器	1 口		
98	今井 政之	1930-	象嵌赫窯瀬戸の幸大皿	1998(平成10)	口径73.5 高8.0	陶器	1 枚		
99	古庵千恵子	1933-	裳	1976(昭和51)	33.0×38.0×高50.0	陶器	1 口		
100	木村 芳郎	1946-	青釉黒彩文大皿	1977(昭和52)	径51.5 高8.0	陶器	1 枚	第24回日本伝統工芸展	
101	木村 芳郎	1946-	碧釉組鉢	1984(昭和59)	(大)径30.5 高10.2 (小)径18.3 高6.5	陶器	1 組	第31回日本伝統工芸展奨励賞	
102	花房 花子	1908-1999	紅象	1966(昭和41)	135.0×92.0	ろうけつ染・額装	1 面		
103	杉谷 富代	1927-2012	滞船	1969(昭和44)	166.0×96.0	ろうけつ染・額装	1 面		
104	藤川 素子	1931-	流転	1980(昭和55)	220.0×181.0	ろうけつ染・ビロード・額装	1 面	第12回日展特選	
105	渡辺 溥子	1938-	紬織着物「月影」	1999(平成11)	桁68.0 丈171.5	絹・紬・経緯緋	1 領	第46回日本伝統工芸展奨励賞	
106	山下 了是	1946-	釣山淙々	1979(昭和54)	180.0×170.0	染・額装	1 面		
107	伝河面冬山	1882-1955	扇面散し蒔絵料紙箱	大正～昭和前期	40×32×高17	木・漆・蒔絵・螺鈿・平文	1 合		
108	高中 惣六	1900-1974	乾漆菓子器	1971(昭和46)	径26.0 高8.0	漆・乾漆・螺鈿	1 口	第18回日本伝統工芸展	
109	高中 隆二	1926-2012	乾漆花瓶	1967(昭和42)	28.0×45.0×35.7	漆・乾漆	1 口		
110	栗根昭二郎	1927-	七宝菓子器「游」	1979(昭和54)	径17.0 高6.5	七宝	1 合		
111	高橋 通子	1936-	紫陽花文花瓶	1984(昭和59)	15.7×15.5	七宝	1 口	第31回日本伝統工芸展	
112	林 万寿人	1896-1985	青銅組紐文花器	1956(昭和31)	31.0×高29.0	青銅・鍍金	1 口	第12回日展	
113	門田 篁玉	1916-	連作「蕾」	1975(昭和50)	径57.5 高28.4	竹	1 点	第7回日展	
114	奥田小由女	1936-	孤愁	1975(昭和50)	33.5×82.0×高44.5	木・桐粉・胡粉	1 軀	第7回改組日展	

第2期

子どもから大人まで！ サマーミュージアム (彫刻展示スペース・第1室・第2室) 心に触れる自然の美 (第3室・第4室)

平成28年7月13日(水)～8月28日(日)

彫刻展示スペース 子どもから大人まで！ サマーミュージアム ― どこから見る？ シルエットを探してみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
1	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物 (鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14	ブロンズ	1点	
2	ジャン (ハンス)・アルプ	1886-1966	目覚め	1938(1983铸造)	高47.5×24×23	ブロンズ	1点	
3	マックス・エルンスト	1891-1976	オイディプス I	1934(1992铸造)	高62×29×19	ブロンズ	1点	
4	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992铸造)	高66×22×17	ブロンズ	1点	
5	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高28.8×10.7×5.7	ブロンズ・弦	1点	
6	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944(1983-84铸造)	高125.7×62.2×22.8	ブロンズ	1点	
7	芥川 永	1915-1998	おとなの影	1970(昭和45)	高62×22×62	ブロンズ	1点	第34回新作協会展
8	芥川 永		もどれない風 (太田川2)	1974(昭和49)	高34×42×11	ブロンズ	1点	第38回新作協会展
9	峯田 敏郎	1939-	記念撮影-遠い日の風音・私の母と	2011(平成23)	高200×145×115	木(樟、紅松)・真鍮・彩色	1点	第85回国展

1室 子どもから大人まで！ サマーミュージアム ― なにが描いてあるかな？ 見つけてみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
10	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面	ニューヨーク万国博覧会

1室 子どもから大人まで！ サマーミュージアム ― なにがかくれんぼ？ 生き物を探してみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
11	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	43.0×26.0	コロタイプ・紙	34面 うち22面	

1室 子どもから大人まで！ サマーミュージアム ― どんな線？ 線をたどってみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
12	ワシリー・カンディンスキー	1866-1944	小さな世界	1922	35.6×28.0	紙・木版・リトグラフ・ドレイポイント	12面 うち3面	
13	ジョルジュ・ルオー	1871-1958	受難 (パッション)	1939	45.5×34.5	アクアチント・紙・挿画本	17面 うち1面	
14	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	鏡の前の女の習作 I	1937	33×24	インク・鉛筆・紙	1面	
15	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作 II	1937	31×22	インク・パステル・鉛筆・紙	1面	
16	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面	
17	パウル・クレー	1879-1940	お金を数える老人	1929	29.7×23.7	エッチング・紙	1面	
18	パウル・クレー		何で走っているのだろう	1932	23.8×29.9	エッチング・紙	1面	
19	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933 (絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面	
20	ヘンリー・ムーア	1898-1986	彫刻のためのアイディア	1933	55.3×38.1	木炭・インク・淡彩・紙	1面	
21	マリノ・マリニー	1901-1980	小さな踊り I	1973	67.5×52.5	エッチング・紙	1面	
22	マリノ・マリニー		驚き II	1973	67.5×52.5	リトグラフ・紙	1面	

2室 子どもから大人まで！ サマーミュージアム ― SUGAIのS？ あなたのマークを描いてみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
23	菅井 汲	1919-1996	S.4 S.5	1988(昭和63)	250.0×264.0	アクリル・画布	1面	
24	菅井 汲		GROUPE-S (グループ S)	1989(昭和64/平成元年)	60.0×81.2	リトグラフ・紙	1面	
25	菅井 汲		S.11	1990(平成2)	250.0×132.0	アクリル・画布	1面	
26	菅井 汲		S.27 S.28	1991(平成3)	250.0×264.0	アクリル・画布	1面	

2室 子どもから大人まで！ サマーミュージアム ― 土から生まれた作品たち！ たくさん想像してみよう。

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
27	八木 一夫	1918-1979	ブルーブック	1972(昭和47)	高22.0 38.5×22.0	黒陶	1点	
28	熊倉 順吉	1920-1985	笑いの稽古	1974(昭和49)	高52.0 45.0×20.0	陶器	1点	
29	荒木 高子	1921-2004	石の聖書 (黒)	1980(昭和55)	16.0×21.5×22.0	陶器	1点	荒木高子展
30	荒木 高子		石の聖書 (白)	1980(昭和55)	21.0×29.0×25.0	陶器	1点	荒木高子展
31	山田 光	1924-2001	窓	1966(昭和41)	高39.5 29.0×6.0	陶器	1点	
32	鈴木 治	1926-2001	神経質な鳥	1975(昭和50)	高18.7 20.0×12.6	青白磁 (台)木	1点	
33	林 康夫	1928-	緑の滴	1958(昭和33)	高30.7 38.5×28.5	陶	1点	
34	宮永 理吉	1935-	土の歩み	1957(昭和32)	高58.0 150.0×55.7	陶	1組	
35	林 秀行	1937-	仮面の談笑	1982(昭和57)	高22.0×奥行18.5×幅18.8 高17.0×奥行19.0×幅16.5	陶	1組	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
36	鯉江 良二	1938-	土の顔	1986(昭和61)	14.0×28.0×31.0	山土	1点	
37	鯉江 良二		(土の顔)	1986(昭和61)	21.0×28.0×28.5	山土	1点	
38	鯉江 良二		(土の顔)	1986(昭和61)	6.9×22.9×12.1	山土	1点	
39	鯉江 良二		土の顔	1986(昭和61)	32.0×29.0×31.0	山土	1点	
40	笹山 忠保	1939-	魔法のじゅうたん	1974(昭和49)	79.8×51.6×8.5	陶器	1点	第1回信楽陶芸展優秀賞

2室 子どもから大人まで！サマーミュージアム ― 特別展示 平山郁夫《広島生変図》

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
41	平山 郁夫	1930-2009	広島生変図	1979(昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	1面	第64回院展

3室 心に触れる自然の美 ― 水辺の情景

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
42	宋 紫石	1715-1786	岳陽樓図		121.0×48.8	絹本彩色	1幅	
43	望月 玉泉	1834-1913	山水図		各50.0×69.1	紙本墨画淡彩	2幅	
44	里見 雲嶺	1849-1928	管絃祭之図	1917(大正6)	51.5×74.1	絹本墨画彩色	1幅	
45	小林 千古	1870-1911	広島夏の川	1903(明治36)	32.8×50.0	パステル・紙	1面	
46	吉田 博	1876-1950	瀬戸内海集 第二「白石島」	1930(昭和5)	24.8×37.6	木版・紙	1面	
47	吉田 博		瀬戸内海集 第二「神の島」	1930(昭和5)	24.8×37.6	木版・紙	1面	
48	吉田 博		瀬戸内海集 第二「鞆の港」	1930(昭和5)	24.5×37.1	木版・紙	1面	
49	吉田 博		瀬戸内海集 第二「潮待ち」	1930(昭和5)	24.6×37.6	木版・紙	1面	
50	吉田 博		瀬戸内海集 第二「木の江」	1930(昭和5)	37.5×24.5	木版・紙	1面	
51	南 薫造	1883-1950	インドの港	1907(明治40)	31.3×24.4	水彩・紙	1面	
52	南 薫造		コロンボにて	1907(明治40)	23.5×14.0	水彩・紙	1面	
53	南 薫造		沐浴	1916(大正5)	25.2×35.5	水彩・紙	1面	
54	南 薫造		水辺彩屋	1939(昭和13)	24.2×32.6	水彩・紙	1面	
55	小林徳三郎	1884-1949	港		23.1×33.0	木版・紙	1面	
56	小林徳三郎		港のみえる風景		29.8×23.1	木版・紙	1面	
57	小林 和作	1888-1974	潮岬2		23.6×47.8	淡彩・紙	1面	
58	小林 和作		男鹿半島門前		36.5×57.5	淡彩・紙	1面	
59	小林 和作		隠岐白鳥付近		29.6×37.6	淡彩・紙	1面	
60	小林 和作		海		24.4×29.7	淡彩・紙	1面	
61	児玉 希望	1898-1971	驟雨来	1947(昭和22)	73.5×84.0	絹本彩色	1面	
62	名柄 正之	1903-1997	風景(宇品線風景)	1939(昭和14)	49.0×64.0	水彩・紙	1面	
63	塩出 英雄	1912-2001	亭橋	1975(昭和50)	174.4×242.4	紙本彩色	1隻	第60回院展
64	奥田 元宋	1912-2003	青山白雲	1987(昭和62)	180.3×124.4	紙本彩色	1面	幽玄讃歌 奥田元宋展
65	徳光 思刀	1913-1992	倉橋島室尾風景	1974(昭和49)	88.0×212.2	木版・紙	1面	

3室 心に触れる自然の美 ― 夏の装い・夏の暮らし

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
66	南 薫造	1883-1950	ハンモック	1924(大正13)	24.0×32.5	水彩・紙	1面	
67	南 薫造		曝書下図	1946(昭和21)	38.3×51.4	水彩・紙	1面	
68	小林徳三郎	1884-1949	横たわる裸婦		34.3×47.5	水彩・墨・紙	1面	
69	速水 御舟	1894-1935	隠岐の海	1914(大正3)	113.0×42.2	絹本彩色	1幅	第1回赤曜会展
70	中西 利雄	1900-1948	マドモアゼルS嬢	1938(昭和13)	62.5×48.4	水彩・紙	1面	
71	巖 光	1907-1946	娘	1941(昭和16)	79.0×81.5	淡彩・紙	1面	
72	巖 光		畠山雅介氏の像	1941(昭和16)	106.0×78.0	紙本淡彩	1面	
73	神田三千枝	1924-1992	盛夏	1986(昭和61)	192.0×147.0	画布彩色	1面	第71回院展
74	平山 郁夫	1930-2009	ひととき(憩)	1956(昭和31)	180.0×197.0	紙本彩色	1面	第41回院展

4室 心に触れる自然の美 ― 四季の美

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
75	藤本 能道	1919-1992	草白軸軸描加彩 月下木乃葉ずく陶宮	1991(平成3)	高13.3 32.4×32.4	磁器・色絵	1合	
76	吉田源一郎	1896-1958	阿ざみ紋漆皮果物鉢		高9.1 長径38.5	革・漆	1口	
77	三代金城一國斎	1829-1915	白蓮花に蝶高盛絵角盆	1905(明治38)	35.5×35.5	漆・高盛絵	1枚	
78	三代金城一國斎		虫に蔓高盛絵会席盆	1912(明治45)	径33.9	木・漆・高盛絵	5枚1組	
79	三代金城一國斎		インゲン豆高盛絵長丸盆	1903(明治36)	高4.3 24×44.2	木・漆・高盛絵	1枚	
80	今井 政之	1930-	象嵌彩窯変ざざみ香炉	2001(平成13)	高12.0 胴径14.5	陶器	1合	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
81	今井 政之		象嵌彩信楽早春の芸予大壺	2000(平成12)	高30.5 胴径41.0	陶器	1 口	
82	田村 耕一	1918-1987	竹林に鷺図大皿	1985(昭和60)	高10.5 径48.0	磁器	1 枚	
83	山崎覚太郎	1899-1984	奔瑞小屏風		61.0×188.2	木・竹・漆・漆絵	2 曲 1 隻	
84	志村ふくみ	1924-	紬織着物 水かげ	1984(昭和59)	桁66.4 丈169.6	絹・紬	1 領	
85	森口 邦彦	1941-	友禪着物「溪流」	1973(昭和48)	桁64.3 丈157.5	絹・友禪染	1 領	
86	芹沢 銈介	1895-1984	文字入り四季文屏風	1954(昭和29)	165.0×171.8cm	型染	2 曲 1 隻	
87	六角 紫水	1867-1950	蒔絵草花図菓子銘々盆	1911(明治44)	高1.0 13.5×14.6	木・漆・貝・蒔絵・螺鈿	10 枚 1 組	
88	梶山 明細		蒔絵やつで香宮	江戸時代末期～明治時代	高11.1 12.2×15.9	漆・蒔絵	1 合	
89	白山 松哉	1853-1923	金地菊蒔絵香合		高1.0 径10.2	木・漆・蒔絵	1 合	
90	植松 抱民	1845-1899	萩に雁研出蒔絵文台		高12.5 35.6×61.2	木・漆・銀・蒔絵	1 基	
91	植松 抱民		桜の燕研出蒔絵硯箱		高4.3 4.0×21.0	木・漆・銀・蒔絵	1 合	
92	植松 包美		卯の花研出蒔絵文庫		高14.0 39.5×31.0	木・漆・蒔絵	1 合	
93	三代金城一國斎	1829-1915	蘆によしきり高盛絵香筒	1905(明治38)	長さ30.5	漆・高盛絵	1 点	
94	三代金城一國斎		へちま高盛絵煙管入附煙草入		(煙管入)幅3 長20.0 (煙草入)6.2×10.2	竹・漆・高盛絵・珊瑚・刺繍	1 点	
95	三代金城一國斎		ホタル高盛絵線香入		長18.3 径2.2	漆・高盛絵	1 点	
96	三代金城一國斎		バツタ高盛絵煙管入		長18.4 3×1.5	木・漆・高盛絵	1 点	
97	三代金城一國斎		蜂に仏手柑高盛絵印籠付根付		(印籠)高 6.3×5.3 (根付)径3.5	木・漆・高盛絵	1 組	
98	河井寛次郎	1890-1966	青磁瓜形合子		径10.4×高9.4	青磁	1 合	
99	河井寛次郎		青磁桃子鉾	1923(大正12)	口径9.5×高10.8	青磁	1 口	
100	河井寛次郎		色絵梅花図蓋物		高9.8 一辺10.7	陶器・色絵	1 合	
101	楠部 彌弍	1897-1984	緑釉向日葵花瓶	1955(昭和30)	高34.0 胴径39.2 口径18.5	陶器	1 口	第7回京展
102	藤田 喬平	1921-2004	飾宮「湖上の花」	1989(平成元年)	高26.5 23.2×23.2	ガラス	1 合	

4 室 心に触れる自然の美 — 森羅万象の美

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考
103	木村 芳郎	1946-	碧釉躍龍文鉢	1989(平成元年)	径71.0 高13.0	半磁器	1 口	第1回陶芸ビエンナーレ
104	吉賀 大眉	1915-1991	広口花器「暁雲」	1974(昭和49)	(口径)25.0× (胴径)31.5×(高さ)37.0	陶器	1 口	
105	八木 一夫	1918-1979	入り日・引き潮	1977(昭和52)	高28.0×25.5×30.0 高28.0×22.0×22.5	黒陶・金彩	1 点	
106	柳原 睦夫	1934-	空の力学	1976(昭和51)	高30.4 38.0×36.0	陶器	1 点	
107	鯉江 良二	1938-	土の星座	1987(昭和62)	48.0×29.0×11.0	陶器	1 点	
108	テケ族 トルクメン人		護符入れ (トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀・鍍金・カーネリアン	1 点	
109	テケ族 トルクメン人		護符入れ (トゥマル)	17-18世紀	幅19.0	銀・鍍金・カーネリアン	1 点	
110	テケ族 トルクメン人		胸飾り (ゴンジュク)	18世紀	幅21.0	銀・鍍金・カーネリアン	1 点	
111	テケ族 トルクメン人		胸飾り (ゴンジュク)	19世紀前半	幅22.5	銀・鍍金・カーネリアン	1 点	

第3期

広島県立美術館ベストセレクション展

平成28年 8月31日(水)～12月18日(日)

前期：8月31日(水)～10月23日(日)

後期：10月25日(火)～12月18日(日)

彫刻展示スペース 彫刻

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	平櫛 田中	1872-1979	落葉	1913(大正2)	121.0×48.8	木	1 軀	第7回文展	
2	森野 圓象	1903-1989	静かな海	1975(昭和50)	高200×53×42	木・彩色	1 軀	第7回改組日展	
3	圓鐔 勝三	1905-2003	途上	1941(昭和16) (1994(平成6)鑄造)	高169×82×51.5	ブロンズ	1 軀		
4	水船 六洲	1912-1980	燭明り	1967(昭和42)	高202×54×40	木・彩色	1 軀	第10回新日展 内閣総理大臣賞	
5	水船 六洲		鳥の椅子(Bird Chair)	1966(昭和41)	41.0×32.5	木版・紙	1 面		
6	芥川 永	1915-1998	水のむ子(水／太田川 4)	1976(昭和51)	高73×33×26	ブロンズ	1 軀	第40回 新制作協会展	
7	今城 国忠	1916-2000	道化師	1972(昭和47)	高103×117×90	木・彩色	1 軀	第4回改組日展	
8	吉田 正浪	1936-2011	立像	1977(昭和52)	高183×W50×D46	石膏	1 軀		
9	小平 胖可	1944-2003	卯月飛騨	1998(平成10)	高162×58×32	樹脂	1 軀	第74回白日会展	

第1室 西洋美術

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
10	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1 面		
11	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高51.5×12.3×14	ブロンズ	1 点		
12	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンビトリテ	1935頃	92.0×73.5	油彩・画布	1 面		
13	アレクサンダー・カールト	1881-1939	静物	1925	80.0×101.0	油彩・画布	1 面		
14	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫りのある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1 面		
15	アンリ・ローランス	1885-1954	イヤリングをつけた女の顔	1921	高36.9×12.8×11.6	テラコッタ	1 点		
16	トマス・ハート・ベントン	1889-1975	禁酒法の取締り	1925頃	40.6×45.7	油彩・画布	1 面		
17	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1 面		
18	ベン・シャーン	1898-1969	強制収容所	1944	45.0×77.0	油彩・画布	1 面		
19	マックス・エルンスト	1891-1976	オイディプス I	1934(1992鑄造)	高62.0	ブロンズ	1 点		
20	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992鑄造)	高66.0	ブロンズ	1 点		
21	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.7×90.8	油彩・ジェッソ・板	1 面		
22	アレクサンダー・コールダー	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1 点		
23	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944(1983～84鑄造)	高125.7	ブロンズ	1 点		
24	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1 面	ニューヨーク 万国博覧会	

第2室 日本洋画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
25	小林 千古	1870-1911	静物画		37.5×47.0	油彩・画布	1 面		
26	小林 千古		男性裸体背面立像	1897(明治30)	89.0×64.0	油彩・画布	1 面		
27	小林 千古		母ワキ肖像	1903-05(明治36-38)頃	69.1×51.2	油彩・画布	1 面		
28	南 薫造	1883-1950	白壁の農家	1908(明治41)	75.5×101.0	油彩・画布	1 面		
29	南 薫造		坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1 面	第4回文展	
30	南 薫造		ロンドン河畔	1908(明治41)	73.5×91.3	油彩・画布	1 面		
31	南 薫造		雪の日	1940(昭和15)	45.0×60.4	油彩・キャンバスボード	1 面		
32	藤田 嗣治	1886-1968	婦人像(リオ)	1932(昭和7)	81.2×65.0	油彩・画布	1 面	藤田嗣治追悼展	
33	長谷川利行	1891-1940	田端変電所	1923(大正12)	23.8×32.6	油彩・板	1 面	第4回新光洋画会展	
34	里見 勝蔵	1895-1981	娘の化粧	1928(昭和3)	80.3×65.2	油彩・画布	1 面	第15回二科展	
35	岡田 謙三	1902-1982	北市場	1942(昭和17)	104.2×87.0	油彩・画布	1 面	第29回二科展	
36	山口 長男	1902-1983	象形	1956(昭和31)	182.3×183.2	油彩・板	1 面	第41回二科展	
37	村井 正誠	1905-1999	スエズの朝	1932(昭和7)	46.0×55.0	油彩・画布	1 面	側展(34紀伊国屋 ギャラリー)	
38	井上長三郎	1906-1995	屠殺場	1936(昭和11)	203.0×270.0	油彩・画布	1 面	第6回独立展	
39	靉 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1 面	第7回槐樹社展	
40	靉 光		静物	1942(昭和17)	45.1×37.6	油彩・画布	1 面		
41	靉 光		帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1 面		
42	靉 光		窓辺の花(百合)	1944(昭和19)	71.0×59.0	油彩・画布	1 面		
43	寺田 政明	1912-1989	二つの道	1954(昭和29)	116.9×91.2	油彩・画布	1 面	第18回自由美術展	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
44	麻生 三郎	1913-2000	自己像	1989(昭和64・平成元)	130.3×162.1	油彩・画布	1 面	個展(90南天子画廊)	
45	菅井 汲	1919-1996	NATIONAL ROUTE (ナショナル・ルート)	1964(昭和39)	195.0×130.0	アクリル・油彩・画布	1 面		
46	菅井 汲		SOLEIL BLEU(青い太陽)	1969(昭和44)	235.5×236.0	アクリル・画布	1 面		
47	菅井 汲		V10	1980(昭和55)	200.0×200.0	アクリル・画布	1 面		
48	高橋 秀	1930-	かにのある静物	1960(昭和35)	110.0×134.0	油彩・画布	1 面		

第3室 日本画

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
49			花鳥図	16-17世紀 (桃山時代-江戸時代)	151.0×348.0	紙本彩色	6曲1隻		前期
50			巖島図	17-18世紀(江戸時代)	151.0×334.0	紙本金地彩色	6曲1隻		後期
51			唐子遊び図	18世紀(江戸時代)	各113.5×269.8	絹本彩色	6曲1双		前期
52			宮島図	18世紀(江戸時代)	各149.9×355.6	紙本金地彩色	6曲1双		後期
53	宋 紫石	1715-1786	柳下白鷄図	1769(明和6)	112.6×44.5	絹本彩色	1 幅		前期
54	曾我 蕭白	1730-1781	伯顔図	1767(明和4)頃	133.2×57.0	紙本墨画	1 幅		後期
55	橋本 雅邦	1835-1908	風神雷神	1895(明治28)	各138.0×52.0	絹本彩色	2 幅		後期
56	橋本 雅邦		竜虎争気		各126.0×50.0	絹本墨画淡彩	2 幅		前期
57	竹内 栖鳳	1864-1942	寒林帰牧図	1900(明治33)頃	各166.7×370.8	絹本墨画淡彩	6曲1双		後期
58	竹内 栖鳳		城址	1924(大正13)	80.6×94.2	紙本墨画淡彩	1 幅	第1回淡交会展	前期
59	横山 大観	1868-1958	井筒	1897(明治30)	135.6×83.5	紙本彩色	1 幅		前期
60	菱田 春草	1874-1911	莊重(高士望岳)	1902(明治35)	103.4×47.9	絹本墨画	1 幅	第12回日本美術院 絵画研究会	前期
61	上村 松園	1875-1949	観書	1940(昭和15)頃	48.0×58.0	絹本彩色	1 幅		前期
62	北野 恒富	1880-1947	風	1917(大正6)	155.0×172.0	絹本彩色	2曲1隻	第3回大阪美術展	後期
63	土田 麦僊	1887-1936	早春図	1913(大正2)頃	114.5×36.5	絹本彩色	1 幅		前期
64	土田 麦僊		雨後図	1916(大正5)	128.9×42.8	絹本彩色	1 幅		後期
65	村上 華岳	1888-1939	菩薩図	1924(大正13)頃	58.2×50.6	絹本彩色	1 幅		後期
66	大村 廣陽	1891-1983	南苑	1928(昭和3)	212.0×158.0	絹本彩色	1 面	第9回帝展	前期
67	速水 御舟	1894-1935	山茶花	1914(大正3)	124.5×50.5	絹本彩色	1 幅	第3回赤曜会展	前期
68	甲斐荘楠音	1894-1978	横櫛	1918(大正7)	165.0×72.0	絹本彩色	1 面	第1回国画創作協 会展	後期
69	猪原 大華	1897-1980	果樹	1927(昭和2)	160.3×120.8	絹本彩色	1 面	第6回国画創作協 会展	前期
70	児玉 希望	1898-1971	山とよむ	1932(昭和7)	257.0×175.0	絹本彩色	1 面	第13回帝展	
71	和高 節二	1898-1990	村の子供	1933(昭和8)	177.5×184.6	紙本彩色	2曲1隻	昭和8年度日本画会展	
72	丸木 位里	1901-1995	雨乞	1939(昭和14)	172.0×140.0	紙本彩色	1 面	第1回丸木位里・ 船田玉樹個展	
73	船田 玉樹	1912-1991	日輪	1940(昭和15)	各181.0×181.0	紙本彩色	2曲1双	紀元二千六百年 奉祝日本画展	
74	塩出 英雄	1912-2001	層嶺	1978(昭和53)	182.0×243.0	紙本彩色	2曲1隻	第63回院展	
75	奥田 元宋	1912-2003	秋鬱真如	1977(昭和52)	156.5×197.5	紙本彩色	1 面	第9回改組日展	
76	佐藤 太清	1913-2004	東大寺暮雪	1975(昭和50)	223.0×168.0	紙本彩色	1 面	第7回改組日展	
77	平山 郁夫	1930-2009	波斯黄堂旧址	1974(昭和49)	166.8×390.0	紙本彩色	1 面	第59回院展	前期
78	平山 郁夫		広島生変図	1979(昭和54)	171.0×364.0	紙本彩色	1 面	第64回院展	後期

第4室 日本とアジアの工芸作品

柿右衛門の優品

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
79			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	17世紀後半(江戸時代)	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1 口		
80			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	17世紀後半(江戸時代)	高45.0	磁器・色絵	1 軀		
81			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	17世紀後半(江戸時代)	高44.3	磁器・色絵	1 軀		

近代日本の陶磁

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
82	板谷 波山	1872-1963	氷華磁草花文花瓶		高36.0 胴径15.7	磁器	1 口		
83	河井寛次郎	1890-1966	辰砂菱花扁壺		高20.7 18.0×12.4	陶器	1 口		
84	浜田 庄司	1894-1978	黒釉鎗流描大鉢	昭和30年代後半	高13.8 径47.0	陶器	1 口		
85	加藤土師萌	1900-1968	磁器香炉「瑞鳳」	1933(昭和8)	高21.5 幅32.4	磁器・色絵	1 合	第14回帝展	
86	松井 康成	1927-2003	練上華小紋屋形陶管	1990(平成2)	高19.0 22.0×29.8	陶器	1 合		
87	加守田章二	1933-1983	曲線彫文扁壺	1970(昭和45)	高27.1 12.0×23.0	陶器	1 口		

インドの更紗

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
88	インド西部		萌黄地花卉唐草丸紋三面縞更紗	17-18世紀	414.4×76.0	木綿・木版媒染防染	1枚		
89	インド		霜降地蔓花草文更紗	17-18世紀	346.0×94.0	木綿・手描媒染	1枚		
90	インド、コロマンデル海岸		菱形染分花唐草文更紗	17-18世紀	234.4×224.5	木綿・手描媒染防染	1枚		
91	インド		藍地葉文更紗	18世紀	254.4×93.0	木綿・手描防染	1枚		

中央アジア・ウズベクとトルクメンの染織

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
92	タシケント (現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	216.0×174.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
93	シャフリサブス (現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	1850年頃	244.0×154.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
94	ヌラタ (現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	19世紀前半	253.0×172.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
95	サマルカンド (現ウズベキスタン)		刺繍布(ジャイナマズ)	19世紀中期	259.0×168.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
96	ブハラ (現ウズベキスタン)		刺繍布(スザニ)	19世紀後半	245.0×160.0	木綿・絹糸・刺繍	1枚		
97	ウズベク人		女性用外衣(ハラト)	1900年頃	129.0×162.8	経：絹 緯：綿・経緋、 裏にプリント木綿	1領		
98	ウズベク人		女性用上衣(コイネク)	20世紀初頭	142.0×191.6	経：絹 緯：絹・経緋	1領		
99	ウズベク人		女性用脚衣	20世紀初頭	長94.5	経：絹 緯：絹・経緋・木綿	1枚		
100	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルビ)	19世紀	総丈126.0	絹・絹刺繍・裏に木綿	1領		
101	テケ族、トルクメン人		女性用被衣(チルビ)	19世紀	総丈124.0	絹・絹刺繍・裏に木版木綿	1領		

中央アジア・トルクメンのジュエリー

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
102	北ヨムート族、トルクメン人		花嫁用頭飾り	19世紀前半	高17.0(下げ飾り除く)	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
103	テケ族、トルクメン人		花嫁用頭飾り(エグメ)	18-19世紀	幅20.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
104	ヨムート族、トルクメン人、イラン		頭飾り(イルディルジチュ)	19世紀中期	幅34.0	銀・カーネリアン	1連		
105	テケ族、トルクメン人		未婚女性用帽子飾り(グッパ)	19世紀中期	高8.5	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
106	テケ族、トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	18世紀	長62.0	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
107	エルサリ族、トルクメン人		こめかみ飾り(テネチル)	19世紀初期	長57.0、59.0	銀・カーネリアン	1対		
108	ヨムート族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀初期	幅18.0	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
109	サルイク族、トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	19世紀前半	幅17.5	銀・鍍金・カーネリアン	1点		
110	テケ族、トルクメン人		首胸飾り(ブカウ)	19世紀中期	幅22.5	銀・鍍金・カーネリアン	1組		
111	テケ族、トルクメン人		胸飾り(ゴンジュク)	18世紀	幅20.0	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
112	テケ族、トルクメン人		背飾り(アシク)	1806/07 (ヒジュラ暦1221)	高26.5	銀・鍍金・カーネリアン	1枚		
113	ヨムート族、トルクメン人、ブハラ		背飾り(アシク)	19世紀前半	高22.0	銀・鍍金・カーネリアン・革	1枚		
114	テケ族、トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1907/08 (ヒジュラ暦1325)	高18.5	銀・鍍金・カーネリアン	1対		
115	エルサリ族、トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	19世紀初期	高6.0	銀・カーネリアン	1対		
116	エルサリ族、トルクメン人		手飾り(キューケンリ・ユズユク)	20世紀初期	径2.4 装飾板6×5	銀・カーネリアン・ガラス	1組		
117	トルクメン人		指輪(ユズユク、キューケンリ・ユズユク)	19-20世紀		銀・鍍金・カーネリアン・ トルコ石・ガラス	37件		

第4期

続・広島県立美術館ベストセクション展 (彫刻展示スペース・第1室・第2室・第3室前半部) 平成27年度新収蔵品ご紹介！(第3室後半部・第4室)

平成28年12月22日(木)～平成29年4月16日(日)

前期：12月22日(木)～2月19日(日)

後期：2月21日(火)～4月16日(日)

リニューアル・オープン20周年記念 続・広島県立美術館ベストセクション展

前衛陶芸～伝統への挑戦

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	八木 一夫	1918-1979	盲亀	1964(昭和39)	高34.0 13.0×31.0	黒陶	1点		
2	八木 一夫		盲亀	1978(昭和53)	高8.0 38.5×30.0	黒陶・鉛板	1点		
3	鈴木 治	1926-2001	神経質な鳥	1975(昭和50)	高18.7 20.0×12.6	青白磁・(台)木	1点		
4	山田 光	1924-2001	化粧の塔	1980(昭和55)	高37.5 45.4×19.0	陶	1点		
5	熊倉 順吉	1920-1985	曲面のレコード・ラック	1981(昭和56)	高39.0 27.5×11.0	陶	1点		
6	宮永 理吉	1935-	断層	1956(昭和31)	高32.0 30.0×31.0	陶	1点		
7	益田 芳徳	1934-	孤	1978(昭和53)	幅20.0×高36.0	ガラス	1点		

西洋美術～1920-30年代の美術

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
8	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布・パネル	1面		
9	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
10	ベン・ニコルソン	1894-1982	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩・ジェッソ・板	1面		
11	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面		
12	アレクサンダー・コルダー	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	金属・ワイヤー・パネ・木	1点		
13	バーバラ・ヘップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点		
14	ヘンリー・ムーア	1898-1986	弦のある形	1939	高28.8×10.7×5.7	ブロンズ・弦	1点		

日本洋画 広島ゆかりの画家たち

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
15	小林 千古	1870-1911	女子正面	1900～1901頃 (明治33～34頃)	90.0×76.0	油彩・画布	1面		
16	小林 千古		静物	1900～1901頃 (明治33～34頃)	23.3×32.5	油彩・板	1面		
17	小林 千古		華厳の滝	1906(明治39)	60.8×41.0	油彩・画布	1面		
18	南 薫造	1883-1950	坐せる女	1908(明治41)	112.1×83.3	油彩・画布	1面	第4回文展	
19	南 薫造		犬吠岬	1940(昭和15)	65.4×80.3	油彩・画布	1面		
20	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	第7回槐樹社展	
21	巖 光		花	1941頃(昭和16頃)	23.6×32.8	油彩・板	1面		
22	巖 光		帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
23	菅井 汲	1919-1996	V6	1979(昭和54)	230.0×200.0	アクリル・画布	1面		
24	菅井 汲		Rouge de Cadmium 11・12 (カドミウム・レッド11・12)	1992(平成4)	各250.0×132.0	アクリル・画布	2面		

柿右衛門様式の優品～日本からヨーロッパにもたらされた輸出磁器

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
25			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	17世紀後半 江戸時代	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1口		
26			伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半 江戸時代	高44.3	磁器・色絵	1軀		
27			伊万里柿右衛門様式色絵馬	17世紀後半 江戸時代	高45.0	磁器・色絵	1軀		

西アジアの金工品～イスラム金工の伝統

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
28	ホラーサーン地方		胡銅円筒形灯籠	12世紀	高30.0 径24.0	砂張・打出・透彫	1基		
29	アフガニスタン西北部		青銅銀銅象嵌蓋付インク壺	12世紀	高11.0 径8.0	鑄造・彫金	1合		
30	ホラーサーン地方		青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	高22.5 径70.5	青銅・鑄造	1口		
31	ホラーサーン地方		胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径19.5	鑄造・彫金	1合		

漆工の名品～日本が誇るJAPANの輝き

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
32			草花蒔絵螺鈿書見台	桃山時代～江戸時代初期	高34.0 幅32.3	木・漆・蒔絵・螺鈿	1 基		
33	赤塚 自得	1871-1936	金地蝶牡丹唐草蒔絵文庫		高17.0 29.0×23.0	木・漆・蒔絵・螺鈿	1 合		
34	川之辺一朝	1830-1910	金梨地瀧山水蒔絵料紙文庫	1902(明治35)	高15.4 44.9×33.1	木・漆・蒔絵	1 合		
35	六角 紫水	1867-1950	刀筆天部奏楽方盆	1927(昭和2)	高2.2 19.6×19.6	木・漆・漆絵・彫刻	1 枚	第8回帝展	
36	松田 権六	1896-1986	鷺蒔絵棚	1938(昭和13)	高69.5 39.3×90.5	木・漆・蒔絵・螺鈿・平文・鎌倉彫	1 基	第2回新文展	
37	増村 益城	1910-1996	髹飾盛器	1960(昭和35)	高9.6 径44.3	漆・髹漆	1 点	第7回日本伝統工芸展・文化財保護委員会委員長賞	

日本画による人物表現のさまざま

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
38	内畠 暁園	1874-1917	異国人物図		199.1×142.0	絹本彩色	1 面		
39	和高 節二	1898-1990	村の消防夫	1932(昭和7)	189.3×108.6	紙本彩色	1 面		
40	平山 郁夫	1930-2009	家路	1953(昭和28)	146.0×206.0	紙本彩色	1 面	第38回院展	
41	平山 郁夫		みのり	1961(昭和36)	152.0×60.0	紙本彩色	1 面	第16回春の院展	
42	平山 郁夫		受胎霊夢	1962(昭和37)	179.5×178.8	紙本彩色	1 面	第47回院展	
43	山中 雪人	1920-2003	樹下黎明	1969(昭和44)	212.0×167.0	紙本彩色	1 面	第54回院展	
44	水谷 愛子	1924-2005	茶事	1980(昭和55)	167.2×211.7	紙本彩色	1 面	第65回院展	

日本画による風景表現のさまざま

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
45	狩野 派カ		西湖図	16世紀(室町時代)	各137.5×353.6	紙本墨画	6曲1双		前期
46			巖島・鞍馬図	17世紀(江戸時代)	各153.5×340.0	紙本金地彩色	6曲1双		後期
47	児玉 希望	1898-1971	晩春	1925(大正14)	122.5×433.0	絹本彩色	8曲1隻	第6回帝展	
48	児玉 希望		室内	1952(昭和27)	171.0×131.0	絹本彩色	1 面	第8回日展	
49	金島 桂華	1892-1974	冬瓜	1955(昭和30)	79.0×145.0	紙本彩色	1 面	第11回日展	
50	奥田 元宋	1912-2003	待月	1949(昭和24)	130.4×204.2	絹本彩色	1 面	第5回日展	
51	奥田 元宋		嶽	1959(昭和34)	110.0×210.0	紙本彩色	1 面	第2回新日展	
52	船田 玉樹	1912-1991	春の鐘	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1 面	第35回院展	
53	船田 玉樹		すすきの原の秋	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1 面	ソ連における現代日本美術展	
54	船田 玉樹		雪の灯ともし頃	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色	1 面	ソ連における現代日本美術展	
55	丸木 位里	1901-1995	竹林	1964(昭和39)	各210.0×270.0	紙本墨画	2曲1双	第6回現代日本美術展	

リニューアル・オープン20周年記念 平成27年度新収蔵品ご紹介！

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
56	熊谷 直彦	1828-1913	十二ヶ月山水図		各128.5×49.5	絹本彩色・押絵貼	6曲1双		
57	名草 逸峰	1821-1889	玉堂富貴図	1885(明治18)	137.5×52.3	紙本墨画	1 幅		
58	吉田 卓	1897-1929	裸婦	1926頃(大正15頃)	91.0×72.5	油彩・画布	1 面		
59	石川 寅治	1875-1964	風景	1918(大正7)	45.6×38.0	油彩・画布	1 面		
60	太田 忠	1908-1971	雪景	1941(昭和16)	129.1×97.8	油彩・画布	1 面		
61	太田 忠		備後の風景	1951頃(昭和26頃)	31.8×41.0	油彩・画布	1 面		
62	太田 忠		ビルの裏街	1955(昭和30)	162.3×130.4	油彩・画布	1 面		
63	太田 忠		晩秋		61.1×80.6	油彩・画布	1 面		
64	太田 忠		カレラック風景	1969(昭和44)	61.0×73.3	油彩・画布	1 面		
65	太田 忠		農村の秋(オーベルニュ地方)	1970(昭和45)	131.0×162.3	油彩・画布	1 面		
66	船木 倭帆	1935-2013	垂描文鉢		径25.3×高19.4	吹きガラス	1 口		
67	船木 倭帆		花文鉢		径26.5×高8.9	吹きガラス	1 口		
68	船木 倭帆		翼文鉢		径23.3×高8.0	吹きガラス	1 口		
69	船木 倭帆		巴皿		径20.5×高1.4	吹きガラス	1 口		
70	船木 倭帆		巴皿		径20.0×高2.2	吹きガラス	1 口		
71	船木 倭帆		巴皿		径20.7×高2.0	吹きガラス	1 口		
72	船木 倭帆		リーフ文花瓶		径15.5×高27.8	吹きガラス	1 口		
73	船木 倭帆		渦巻プラント花瓶		径15.0×高23.7	吹きガラス	1 口		
74	船木 倭帆		線巻プラント花瓶		径10.2×高26.3	吹きガラス	1 口		
75	船木 倭帆		モール花瓶		径13.5×高25.4	吹きガラス	1 口		
76	船木 倭帆		飾双耳一輪挿し		幅9.8×高18.0	吹きガラス	1 口		
77	船木 倭帆		線巻蓋物		径11.0×高13.6	吹きガラス	1 合		
78	船木 倭帆		線巻蓋物		径12.8×高15.4	吹きガラス	1 合		

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
79	船木 倭帆		カラーモール筆立		径7.5×高11.9	吹きガラス	1口		
80	船木 倭帆		インク壺		径6.0×高9.8	吹きガラス	1合		
81	船木 倭帆		栓付角瓶		幅7.5×25.7	吹きガラス	1合		
82	船木 倭帆		線巻レーマー杯		径7.5×高11.8	吹きガラス	1口		
83	船木 倭帆		イチゴプラントレーマー杯		径8.3×高16.8	吹きガラス	1口		
84	船木 倭帆		イチゴプラントレーマー杯		径7.5×高14.7	吹きガラス	1口		
85	船木 倭帆		アラレモール脚ワイングラス		径7.0×高15.0	吹きガラス	1口		
86	船木 倭帆		モール脚ワイングラス		径6.7×高13.6	吹きガラス	1口		
87	船木 倭帆		カラーツイストワイングラス		径7.5×高20.0	吹きガラス	1口		
88	船木 倭帆		ツイスト脚ワイングラス		径6.6×高16.8	吹きガラス	1口		
89	山本 晃	1944-	切嵌象嵌接合せ鉢「青凛」	2005(平成17)	高14.3 径19.5	銀・彫金	1口	第52回日本 伝統工芸展	
90	山本 晃		切嵌象嵌接合せ香炉「白鷺」	2012(平成24)	高12.5 最大幅13.5	銀・彫金	1合		
91	山本 晃		切嵌象嵌接合せ香炉「夕陽」	2012(平成24)	高12.5 最大幅12.0	銀・彫金	1合		
92	六角 紫水	1867-1950	福槌		6.3×4.2×8.7	漆・螺鈿	1点		
93	六角 紫水		刀筆銀文額 松に鳥		17.3×23.4(額23.3×29.4)	漆・銀・刀筆	1面		
94	六角 紫水		煙草盆	1919(大正8)	20.5×29×高10	漆・螺鈿・蒔絵	1口		
95	六角 紫水		刀筆アルマイト文初秋之橋畔香合		径6.5×高1.4	漆・アルミニウム・刀筆	1合		
96	六角 紫水		漆絵鉢 万両		径28×高4	漆	1口		
97	高中 惣六	1899-1974	乾漆蒔絵手箱 紫陽花	1933(昭和8)	29.2×35.5×高16.5	乾漆・蒔絵	1合		
98	石井 磬堂	1877-1944	讃岐彫重箱		24.2×24.2×高44	木彫・彩漆	5段1組		
99	上田 直次	1880-1953	杉本五郎像	1938(昭和13)	H90×W60×D65	ブロンズ	1体		
100	中谷 翫古	1868-1937	題目踊	1922(大正11)	H98×W38.2×D34.8	木・彩色	1体		
101	三沢 厚彦	1961-	Animal 2003-06	2003(平成15)	H70×37×162	木・彩色	1点		
102	三沢 厚彦		Animal 2006-05	2006(平成18)	H40×29×41	木・彩色	1点		
103	三沢 厚彦		Animal 2008-04	2008(平成20)	H48×45×80	木・彩色	1点		
104	三沢 厚彦		Dog 2009-02	2009(平成21)	H42.8×14.5×42	木・彩色	1点		

Ⅲ 普及活動

1 第4回新県美展(第68回広島県美術展)

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。本年度は、映像系部門・招待作家(本県美術教育・美術文化への貢献者)・入館者人気投票の新設、副賞金の復活など平成25年度の改変を引き継ぎ「第4回新県美展」として開催した。応募点数1,135点のうち490点が入選。うち、受賞作品59点(大賞7点、優秀賞13点、奨励賞39点)。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞7点が選定され、招待作家20名の作品を展示した。

主催

広島県

共催

三次市教育委員会、三原市教育委員会、福山市、府中市教育委員会、世羅町教育委員会、庄原市教育委員会、竹原市、中国新聞社

後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、リビングひろしま

開催会場、期間および観覧者数

市町名	会 場	会 期	観覧者数
広島市(中央展)	広島県立美術館	7月2日(土)～7月17日(日)	7,227人
三次市	美術館あーとあい・きさ	7月27日(水)～7月31日(日)	240人
三原市	三原リージョンプラザ	8月3日(水)～8月7日(日)	631人
福山市	ふくやま美術館	8月17日(水)～8月21日(日)	1,033人
府中市	府中市生涯学習センター	8月24日(水)～8月28日(日)	471人
世羅町	世羅町せらにشتاونセンター	8月31日(水)～9月4日(日)	181人
庄原市	庄原市田園文化センター	9月7日(水)～9月11日(日)	338人
竹原市	たけはら美術館	9月14日(水)～9月18日(日)	353人

合計 10,474人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵 画 系	◎田中佐知男	◎佐々木 博	○本田 彰代	○恵木 昌之	○山下 徳三
	○小川 公久	小野 平治	藤永ツタ子	宮澤 孝恵	三木浩太郎
	吉本 幸子	吉本 平二	金子 照子	前原 専二	原田 幹子
	常光 知美	渡辺 百樹	米田 俊二	田坂素恵子	
彫 塑 系	◎池田 安雅	○佐々木一則	岡本 卓博		
工 芸 系	◎中村 時男	○永谷 早登	○高瀬 安芸	徳永恵美子	大久保英子
	宮澤 勝	永田 雅治			
書 系	◎鶴川 稲山	○砂場 優子	○川尻喜美子	今井 綾子	石岡 玲翠
	安国 隆之	弘津 弥栄	平本 京子	増山 恵子	大下 友与
	河内 裕美				
写 真 系	◎鴨野 昭夫	○三反田美穂	○小澤 豊	藤原 成毅	森井 敏光
	林 正博	三原日出夫	藤原 晋	石野 保	金子 昭久
	山田 修三				
デザイン系	◎越智理恵子	○小島 信行	山崎佐知子	稲村 悠羽	
映 像 系	○長野 櫻子	篠原 祐木	亀岡 千明	迫 早智子	

2 第5回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力(感じる力、考える力、みる・かく・つくる力)の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催している。このたびの第5回展では、応募作品3,612点のうち953点が入選。うち、受賞作品145点(大賞8点、優秀賞30点、奨励賞107点)。また、共同制作には6点の出品があった。

主催

広島県

共催

広島県教育委員会、中国新聞社

助成

公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団

後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、(株)広島リビング新聞社

会場

広島県立美術館 地階県民ギャラリー

会期

平成28(2016)年12月16日(金)～12月25日(日)

入館料

無料

観覧者数

5,650人

入賞者名簿(※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞)

絵画系	◎伊藤 勇人	◎桑田 綾奈	◎佐藤 里菜	◎池山 晴香	○林田 葉奈
	○福原 春菜	○伊藤 佑斗	○藤井 咲哉	○伊藤 拓実	○山田 泰雅
	○不動 菜緒	○三浦 袈淋	○端山 晶太	○西浦 妃夏	○神川 美羽
	○石川 撞真	○木村侑加子	○佐藤 有希	○木村 凌	○高橋 良
	岩本 乙希	香川さなみ	芥川 棕丞	藤井 咲那	測上 聖七
	小田 暁央	羽田 朝陽	前 咲玖良	丸川 侑真	尾下 瑠生
	紙屋 一樹	榊本 陸斗	末廣凜之介	三原 歩実	小田真菜香
	向井優里彩	三上 鈴葉	山中 唯央	田中 隼人	山中 彩世
	和田 奏	山中さや香	永島 愛美	有馬美由香	植村 智祥
	角本 嗣久	山下 柊那	内田 天	福井 夕稀	佐藤 駿太
	小林 軸	殿山 結月	榊田 葦月	眞子 遥翔	神原 侑喜
	今川 凜華	岡本 未蒼	阿部 僚真	増永 愛香	南波 昭斗
	高橋 美羽	橋垣 幸弥	東 虎ノ助	工藤 桃子	藤田 大己
	黒木 碧恵	森上 心菜	佐藤 琴音	馬場 直人	益村 苺依
	土井 一輝	向久保結衣	古谷 静音	中島 悠	岡本 海澄

彫刻系 工芸(工作)系	鋤田 獅友	増成 紗弓							
	◎山本 倉麻	○津國 友来	中山 蓮		森下 功紬	向井 周音			
	◎有末 晟	○伊藤 勇人	○松浦 遼斗		○吉田 麻紗	○岡田 優生			
	○田中 一葉	伊藤 佑斗	眞鍋 昂大		小林 健介	古川 柊			
写真系	本田 絢子	渡辺菜々花	曾田 千皓		曾田 碧一	原 琉旺			
	小畑 飛翔	西村 美桜	坂村 渉太		畠本 京佳	宮西 花怜			
	升屋 嘉人	岡田 直生	熊原 顕土						
	◎神田 優作	○新庄光太郎	○先田 幸喜		○下津江 葵	白砂 宗史			
デザイン系	樋川 沙希	福間 光信	藤保 琳佳		山口 愛加	増元 奎京			
	堤中 裕也	眞田 葵	林 望海		神田 涼平	村上 柚月			
	◎原田真日瑠	○古川 真咲	○沖本 祐受		○寺尾 菜歩	○中本 風咲			
	○皿海 風	池田悠羽奈	内海 夏姫		小林埜々香	高岡 昇汰			
	山本 亜季	森本 結菜	久本 真木		高橋 花鈴	藤本 胡桃			
	大友 彪雅	磯部 美佐	寺田 莉子		川野 舞奈	田中理咲子			
	今津野乃夏	松村 妃那	鍛治川由衣		佐々木真実	佃 京華			
	藤本 陽名	末田 陽彩							

3 博物館実習

本実習は、大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。開設日時、カリキュラム、および受入先は次のとおり。

開設日時と内容

8月18日（木）	9：30～10：45	開講あいさつ・館長講話
	10：45～11：30	オリエンテーション
	11：30～12：00	ミニ企画展実習①（概論）
	13：00～14：00	講座①「美術館の展示環境」
	14：00～15：00	展覧会見学①「所蔵作品展」
	15：00～16：00	展覧会見学②「大恐竜展」
8月19日（金）	9：30～12：00	作品取扱い実習・調書作成①（平面）
	13：00～15：00	作品取扱い実習・調書作成②（立体）
	15：00～16：00	講座②「美術館と学芸活動」
8月20日（土）	9：30～10：30	展覧会を取材する（館内取材・資料調査）
	10：30～12：00	展覧会を紹介する（短評作成・相互批評）
	13：00～14：00	ミニ企画展実習②（企画一討議）
	14：00～16：00	ミニ企画展実習③（企画一立案）
8月22日（月）	9：30～12：00	ミニ企画展実習④（企画一集約）
	13：00～16：00	ミニ企画展実習⑤（企画一制作）
8月23日（火）	9：30～12：00	ミニ企画展実習⑥（企画一発表準備）
	13：00～14：30	ミニ企画展実習⑦（発表）
	15：00～16：00	受講生ディスカッション

受講生所属大学

大谷大学、尾道市立大学、広島女学院大学、比治山大学、安田女子大学、立命館大学、広島市立大学、広島大学、東海大学、京都造形芸術大学、日本大学（11大学23名）

ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、当館2階で開催する所蔵作品展について、5点程度の作品で構成する展示を企画することを課題とした。受講生は全4班に分かれて、所蔵作品の文献調査を行ないつつ、多角的な視点による企画立案に結びつけた。あわせて、広報イメージ、ワークシート、関連イベント等を考案し、企画内容のプレゼンテーションを行なった。なお、提案された企画の展示タイトル及び展示作品は次の通りである。

①	月の見え方ー国境を超えてー
	吉原英雄《版画集『ペットショップ』より デューラーの兎》、今井政之《象嵌彩窯変磯蟹大皿》、清水南山《獅子図手板》、船越保武《若い女（横顔）》、奥田元宋《待月》
②	愛と共にようそう
	大村廣陽《南苑》、圓錐勝三《途上》、名井萬亀《一家団欒》、吉原英雄《版画集『ペットショップ』より ランチ・タイム》、北ヨムート族トルクメン人《花嫁用頭飾り》、和高節二《眠る子》
③	目と目
	吉原英雄《版画集『ペットショップ』より 蟻の観察》、久保田辰男《家族》、児玉希望《猿猴捉月》、藤川素子《流転》、伊万里柿右衛門様式色絵馬
④	贈り物の美～あなたへのメッセージ～
	清水南山《猫金具付小児用手提》、北ヨムート族トルクメン人《花嫁用頭飾り》、北ヨムート族トルクメン人《花嫁用頭飾り》、鬚光《コミサ（洋傘による少女）》、水谷愛子《祐太と亮ちゃん》

4 学校・地域との連携事業

「美術作品鑑賞授業」

事業内容

本事業は、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、美術館と学校や地域との相互交流を促進するために実施している。本年度は、昨年度まで継続していた出張講座メニューを休止し、作品持参事業(当館の所蔵作品を学校に持ちこみ、教師・学芸員が連携して鑑賞授業を行うことにより、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高める機会を提供する事業)のみを実施した。なお、この実施校の決定には、県内の各学校に問合せを行ない、近隣に美術館がなく、日頃美術作品に触れる機会の少ない学校を優先するなど、地域や校種のバランス、過去の開催実績を考慮した。

実施日程

① 広島県立東城高校

実施月日：平成29年1月16日(月) 11:45~12:35、13:35~14:25

目 標：作品の素材や技法、表現などから多様な価値観を見つけ出し、作家のころを味わう。

内 容：名前の伏せられた作品に名前を付けることを課題とし、鑑賞に取り組んだ。生徒は、作品を見て感じたこと、考えたことを発言しあい、作家のころに触れることができた。

進 行：門田 彩、隅川 明宏(当館学芸員)

鑑賞作品：木村 芳郎《青釉鳥文鉢》、今井 政之《象嵌彩窯変磯蟹大皿》、平山 郁夫《巖島》、
名井 萬亀《郊外電車》

参加人数：計20名(1年生、3年生)

② 坂町立小屋浦小学校

実施月日：平成29年1月17日(火) 10:40~11:25

目 標：身近な風景が描かれた絵画作品から、作者が表現していることを読み取り、美術の見方・感じ方を学ぶ。

内 容：名前の伏せられた作品に名前を付けることを課題とし、鑑賞に取り組んだ。児童は、作品を見て感じたこと、考えたことを発言しあい、魅力的な名前を提示することができた。

進 行：門田 彩、隅川 明宏(当館学芸員)

鑑賞作品：平山 郁夫《巖島》、武永 慎雄《冬の陽(吉和村)》、名井 萬亀《郊外電車》、
中西 利雄《中野風景》

参加人数：計23名(5年生、6年生合同)

③ 廿日市市立津田小学校

実施月日：平成29年1月31日(火) 10:40~11:25

目 標：身近な風景が描かれた絵画作品から、作者が表現していることを読み取り、美術の見方・感じ方を学ぶ。

内 容：名前の伏せられた作品に名前を付けることを目標とし、鑑賞に取り組んだ。児童は、作品を見て感じたこと、考えたことを発言しあい、魅力的な名前を提示することができた。

進 行：門田 彩、隅川 明宏(当館学芸員)

鑑賞作品：平山 郁夫《巖島》、武永 慎雄《冬の陽(吉和村)》、名井 萬亀《郊外電車》、
中西 利雄《中野風景》

参加人数：計40名(5年生、6年生合同)

5 学校等による利用状況

No.	団体名	住所	利用年月日	生徒	その他(引率・ガイドなど)	計
1	広島市立大手町商業高等学校	広島市中区大手町4-4-4	平成28年4月27日	55	4	59
2	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	4月28日	18	2	20
3	崇徳高等学校(2年)	広島市西区楠木町4丁目15番13号	4月28日	36	1	37
4	広島工業大学高等学校	広島市西区井口5丁目34-1	4月28日	30	2	32
5	武田中・高等学校(中学の部)	東広島市黒瀬町大多田443-5	5月8日	1	3	4
6	武田中・高等学校(高校の部)	東広島市黒瀬町大多田443-5	5月8日	8	0	8
7	岡山県小田郡矢掛町立矢掛中学校	岡山県小田郡矢掛町矢掛2957番地	5月11日	21	0	21
8	岡山市立石井中学校	岡山市北区下伊福上町10-9	5月12日	21	0	21
9	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市錦見2丁目5-8	5月13日	66	4	70
10	赤磐市立高陽中学校	岡山県赤磐市上市51番地	5月13日	6	1	7
11	岡山県瀬戸内市立長船中学校	岡山県瀬戸内市長船町牛文1010番地	5月13日	15	1	16
12	岩国市立灘中学校	山口県岩国市藤生町2-25-1	5月17日	91	1	92
13	唐津市立北波多中学校	佐賀県唐津市北波多徳須恵303	5月18日	13	3	16
14	広島市立宇品中学校	広島市南区宇品東5-1-51	5月26日	13	5	18
15	広島市立楠那中学校	広島市南区楠那町4番1号	5月26日	5	2	7
16	広島市立仁保中学校	広島市南区仁保1丁目56-1	5月26日	3	2	5
17	広島市立翠町中学校	広島市南区翠4丁目15-1	5月26日	11	4	15
18	岩国市立川下中学校	岩国市中津町2丁目22-25	5月26日	46	1	47
19	周南市立周陽中学校	山口県周南市周陽3丁目3-1	6月2日	26	0	26
20	笠岡市立真鍋中学校	岡山県笠岡市真鍋島4240	6月16日	1	2	3
21	岩国市立麻里布中学校	岩国市室の木町2-7-11	7月26日	18	1	19
22	安田女子中学高等学校(中学)	広島市中区白島北町1-41	8月8日	19	2	21
23	岩国市立岩国中学校	岩国市錦見2-5-80	8月8日	32	4	36
24	光市立大和中学校	山口県光市大字塩田3333-1	8月22日	8	2	10
25	田布施町立田布施中学校	山口県熊毛郡田布施町大字下田布施	8月26日	28	2	30
26	広島市立吉島中学校	広島市中区吉島東3丁目1-1	8月31日	8	4	12
27	広島市立幟町中学校	広島市中区上幟町6-29	8月31日	6	3	9
28	北広島町立八重東小学校	山県郡北広島町有田1897番地1	9月15日	35	4	39
29	東広島市立三ツ城小学校	東広島市西条中央7丁目23番55号	9月23日	143	7	150
30	広島市立温品小学校	広島市東区温品7丁目8-8	9月28日	65	3	68
31	広島市立舟入小学校	広島市中区舟入南2丁目9-48	9月28日	101	4	105
32	庄原市立高小学校	庄原市高町828番地	9月29日	33	5	38
33	明石市立高丘東小学校	明石市大久保町高丘3-2	9月30日	22	3	25
34	北広島町大朝中学校	山県郡北広島町大朝4683-1	10月5日	25	5	30
35	竹原市立中通小学校	竹原市下野町3469番地	10月6日	26	3	29
36	庄原市立庄原中学校	庄原市東本町	10月8日	8	1	9
37	広島朝鮮初中高級学校(高校)	広島市東区山根町37-50	10月12日	26	3	29
38	北広島町教育委員会 千代田中央公民館	広島県山県郡北広島町有田1220-1	10月16日	17	2	19
39	横浜インターナショナルスクール	横浜市中区山手町258番地	10月18日	16	2	18
40	静岡県立沼津特別支援学校 愛鷹分校	静岡県沼津市岡一色875	10月26日	6	2	8
41	広島市立中島小学校	広島市中区加古町10番8号	11月15日	58	49	107
42	海田町立海田小学校	広島県安芸郡海田町昭和町2-55	11月22日	66	3	69
43	広島市立大手町商業高等学校	広島市中区大手町4丁目4-4	11月24日	10	2	12

No.	団体名	住所	利用年月日	生徒	その他(引率・ガイドなど)	計
44	広島市立亀山小学校	広島市安佐北区亀山5丁目11-1	11月29日	150	6	156
45	小井手ファッションビューティー専門学校(高校課程)	広島市南区金屋町1-20	11月30日	12	1	13
46	広島女学院高等学校	広島市中区上幟町11-32	12月02日	215	8	223
47	小井手ファッションビューティー専門学校(高校課程)	広島市南区金屋町1-20	12月02日	16	2	18
48	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	12月 8 日	18	2	20
49	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	12月 9 日	25	1	26
50	学校法人中川学園 広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	12月12日	8	1	9
51	学校法人安田学園 安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	12月14日	26	1	27
52	鳥根県立石見養護学校	鳥根県邑智郡邑南町中野2384-18	12月15日	7	3	10
53	広島インターナショナルスクール	広島市安佐北区倉掛3-49-1	12月15日	16	2	18
54	広島市立城山中学校	広島市佐伯区城山2丁目17番1号	12月17日	10	1	11
55	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	12月19日	26	1	27
56	岡山市立高松中学校	岡山市北区高松原古才30	平成29年 1 月27日	4	0	4
57	中川学園 広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	2 月15日	12	1	13
58	鳥根県立石見養護学校	鳥根県邑智郡邑南町中野2384-18	3 月 7 日	4	2	6
59	慶応義塾 中等部	東京都港区三田2-17-10	3 月12日	95	5	100
計				1,906	191	2,097

6 県民ギャラリー利用状況

平成28年3月28日～平成29年4月3日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料の場合	8団体	48日	36,827人
入場無料の場合	91団体	546日	91,162人
計	99団体	594日	127,989人

平成28年度県民ギャラリー利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第79回 自由美術展	3/28～4/4	12345	絵画、彫塑	112点	無料	822
つかさアートクラブ絵画展	4/4～4/11	12	絵画	103点	無料	1,148
第12回 手織適塾SAORI 広島展	4/4～4/11	3	工芸	60点	無料	579
第2回 広島一水会展・第36回 路展	4/4～4/11	45	絵画	98点	無料	1,186
画業50年記念 波涛を描く 遠藤 勇展	4/11～4/18	12	絵画	64点	無料	1,449
公募・第37回 関西綜美会展	4/11～4/18	345	絵画、彫塑、工芸、書、写真	120点	無料	1,449
第19回 全陶展 広島支部展	4/18～4/25	1	工芸	29点	無料	573
憧憬～和布の美しさ～	4/18～4/25	2	リメイク作品、きもの、帯、アクセサリ、小物	90点	無料	309
第56回 新制作広島グループ展	4/18～4/25	45	絵画、彫塑	43点	無料	873
西尾 裕展	4/25～5/2	1	絵画	22点	無料	495
第48回 黄人展	4/25～5/2	23	絵画、彫塑	83点	無料	888
第51回 グループいしがき展	4/25～5/2	45	絵画、工芸	89点	無料	781
第25回 波の会展	5/2～5/9	12345	絵画	240点	無料	2,164
第58回 新協展	5/9～5/16	12345	絵画、工芸	138点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	2,297
第23回 グループ宙遊展	5/16～5/23	1	絵画	38点	無料	740
20周年記念 妹背陶芸クラブ展	5/16～5/23	2	工芸	150点	無料	607
第47回 広島県日本画協会展	5/16～5/23	345	絵画	71点	無料	1,238
第64回 光陽展 広島準本展	5/23～5/30	12345	絵画	123点	一般 500円 高校生以下無料	1,572
第102回 光風会展	5/30～6/6	12345	絵画、工芸	170点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	8,132
第15回 紅葉会書道展	6/6～6/13	1	書	37点	無料	415
第19回 広島県伝統工芸能面展	6/6～6/13	2	工芸	73点	無料	557
第52回 広島形象派展	6/6～6/13	3	絵画	50点	無料	628
第51回 広島県写真連盟展	6/6～6/13	45	写真	292点	無料	1,446
第13回 Petals美術展	6/13～6/20	1	絵画	53点	無料	452
第50回 みのん展	6/13～6/20	2	絵画、彫塑	70点	無料	568
ボーダレスアート展 in 広島	6/13～6/20	34	絵画、他(彫金、陶芸、立体造形)	108点	無料	863
第101回 北翔展	6/13～6/20	5	絵画	48点	無料	594
第55回記念 大調和会 広島巡回展	6/20～6/27	123	絵画	70点	無料	1,579
第13回 むいち会展	6/20～6/27	4	絵画	47点	無料	723
市谷 實 作品展	6/20～6/27	5	絵画	50点	無料	744
第40回全国高等学校総合文化祭 (2016ひろしま総文)美術・工芸部門	7/25～8/8	12345	絵画、彫塑、工芸、デザイン、映像、他	422点	無料	5,720

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
心書倶楽部展	8 / 8 ~ 8 / 15	1 2	書、他(Tシャツ)	144点	無料	685
第28回 クロッキー同好会 人物素描展	8 / 8 ~ 8 / 15	3	絵画	70点	無料	665
第 8 回 太陽の子書の作品展	8 / 8 ~ 8 / 15	4 5	書	104点	無料	1,112
第82回 東光展	8 / 15 ~ 8 / 22	1 2 3 4 5	絵画	164点	一 般 600円 高 大 生 500円 中学生以下無料	4,095
第68回 毎日書道展中国展	8 / 22 ~ 8 / 29	1 2 3 4 5	書	900点	一 般 600円 高校生以下無料	4,161
あしあと展	8 / 29 9 / 5	1	絵画、工芸、写真	57点	無料	322
第39回 グループ「集」展	8 / 29 ~ 9 / 5	2	絵画	38点	無料	892
第59回 広島県児童画連盟展	8 / 29 ~ 9 / 5	3	絵画、工芸、書	275点	無料	904
第19回 墨韻会展	8 / 29 ~ 9 / 5	4 5	絵画、書	63点	無料	728
第56回 日本版画会展(広島会場)	9 / 5 ~ 9 / 12	1 2 3	絵画	133点	無料	1,557
第28回 アートグループ「滴」展	9 / 5 ~ 9 / 12	4	絵画	40点	無料	940
第35回 互の会 日本画展	9 / 5 ~ 9 / 12	5	絵画	70点	無料	946
武蔵野美術大学校友会広島支部 第45回 MUSABI展	9 / 12 ~ 9 / 19	1	絵画	17点	無料	747
第20回 グループ「Z」水彩展	9 / 12 ~ 9 / 19	2	絵画	18点	無料	657
第62回 広島職場美術展	9 / 12 ~ 9 / 19	3 4	絵画、彫塑、工芸、書、写真、 他(水墨画)	263点	無料	1,347
田川 明美展	9 / 12 ~ 9 / 19	5	絵画、工芸	30点	無料	749
第44回 広島彫刻会展	9 / 19 ~ 9 / 26	1	彫塑	21点	無料	435
第19回 水墨画・書道合同作品展	9 / 19 ~ 9 / 26	2 3	絵画	86点	無料	784
第15回 凜の会展	9 / 19 ~ 9 / 26	4	絵画	45点	無料	698
第32回一般社団法人新興美術院広島支部展	9 / 19 ~ 9 / 26	5	絵画	22点	無料	812
第33回 産経国際書展瀬戸内展	9 / 26 ~ 10 / 3	1 2 3 4 5	書	324点	無料	1,017
第30回 NOA写真展	10 / 3 ~ 10 / 10	1	写真、他	65点	無料	990
第38回 一般社団法人二科会 写真部広島支部公募展	10 / 3 ~ 10 / 10	2 3 4 5	写真	423点	無料	1,784
第34回 ARGグループ絵画展	10 / 10 ~ 10 / 17	1	絵画	33点	無料	486
第25回 ぐるーぶNAN作品展	10 / 10 ~ 10 / 17	2	絵画	60点	無料	620
第 3 回 フリーアングル展	10 / 10 ~ 10 / 17	3	絵画、他(立体)	34点	無料	590
広島YMCA学園 2016生徒作品展 「芸大大受験科」「美術教室」	10 / 10 ~ 10 / 17	4 5	絵画、他(立体)	465点	無料	813
第26回 風の会写真展「四季賛歌」	10 / 17 ~ 10 / 24	1	写真	52点	無料	901
アルファフォトクラブ作品展	10 / 17 ~ 10 / 24	2	写真	43点	無料	1,085
第14回 彩び展	10 / 17 ~ 10 / 24	3	絵画、工芸、 他(書籍、パッケージ、モビール)	107点	無料	900
第 2 回 鉄田 武範 写真展	10 / 17 ~ 10 / 24	4	写真	70点	無料	1,283
第60回 三師会展	10 / 17 ~ 10 / 24	5	絵画	50点	無料	560
第 5 回 「木絆会」版画展	10 / 24 ~ 10 / 31	1	絵画	52点	無料	705
日本風景写真協会 会員選抜作品展 「四季のいろⅥ」巡回展	10 / 24 ~ 10 / 31	2	写真	103点	無料	957
京都造形芸術大学 通信教育部 広島学習会 第12回 歩展	10 / 24 ~ 10 / 31	3	絵画、陶芸	35点	無料	510
東京造形大学創立50周年 広島記念展	10 / 24 ~ 10 / 31	4 5	絵画、彫塑、写真	49点	無料	652
NHK水彩画南有田教室OB展	10 / 31 ~ 11 / 7	1	絵画	41点	無料	615
第 5 回 新構造広島巡回展	10 / 31 ~ 11 / 7	2 3 4	絵画、工芸、写真、他(版画)	70点	無料	1,557
第46回 渦展	10 / 31 ~ 11 / 7	5	絵画	57点	無料	679
第40回 広島県高等学校総合文化祭 第48回 広島県高等学校美術・工芸展(中央展)	11 / 7 ~ 11 / 14	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン)	623点	無料	981

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第40回 広島県高等学校総合文化祭 第48回 広島県高等学校書道展	11/14～11/21	1 2 3 4	書	302点	無料	685
第40回 広島県高等学校総合文化祭 第48回 広島県高等学校写真展	11/14～11/21	5	写真	446点	無料	470
第4回 麦の会展	11/21～11/28	1	絵画	38点	無料	694
第47回 元陽展 広島会場	11/21～11/28	2 3 4	絵画	102点	無料	2,908
第13回 フォルマーレ展	11/21～11/28	5	絵画	42点	無料	522
あいサポートアート展	11/28～12/5	1 2 3 4 5	絵画、工芸、書、 他(立体造形、陶芸)	409点	無料	1,256
第80回 新制作絵画展	12/5～12/12	1 2 3 4 5	絵画	95点	一般 600円 大学生以下無料	3,494
第101回 二科展(第61回 広島巡回展)	12/28～1/9	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、他(デザイン)	579点	一般 600円 高大生 400円 中学以下無料	6,708
第69回 広島県児童生徒書道展	1/9～1/16	1 2 3 4 5	書	3,400点	無料	3,472
比治山大学短期大学部美術科50周年記念 第49回 卒業制作展 第15回 修了制作展	1/16～1/23	1 2 3 4 5	絵画、工芸、 他(デザイン、マンガ)	170点	無料	737
第25回 広島県シルバー作品展	1/23～1/30	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	285点	無料	1,977
第70回記念 二紀展 第46回 広島巡回展	1/30～2/6	1 2 3 4 5	絵画、彫塑	136点	一般 600円 前売団体 500円 大学生以下無料	6,368
第48回 安田女子大学書道学科卒業制作展 (併催) 安田女子大学書道学科展 (123年) 安田学園小・中・高等学校書道展	2/6～2/13	1 2 3 4 5	書	276点	無料	972
平成28年度 広島県立熊野高等学校 芸術類型 美術コース・書道コース 卒業作品展	2/13～2/20	1 2	絵画、工芸、書、他(パネル)	90点	無料	1,581
2017 全日本写真連盟広島県本部展 第76回 国際写真サロン展 第33回 日本の自然展 第20回 朝日サロン中国展 第17回 広島県本部展	2/13～2/20	3 4 5	写真	470点	無料	1,333
第55回広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修・教育学部造形芸術系コース 修了・卒業作品展/論文発表会	2/20～2/27	1 2 3	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン、 論文パネル、パネル)	41点	無料	687
広島芸術学会 芸術展示 第10回展 不在の存在論	2/20～2/27	4 5	絵画、彫塑、書、他(映像作品)	16点	無料	583
第65回 書の友全国書道展覧会	2/27～3/6	1 2 3 4 5	書	3,398点	無料	2,426
第40回 広島県工芸美術作家協会展	3/6～3/13	1	工芸	22点	無料	408
世界文化遺産広島20周年記念写真展	3/6～3/13	2 3 4 5	写真	134点	無料	1,972
穴吹デザイン専門学校 卒業修了制作展 2017	3/13～3/20	1 2 3	絵画、他(デザイン)	250点	無料	599
第51回 ひろしま美術研究所展	3/13～3/20	4 5	絵画、工芸、他(立体)	295点	無料	475
(染)空想工房 荒谷いずみ展	3/20～3/27	1	工芸	11点	無料	290
比治山短大美術科50年展	3/20～3/27	2 3 4	絵画、彫塑、工芸、他(デザイン)	103点	無料	1,017
シート展 シード美術研究所 2016年度在籍生徒作品展	3/20～3/27	5	絵画	232点	無料	408
第4回 はなが女子展	3/27～4/3	1	絵画、他(立体、小作)	54点	無料	783
第35回記念 彩友会展	3/27～4/3	2 3	絵画	79点	無料	899
久保田辰男絵画展	3/27～4/3	4 5	絵画	79点	無料	1,753
合 計						127,989

7 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。そして、平成28年度は創立20年目の節目を迎え、本年度も多彩な行事を施行した。

会員数 878人(個人630人 家族231人 学生5人 賛助11人 特別賛助1人)

(1) 会報の発行

発行 75号、76号、77号、78号

配布先 会員、美術館関係他

(2) 美術情報及び友の会ニュースの発行

・美術情報 104号、105号、106号、107号

・友の会ニュース 140号～146号



『色絵馬』No.75



『色絵馬』No.76

(3) 所蔵作品展のボランティアによるギャラリーガイド

・定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施

土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施

特別展開催中の月曜日開館時は、14時から実施

・臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施

・ギャラリーガイド実績

定時 849名(ガイド延人員 430名)

臨時(団体) 17件(鑑賞者 613名、ガイド延人員 35名)



『色絵馬』No.77



『色絵馬』No.78

(4) ボランティア・ギャラリーガイド研修

◆所蔵作品展研修 (美術館と共催・展示替えの時期)

平成28年6月4日(土) 22名、7月30日(土) 22名、11月5日(土) 21名、

平成29年3月4日(土) 20名

◆研修会

◇版画一リトグラフ 平成28年9月3日(土)

「版画－ウォーターレス・リトグラフ」制作 実習

講師：釣谷 幸輝(広島市立大学芸術学部 講師)

参加：15名

◇野外彫刻めぐり 平成28年10月15日(土)

場所：広島平和記念公園とその周辺

参加：14名

◇美術館研修 平成29年1月7日(土)

場所：頼山陽史跡資料館「浅野侯別邸泉邸図」のギャラリートーク

参加：18名

(5) 第62回日本伝統工芸展広島展こども鑑賞コース「出張授業」の支援
実施せず

(6) 特別展関連・講演会（美術館と共催）

◆平成28年4月1日（金）13：30～「天下太平 徳川名宝展」関連

演題：「太平の世の美術」

講師：榊原 悟（岡崎市美術博物館 館長）

参加：105名

◆平成28年4月17日（日）13：30～「天下太平 徳川名宝展」関連

演題：「パクス・トクガワナへの道」

講師：徳川 恒孝（徳川宗家18代当主 公益財団法人徳川記念財団理事長）

参加：290名

◆平成28年5月8日（日）13：30～「天下太平 徳川名宝展」関連

演題：「辻が花に迫る！～復元・修理を通して」

講師：矢野 俊昭（染織文化財修復家）

参加：106名

◆平成28年9月17日（土）13：30～「東山魁夷展」関連

演題：「東山魁夷の生涯と芸術」

講師：尾崎 正明（本展監修者・茨城県近代美術館 館長）

参加：247名

◆平成28年11月13日（日）13：30～「だまし絵の巨匠 エッシャー展」関連

演題：「エッシャー その作品と生涯」

講師：安田 恭子（佐世保市博物館 島瀬美術センター館長）

参加：72名

◆平成29年1月22日（日）13：30～「彫金家・清水南山」関連

演題：「日本の彫金－技術とその魅力」

講師：飯野 一郎（彫金家、東京藝術大学美術学部教授）

参加：82名

◆平成29年2月25日（土）13：30～「第63回日本伝統工芸展」関連

演題：「伝統の工芸ということ－現代を見つめる－」

講師：諸山 正則（東京国立近代美術館工芸館 主任研究官）

参加：93名



9月17日 尾崎正明氏講演会

(7) 「もっと知ろうシリーズ」（美術館と共催）

◆第41回 平成28年4月24日（日）13：30～

演題：「染色作品の表現について」

講師：山下 了是（東京藝術大学 名誉教授）

参加：43名

◆第42回 平成28年5月25日（水）13：00～

演題：「広島ゆかりの工芸作家」

講師：宮本真希子（広島県立美術館 主任学芸員）

参加：21名



4月24日 講演後、2階ギャラリーに移動
山下氏の説明をきく

◆第43回 平成28年10月2日(日) 13:30～

演題:「小林和作－尾道の花咲翁さん」

講師:倉橋 清方(元呉市立美術館 館長)

参加:43名

◆第44回 平成29年2月11日(土) 11:00～

演題:「清水南山」展ギャラリートーク

講師:宮本真希子(広島県立美術館 主任学芸員)

参加:40名

(8) 美術鑑賞の旅

◆お散歩美術鑑賞会

◇広島市現代美術館 「1945±5年」展

平成28年9月25日(日) 10:00～

ギャラリートーク:出原 均(兵庫県立美術館学芸員)

参加:41名

◆日帰り美術鑑賞旅行

◇山口県立萩美術館「アール・ヌーヴォーのガラス」展

山口県立美術館「ラファエル前派展 英国の夢」

平成28年4月27日(水) 参加:34名

◇笠岡市立竹喬美術館「榊原紫峰展」

姫路市立美術館「鈴木其一展」

・1班 平成28年11月25日(金) 参加:37名

・2班 平成28年11月26日(土) 参加:38名

◇山口県立美術館「世界遺産ポンペイの壁画」展

下関市立美術館「動き出す!絵画」展

平成29年3月10日(金) 参加:40名

◆宿泊美術鑑賞旅行

◇「山形 美と風土散策の旅」 2泊3日

平成28年9月14日(水)～9月16日(金) 参加:40名

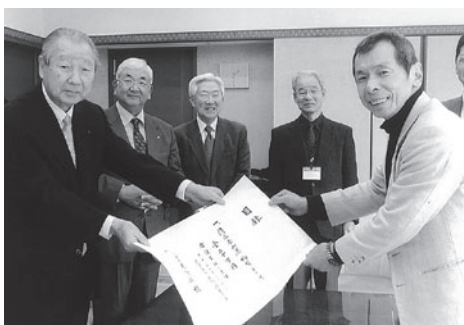


3月10日 山口県立美術館

(9) その他

◆特別展の協賛

協賛特別展:「彫金家 清水南山」平成29年1月6日～2月12日



2月22日
竹内友の会会長より千足館長に
協賛金目録が渡される

Ⅳ 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 372,181名		
所蔵作品展 入館者数 106,373名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
特別展 入館者数 265,808名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展 入館者数 43,857名	家康の生涯や人となりを知ることができる資料や、将軍家・御三家などに受け継がれる名宝、太平の世のもと成熟する武家・公家・町人らの文化を表わす作品などを一堂に展示した。	平成28年4月1日 ～5月29日
広島県主催事業 第4新県美展 (第68回広島県美術展) 入館者数 7,227名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数1,135点 大賞7点、優秀賞13点、奨励賞39点、入選数490点	平成28年7月2日 ～7月17日
大恐竜展 -よみがえる世界の恐竜たち 入館者数 88,287名	全長17mのスピノサウルスやトリケラトプスなどの全身骨格や復元生体モデルを展示。アンモナイト発掘体験や写真撮影スポットなど恐竜の時代を体感できるコーナーも設置し、太古の昔に君臨した恐竜の姿を復元して、ダイナミックに展観した。	平成28年7月23日 ～9月4日
東山魁夷展 -自然と人、そして町 入館者数 72,030名	画業の変遷を代表作でたどるとともに、東山芸術の記念碑的大作「唐招提寺障壁画」全68面を特別展示。戦後を代表する日本画家であり、国民的画家と謳われた東山魁夷の画業の神髄を紹介した。	平成28年9月17日 ～10月30日
だまし絵の巨匠 エッシャー展 -不思議な版画の世界 入館者数 34,279名	オランダを代表する版画家M.Cエッシャーが描く不思議な世界。視覚的な錯覚を駆使し、類まれな画力をもって描き出される「だまし絵の巨匠・エッシャー」の代表作を含む約150点を一堂に展示した。	平成28年11月11日 ～12月25日
広島県主催事業 第5回広島県ジュニア美術展 入館者数 5,650名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成28年12月16日 ～12月25日
彫金家 清水南山 -広島が生んだ近代金工の巨匠 入館者数 6,293名	清水南山の格調高い作品とともにその源泉となる刀装金工、南山の師である加納夏雄・海野勝珉、教え子の増田三男などの作品も交え、日本金工の多彩な世界をご紹介します。	平成29年1月6日 ～2月12日
第63回日本伝統工芸展広島展 入館者数 8,185名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品305点で紹介した。	平成29年2月23日 ～3月12日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会 1,310名		
(105名)	「太平の世の美術」 講師：榊原 悟(本展監修者、岡崎市美術博物館長)	平成28年4月1日 (13:30～)
(290名)	「パクス・トクガワナへの道」 講師：徳川 恒孝(公益財団法人徳川記念財団理事長)	平成28年4月17日 (13:30～)
(106名)	「辻ヶ花に迫る！～復元・修理を通して～」 講師：矢野 俊昭(染織文化財修復家)	平成28年5月8日 (13:30～)

事業名		事業内容	実施期間
	(247名)	「東山魁夷の生涯と芸術」 講師：尾崎 正明(本展監修者、茨城県近代美術館館長)	平成28年 9月17日 (13：30～)
	(315名)	「東山魁夷画伯と唐招提寺 -鑑真和上の道を辿る旅路-」 講師：石田 太一(唐招提寺副執事長)	平成28年 9月22日 (13：30～)
	(72名)	「エッシャー その作品と生涯」 講師：安田 恭子(佐世保市博物館島瀬美術センター館長)	平成28年11月13日 (13：30～)
	(82名)	「日本の彫金-技術とその魅力」 講師：飯野 一郎(彫金家、東京藝術大学美術学部教授)	平成29年 1月22日 (13：30～)
	(93名)	「伝統の工芸ということ-現代を見つめる-」 講師：諸山 正則(東京国立近代美術館工芸館主任研究官)	平成29年 2月25日 (13：30～)
平山郁夫連続セミナー 132名		「平山郁夫絵画の原点」をテーマにして連続セミナーを開催した。	
	(43名)	「シルクロード現代日本人列伝」 講師：白鳥 正夫(文化ジャーナリスト)	平成28年 9月10日 (14：00～)
	(34名)	「シルクロードの音楽」 講師：菅谷 文則(奈良県立橿原考古学研究所所長)	平成28年10月 1日 (14：00～)
	(40名)	「世界に誇る日本画の魅力」 講師：王 培(日本画家、日本美術院院友)	平成28年11月 5日 (14：00～)
	(15名)	「日中文化交流の現状と課題」 講師：大藪 二郎(公益社団法人日中友好協会常務理事)	平成28年12月 3日 (14：00～)
ギャラリートーク 1,813名		特別展等について、展覧会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
	205名 (52名) (55名) (61名) (37名)	徳川名宝展 当館学芸員 隅川 明宏	平成28年 4月 8日 4月22日 5月13日 5月27日
	300名 (60名) (43名) (56名) (41名) (24名) (43名) (33名)	大恐竜展 福井県立恐竜博物館特別館長 東 洋一 ビギナーズトーク 当館主任学芸員 角田 新	平成28年 7月23日 7月29日 (11：00～) (18：00～) 8月12日 (11：00～) (18：00～) 8月26日 (11：00～) (18：00～)
	314名 (73名) (81名) (83名) (34名) (43名)	東山魁夷展 当館主任学芸員 藤崎 綾	平成28年 9月23日 9月30日 10月 7日 (11：00～) (18：00～) 10月14日
	129名 (38名) (21名) (9名) (14名) (8名) (13名) (26名)	エッシャー展 当館学芸員 山下 寿水 ミニギャラリートーク	平成28年11月13日 11月18日 11月25日 12月 2日 12月 9日 12月16日 12月18日

事業名		事業内容	実施期間
	133名 (37名) (6名) (8名) (10名) (7名) (14名) (51名)	清水南山展 当館主任学芸員 宮本真希子	平成29年1月6日 1月13日 1月20日 1月27日 2月3日 2月10日 2月11日
	547名	日本伝統工芸展	
	(50名)	田代 昭夫(漆芸)	平成29年2月25日
	(45名)	栗根 仁志(七宝)	2月26日
	(50名)	佐故 龍平(金工)	2月26日
	(41名)	松岡 裕治(木工)	3月4日
	(82名)	木村 芳郎(陶芸)	3月4日
	(75名)	今田 拓志(陶芸)	3月5日
	(31名)	井戸川 豊(陶芸)	3月11日
	(36名)	菅坂 安子(七宝)	3月11日
	(81名)	金城一国斎(漆芸)	3月12日
	(56名)	福田 浩子(当館学芸課長)	3月12日
	185名	新県美展	
	(34名)	信廣 友江(書系)	平成28年7月2日
	(42名)	藤岡 亜弥(写真系)	7月2日
	(20名)	彌中 敏和(デザイン系)	7月2日
	(16名)	正司 強(彫塑系)	7月2日
	(51名)	森永 昌司(絵画系)	7月2日
	(22名)	井戸川 豊(工芸系)	7月2日
	119名	所蔵作品展	
	(18名)	リレートーク 講師：藤崎 綾、宮本真希子、山下 寿水、隅川 明宏(当館学芸員)	平成28年5月20日
	(32名)	リレートーク 講師：角田 新、宮本真希子、山下 寿水、隅川 明宏(当館学芸員)	平成28年6月24日
	(56名)	リレートーク 講師：福田 浩子、角田 新、藤崎 綾、山下 寿水、隅川 明宏(当館学芸員)	平成28年10月6日
	(13名)	リレートーク 講師：藤崎 綾、隅川 明宏、角田 新(当館学芸員)	平成29年2月3日
	美術講座	特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
	211名		
	(84名)	「御用絵師狩野派と広島」 講師：隅川 明宏(当館学芸員)	平成28年5月22日 (13：30～)
	(55名)	「エッシャーは何を追いつめたのか」 講師：山下 寿水(当館学芸員)	平成28年12月10日 (13：30～)
	(29名)	「清水南山の生涯 天才は努力によって作られる－巨匠への道を迎える」 講師：宮本真希子(当館学芸員)	平成29年1月14日 (13：30～)
	(43名)	「清水南山の生涯 天才は努力によって作られる－巨匠への道を迎える」 講師：宮本真希子(当館学芸員)	平成29年1月29日 (13：30～)

事業名		事業内容	実施期間
ワークショップ	166名	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
	19名	東山魁夷展	
	(19名)	「日本画に挑戦しよう！」 講師：廣藤 良樹	平成28年10月8日
	18名	エッシャー展	
	(18名)	「くりかえしの世界」 講師：松尾真由美	平成28年11月26日
	16名	清水南山展	
	(16名)	「ヘラ押しレリーフで清水南山の猫を作ろう」 講師：南 昌伸(広島市立大学芸術学部教授)	平成29年1月8日
	10名	日本伝統工芸展	
	(10名)	「ギャラリートークに挑戦しよう！」 講師：今田 拓志、栗根 仁志、福田 浩子(当館学芸課長)、 神内 有理(当館学芸員)	平成29年3月5日
	103名	コレクションを描いてみよう♪	
	(14名)		平成28年6月12日
	(24名)	スペシャル「SUGAIのS？ あなたのイニシャルをデザインしてみよう。」	7月31日
	(24名)	スペシャル「秋の縮景園を描いてみよう！」	11月20日
	(41名)		平成29年2月5日
各種イベント	722名	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
	136名	徳川名宝展	
	(136名)	ゆるキャラ®グランプリ2015グランプリ獲得 出世大名家康くん in ひろしま	平成28年5月5日 (10：30～) (13：30～) (15：30～)
	395名	大恐竜展	
	(71名)	恐竜アニメ映画上映会「おまえうまそうだな」	平成28年7月23日 (10：30～)
	(77名)		(13：30～)
	(143名)		7月24日 (10：30～)
	(104名)		(13：30～)
	48名	東山魁夷展	
	(48名)	アートと私の美味しい時間 「賀茂金秀で楽しむアート、イタリアン、生演奏」 ゲスト：金光 秀起(金光酒造社長) 演奏：根石 照久(フルート)、土門華奈子(ピアノ)	平成28年9月30日
	26名	清水南山展	
	(26名)	アートと私の美味しい時間 「三原のおいしい産物とイタリアン」 特別解説：宮本真希子(当館学芸員)	平成29年1月20日
	44名	日本伝統工芸展	
	(44名)	アートと私の美味しい時間 「日本酒が繋ぐ、イタリア料理と伝統工芸」 ゲスト：栗根 仁志(七宝作家)、藤井 善文(藤井酒造五代目当主)	平成29年3月3日

事業名		事業内容	実施期間
	73名	ウェブレポーター	
	(10名)	徳川名宝展	平成28年4月8日
	(20名)	大恐竜展	平成28年7月29日
	(18名)	東山魁夷展	平成28年9月23日
	(20名)	エッシャー展	平成28年11月18日
	(3名)	清水南山展	平成29年1月6日
	(2名)	日本伝統工芸展	平成29年3月3日
	コンサート	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
	3,841名		
	1,638名	ロビーコンサート	
	(91名)	演奏者：広島文化学園大学	平成28年5月14日
	(109名)	演奏者：上田 愛彦、荒谷 心里	5月15日
	(217名)	演奏者：千史原(中原 千里、渡辺 史子、原野 学)	7月17日
	(81名)	演奏者：Chickey	7月29日
	(127名)	演奏者：エリザベト音楽大学	8月12日
	(159名)	演奏者：木村 紗綾、大崎 由貴	8月19日
	(208名)	演奏者：広島文化学園大学	9月24日
	(105名)	演奏者：エリザベト音楽大学	11月19日
	(234名)	演奏者：石原有希子、大下枝里子	11月20日
	(152名)	演奏者：エリザベト音楽大学	平成29年3月11日
	(155名)	演奏者：川東 陽華、中村あゆみ	3月12日
	428名	徳川名宝展	
	(202名)	「守屋純子×中村健吾ジャズデュオ・コンサート」 演奏：守屋 純子(ピアノ)、中村 健吾(ベース)	平成28年4月16日
	(226名)	「熊本地震災害支援チャリティー・ロビーコンサート」 演奏：高口かれん、松本安貴子、石田 真歩(マリンバ) 竹本 直子、城本 朝子(フルート)、河越 香織(ピアノ)	平成28年5月22日
	679名	東山魁夷展	
	(266名)	「東山魁夷と巡る音楽の旅」 演奏：平福 知夏(ソプラノ)、根石 照久(フルート)、土門華奈子(ピアノ)	平成28年9月25日
	(413名)	「東山魁夷の愛したモーツァルト」 演奏：上野 眞樹(ヴァイオリン)、三島 良子(ピアノ)	平成28年10月9日
	121名	エッシャー展	
	(121名)	「無限の潮流～エッシャーと共に～」 演奏：平野 満(ピアノ)	平成28年12月18日
	580名	大植英次プロデュース「威風堂々クラシック in Hiroshima」	
	(580名)	演奏：保屋野美和、末岡修一郎、大植 英次(ピアノ)	平成28年12月24日
	395名	清水南山展	
	(124名)	「ロビーコンサート」 演奏：加藤 瞳、原田 桃子(サクソ)、米原ゆかり(ピアノ)	平成29年1月7日
	(83名)	「ロビーコンサート」 演奏：平井千香子(サクソ)、上田尾茉莉耶(ピアノ)	1月8日
	(188名)	「ロビーコンサート」 演奏：福原 一閑(篠笛)、岩村 尚子(謡)	2月5日
	ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組(22番組)の視聴	常時
	デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界的美術館の情報などを検索	常時
	美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を発信 http://www.hpam.jp/	常時

事業名	事業内容	実施期間
児童・生徒		
学校、地域との関連事業 美術作品鑑賞教室(作品持参) 83名	当館の所蔵作品を学校へ持ち込み、学芸員が自ら解説を行うことにより、児童生徒が豊かな感性を育む機会を提供するとともに、学校連携を深めることに努めた。	
(20名)	広島県立東城高校(1年生、3年生)	平成29年1月16日
(23名)	坂町立小屋浦小学校(5年生、6年生合同)	1月17日
(40名)	廿日市市立津田小学校(5年生、6年生合同)	1月31日
親子ギャラリートーク	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生(特別支援学校の相当学年を含む。)を対象として、友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00~)
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在315種)	
日本伝統工芸展出張授業 103名	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(29名)	三原市立久井小学校	平成29年1月25日
(6名)	広島県立尾道特別支援学校	2月15日
(68名)	廿日市市立四季が丘小学校	2月17日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校(視覚障害)の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成28年5月31日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 849名 (団体ガイド) 613名	火~金曜日の14:00から実施(土・日・祝日は11:00から実施)	
展示施設等貸出	展示施設等(県民ギャラリー・講堂)を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 127,989名	県民ギャラリー 利用団体数99団体、利用日数594延日 講堂(県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用)	平成28年4月1日 ~平成29年3月31日
利用者 9,283名	講堂 利用団体数59団体、利用日数101日	平成28年4月1日 ~平成29年3月31日

V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成28年度に行なった業務を報告する。

内容は、1 美術館内での業務等(館主体事業)、2 美術館外での業務等(他からの招聘等)、3 調査・研究活動、4 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸課職員の構成及び担当分野は次のとおり。

福田 浩子(学芸課長、工芸)	宮本真希子(主任学芸員、工芸)
角田 新(主任学芸員、日本洋画)	藤崎 綾(主任学芸員、日本洋画)
神内 有理(学芸員、日本画)	門田 彩(学芸員、西洋美術)
山下 寿水(学芸員、西洋美術)	隅川 明宏(学芸員、日本画)

■ 福田 浩子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・所蔵作品展第3期「リニューアル・オープン20周年記念 広島県立美術館ベストセクション展」(第4室担当)
- ・所蔵作品展第4期「リニューアル・オープン20周年記念 続・広島県立美術館ベストセクション展」(彫刻展示スペース、第2室工芸担当)
- ・特別展「第63回日本伝統工芸展」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習講座「美術館と学芸活動」(8/19)
- ・職場体験対応(広島市立東原中学校)
- ・第63回日本伝統工芸展子ども鑑賞コース ワークショップ(3/5)
- ・第63回日本伝統工芸展ギャラリートーク(3/12)
- ・出張講座「シルクロードのパラオを作って食べよう！」4月23日廿日市市串戸市民センター
- ・出張講座「タマネギで三色染まってビックリ仰天！」8月8日廿日市市串戸市民センター

【研修・自己啓発】

- ・広島県立美術館友の会勉強会「山下了是氏」(4/24)
- ・管理者(第一部)研修(第一回)(4/26)
- ・監督者セミナー「タイムマネジメント」(8/18)
- ・全国美術館会議研究集会「収蔵品デジタルアーカイブの最新動向」(6/24)
- ・日本博物館協会中国支部研修会(11/10ひろしま美術館)
- ・全国博物館会議大会(11/16-18栃木県高崎市)
- ・せとうち美術館ネットワーク総会・講演会(11/27)

【広報活動】

- ・2月24日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事②今田 拓志
- ・2月25日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事③栗根 仁志
- ・2月25日 第63回日本伝統工芸展 「おはよう中国」出演(ラジオ第1/中国地方)
- ・3月2日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑤松岡 裕治
- ・3月4日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑥藤井 義久
- ・3月8日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑦宇田勢津子
- ・3月9日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑧田代 昭夫
- ・3月11日 第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事⑨金城一国斎
- ・3月24日 ヒロシマウィメンズハーモニー(広島FM)

広島県立美術館メールマガジン

- ・ 5月7日No. 414 特別展徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展 ○みどころ[3]
- ・ 5月12日No. 415 特別展徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展 ○みどころ[4]
- ・ 9月8日No. 440 所蔵作品展リニューアル・オープン20周年記念「広島県立美術館ベストセクション展」みどころ[1]
- ・ 9月18日No. 442 所蔵作品展リニューアル・オープン20周年記念「広島県立美術館ベストセクション展」○見どころ[2]ウズベキスタンで最も有名な日本人は？
- ・ 9月24日No. 444 所蔵作品展リニューアル・オープン20周年記念「広島県立美術館ベストセクション展」みどころ[4]
- ・ 10月18日No. 449 所蔵作品展リニューアル・オープン20周年記念「広島県立美術館ベストセクション展」みどころ[6]

2 美術館外での業務等

【その他】

- ・ ブータン展染織作品展示準備指導(5/3-5)、展示立会(5/16-19東京・上野の森美術館)、内覧会プレス説明会(5/20東京・上野の森美術館)
- ・ ブータン展秋篠宮殿下・眞子内親王殿下ご説明(5/30東京・上野の森美術館)
- ・ ブータン展広報 ジャパンFMネットワークラジオ出演(5/30)
- ・ ブータン展NHK日曜美術館アートシーン出演(6/19放映)
- ・ ブータン展常陸宮殿下・妃殿下ご説明(6/9東京・上野の森美術館)
- ・ ブータン展天皇陛下・皇后陛下ご説明(6/29東京・上野の森美術館)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・ 染織作品調査(4/4)
- ・ 陶磁作品調査(4/12)
- ・ 陶磁・漆作品調査(8/22)
- ・ 染織・金工作品調査(1/27)
- ・ 作家調査(1/13、1/14、1/30)

【館内出版物への執筆】

- ・ 作品解説『徳川名品展』カタログ
- ・ 『ブータン しあわせに生きるためのヒント』カタログ
- ・ 「ブータンの工芸調査ノート」『広島県立美術館研究紀要』第19号

【館外出版物への執筆】

- ・ 「木漏れ日エッセイ」『ウエンディ』3月号

4 社会貢献活動等

【審査委員等】

- ・ 平成28年度県民文化奨励賞推薦(ケンシン地域振興財団)
- ・ 平成28年度環境啓発ポスター・標語コンクール審査委員(広島県環境保健協会)
- ・ 第9回ひろしま建築文化賞審査委員(広島県建築士事務所協会)

【所属学会】

- ・ 日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

■ 宮本真希子

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「彫金家 清水南山 - 広島が生んだ近代金工の巨匠」(主担当)
- ・所蔵作品展 4 室第 1 期「広島工芸の過去・現在・未来」(主担当)、第 2 期「工芸に表された自然 - 四季の美と森羅万象の美 -」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・「所蔵作品展」リレートーク(工芸部門、5/20、6/24)
- ・「彫金家 清水南山展」ギャラリートーク(1/6、13、20、27、2/3、10、11、参加計133名)
- ・「彫金家 清水南山展」美術講座(1/14 - 参加29名、1/29 - 参加43名)

【広報活動】

- ・ラジオ出演
「清水南山展」広報 エフエムふくやま「びんごピカイチ情報」(1/13)
エフエムはつかいち「昼はまるごと761」(1/17)
エフエムおのみち「よっちゃんのちょっといい話」(1/17)
FM東広島「和のこころ」(1/19)
RCCラジオ「バリシャキNOW」(2/6)
- ・新聞・雑誌寄稿
「清水南山展」広報毎日新聞「毎日美術館 寄稿『伝統技術と近代的表現』」(1/26)
中国新聞「彫金家清水南山展『伝統継承しつつ開明的』」(1/27)
『ふれあい』(中国化薬株式会社社内報)(清水南山作品紹介、平成28年秋号)
『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報)「彫金家 清水南山」(平成29年1月号)
- ・ブログ投稿
「清水南山展」作品解説(1/24、1/31、2/3、2/7)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・NHK文化センターレクチャー(所蔵作品展紹介、4/20、参加7名)
- ・中国新聞文化センター講座「シリーズ企画～もっとひろしま学～」(清水南山展紹介、1/17、参加9名)
- ・広島ロータリークラブ月例会卓話(清水南山展紹介、1/31、参加100名)
- ・広島県立美術館友の会総会所蔵作品展解説(5/25)
- ・広島県立美術館友の会主催清水南山展解説(2/11、参加51名)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・清水南山に関する調査研究：高松市美術館(4/15、6/28)、香川県立ミュージアム・香川県立高松工芸高等学校(4/15)、南山資料館(4/26、7/27、8/31、9/28)、所蔵者宅(東京都、4/28-29)、所蔵者宅(大崎上島町、5/19)、広島市立大学(5/26)、清水三年坂美術館・所蔵者宅(京都、5/30)、7/6(法隆寺)、所蔵者宅(三原市、7/27)、所蔵者宅(東京都、7/31)、広島城(10/4)、東京藝術大学大学美術館(10/11)、所蔵者宅(広島市、10/27)
- ・作品寄贈に係る調査：所蔵者宅(三原市、11/7)

【館内出版物への執筆】

- ・『彫金家 清水南山 - 広島が生んだ近代金工の巨匠展図録』(同展実行委員会、1月6日発行)
- ・『広島県立美術館研究紀要第20号』「彫金家 清水南山 - 広島が生んだ近代金工の巨匠展補遺 翻刻『金工雑録』『金工鑽業講話』」(広島県立美術館、3月31日発行)

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・日本漆工史学会
- ・全国美術館会議教育普及部会
- ・第37回伝統文化ポーラ賞推薦
- ・第26回タカシマヤ美術賞推薦

■ 角田 新

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「大恐竜展—よみがえる世界の恐竜たち」(主担当)
- ・特別展「徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展」(副担当)
- ・特別展「だまし絵の巨匠 エッシャー展—不思議な版画の世界」(副担当)
- ・特別展「彫金家 清水南山—広島が生んだ近代金工の巨匠」(副担当)
- ・所蔵作品展第1期、第3期(彫刻展示スペース担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・所蔵作品展リレートーク(6/24第2室日本洋画)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(7/30・11/5)
- ・博物館実習(美術館の展示環境(8/18)、企画展(大恐竜展)見学・解説(8/18)、作品取扱い(8/19))
- ・大恐竜展ギャラリートーク(7/29・8/12・8/26)
- ・大恐竜展・団体向け作品解説(8/3府中南公民館、8/8団体鑑賞会)
- ・所蔵作品展リレートーク(2/3)

【広報活動】

- ・「企画展紹介 大恐竜展」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) No. 76
- ・「展覧会の舞台裏 大恐竜展」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) No. 78
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(8/5美術館で恐竜展!! プロローグ、8/18「久々の静岡便り、いえいえ広島便りです。徳光思刀《倉橋島室尾風景》を訪ねて」、8/24恐竜展こぼれ話、8/29恐竜展こぼれ話 その2「やっぱり大きさでしょう。」、9/12大恐竜展 エピローグ さよならスピノサウルス、9/29 清水南山 出張余禄 安堵散策)
- ・広島県立美術館メールマガジン(5/3所蔵作品展から 彫刻展示室紹介・圓鋳勝三、8/14大恐竜展、8/25大恐竜展の見どころは 2、11/2今季の彫刻展示スペースは)
- ・『経済春秋』7月号(大恐竜展・展覧会紹介)
- ・FMはつかいち76.1MHz『キラリはつかいち』(7/12大恐竜展)
- ・エフエムふくやま『素敵にティータイム』(7/18大恐竜展)
- ・FMはつかいち76.1MHz『欲張りファクトリー』(7/28大恐竜展)
- ・尾道エフエム『ユウガッタ・レディオ』(8/26大恐竜展)
- ・エフエム東広島『イーストじゃけん』(8/26大恐竜展)

2 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・郷土作家・作品調査：岡岷山他(4/9)、清水南山(4/19)、南薫造(5/25)、天野丈作(3/27)

【研修・自己啓発】

- ・平成28年度九州国立博物館 IPMセミナー及びIPM研修 参加(10/26-28)

【館外出版物への執筆・発表】

- ・美術ひろしま(作品解説)

3 美術館外での業務等

- ・ 鬚光についての出張講座 1 豊平中学校(6/21)
- ・ 鬚光についての出張講座 2 千代田中学校(6/21)
- ・ 鬚光についての出張講座 3 大朝中学校(6/28)
- ・ 鬚光についての出張講座 4 芸北中学校(6/28)

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・ 広島県環境月間ポスター 審査員(4/5)
- ・ ぱくも私も食べてみたい、未来の食べ物夢絵画コンテスト 審査員(5/9)
- ・ 平成28年度献血推進ポスター 審査員(6/23)
- ・ 被爆70年史編修研究会
- ・ 美術ひろしま編集委員
- ・ 東広島市立美術館美術品等収集評価委員会(2/21)

■ 藤崎 綾

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・ 特別展「東山魁夷展—自然と人、そして町」(主担当)
- ・ 特別展「第4回新県美展(第68回広島県美術展)」(副担当)
- ・ 特別展「第5回広島県ジュニア美術展」(副担当)
- ・ 所蔵作品展(統括)
- ・ 所蔵作品展第2期「心に触れる自然の美」(主担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・ 「必見! 広島近代洋画」NHK文化センター講座(5/18)
- ・ 所蔵作品展リレートーク(5/20第2室日本洋画)
- ・ 友の会ギャラリーガイドレクチャー(6/4・7/30)
- ・ 博物館実習(作品取扱い)(8/19)
- ・ 東山魁夷展ギャラリートーク(9/23・9/30・10/7・10/14)
- ・ 東山魁夷展・団体向け作品解説(9/21三良坂平和美術館友の会、9/23東広島市立三ツ城小学校・9/24ふくやま美術館友の会、10/2NHK文化センター福山、10/13・10/14・10/18・10/27ひろでん中国新聞旅行、10/18山陽教区寺庭婦人会、10/22岡山日経会、10/26松江市えとも交流館、10/27明治安田生命)
- ・ 所蔵作品展リレートーク(2/3)

【広報活動】

- ・ 「所蔵品紹介 小林徳三郎」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) No. 75
- ・ 所蔵作品展紹介「必見! 広島ゆかりの名品セレクション展」「あーと散歩」『プレスネット』5月14日号・「続・広島県立美術館ベストセレクション展/平成27年度新収蔵品ご紹介!」(同誌)1月21日号
- ・ 広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿(4/20所蔵作品から 鬚光《帽子をかむる自画像》、8/13所蔵作品から 南薫造《沐浴》、10/14「広島県立美術館ベストセレクション展」より 鬚光《静物》、10/22東山魁夷展こぼれ話、1/8「平成27年度新収蔵品ご紹介!」より 吉田卓《裸婦》、2/27同 石川寅治《風景》)
- ・ 「東山魁夷展—自然と人、そして町」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) No. 76
- ・ 広島県立美術館メールマガジン(6/3所蔵作品展から 第2室のおすすめ作品…南薫造《ノースモルトン風景》、7/31所蔵作品展第3室から…鬚光《畠山雅介氏の像》、9/14まもなく開幕! 東山魁夷展、10/25まもなく開幕! 東山魁夷展、2/27所蔵作品展から)
- ・ 「表紙作品解説 藤田嗣治《婦人像(リオ)》」『色絵馬』(広島県立美術館友の会会報) No. 77
- ・ 『経済春秋』9月号(東山魁夷展・展覧会紹介)

- ・「東山魁夷《緑響く》」『広島交響楽団・第363回定期演奏プログラム』（9／9 東山魁夷展）
- ・「写実と装飾性一体化 東山魁夷の『日本画』表現」『中国新聞』（10／26）
- ・RCCラジオ『京橋の杜 ON SATURDAY』（9／10東山魁夷展）
- ・RCCラジオ『田口麻衣のらじボン』（9／12東山魁夷展）
- ・RCCラジオカー（中継）『一文字弥太郎の週末ナチュラルリスト』（9／24東山魁夷展）
- ・エフエムふくやま『レディオBINGO』（9／27東山魁夷展）
- ・FMはつかいち76.1MHz『昼はまるごと761 ラジオカー』（10／4 東山魁夷展）
- ・尾道エフエム（10／4 東山魁夷展）

2 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・郷土作家・作品調査：山路商（5／23）、南薫造（5／25）、天野丈作（3／27）

【館外出版物への執筆・発表】

- ・『東山魁夷展』図録（作品解説）

3 美術館外での業務等

- ・「東山魁夷展を楽しむ」図書館メイト（9／18）
- ・「東山魁夷展の見どころ」『ちゅーピーカレッジ』講演（10／6）

4 社会貢献活動等

- ・全国美術館会議 地域美術研究部会（5／27部会）

■ 神内 有理

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「第63回日本伝統工芸展」（副担当）

【教育支援（教育普及）】

- ・特別展「第63回日本伝統工芸展」こども鑑賞コース出張授業（アシスタント）
 - 1／15三原市立久井小学校
 - 2／15広島県立尾道特別支援学校
 - 2／27廿日市市立四季が丘小学校
- ・特別展「第63回日本伝統工芸展」こどもワークショップ
 - 3／5「ギャラリートークに挑戦しよう！」

【広報活動】

- ・第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事①木村芳郎（2／23、朝日新聞）
- ・第63回日本伝統工芸展 県内入選作品解説記事④菅坂安子（3／1、朝日新聞）
- ・みんなのテレビ「広島県からのお知らせ」（テレビ新広島）2／24

2 美術館外での業務等

- ・公益信託愛媛出版文化賞基金・愛媛新聞社主催「第32回愛媛出版文化賞」部門賞・第2部門（美術）受賞（『戦地の手触り 岡本鐵四郎－戦後70年甦るスケッチ－』町立久万美術館発行／高木貞重、神内有理編）
- ・京都造形芸術大学通信教育部非常勤講師（博物館生涯学習概論等担当）

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島県内作家の調査：小林松齋（1／13）、馬船宏明（1／14）、栗根仁志（1／31）、菅坂安子（2／8）、安達春汀

(3/31)

- ・回覧雑誌『朱欒』(伊丹万作・中村草田男ら)に関する研究

【館外出版物への執筆】

- ・「美術館の理想を追い求めて一町立久万美術館の挑戦」『ふるさと久万』第56号(久万高原郷土会、2017年3月)

■ 門田 彩

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・所蔵作品展「春の所蔵作品展 【小特集】小林和作 自然美の輝く風景画」(次年度)
- ・特別展「英国ウェールズ国立美術館所蔵 ターナーからモネへ」(次年度・副担当)
- ・特別展「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」(次々年度)

【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習施設見学受入(11/26広島大学)
- ・美術作品鑑賞授業(11/14・1/17坂町立小屋浦小学校、1/31廿日市市立津田小学校、11/21・1/16広島県立東城高校)

【研修・自己啓発】

- ・「平成28年度IPM研修」(10/26、27、28九州国立博物館)
- ・日本博物館協会中国支部研修会(11/10ひろしま美術館)
- ・「せとうち美術館サミット」(11/27広島県立美術館、ホテルグランヴィア広島)
- ・スペインラテンアメリカ美術史研究会「フェリペ2世の理想世界」(12/3東海大学)
- ・第3回北米・欧州ミュージアム日本専門家連携・交流事業「国際シンポジウム 日本美術をみせる—リニューアールとリノベーション—」(1/28、29東京国立博物館)

【広報活動】

- ・広島県立美術館ホームページ 所属作品から(ダリ《ヴィーナスの夢》)
- ・広島県立美術館メールマガジン(1/18 No. 466 続・広島県立美術館ベストセレクション展みどころ[1]サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》)
- ・せとうち美術館ネットワーク2017春・夏号 美術館紹介記事

4 社会貢献活動等

【所属学会】

- ・美術史学会、美学会、スペインラテンアメリカ美術史研究会

■ 山下 寿水

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「第4回新県美展(第68回広島県美術展)」(主担当)
- ・特別展「大恐竜展 よみがえる世界の恐竜たち」(副担当)
- ・特別展「だまし絵の巨匠エッシャー展 不思議な版画の世界」(主担当)
- ・特別展「国立ウェールズ美術館所蔵 ターナーからモネへ」(次年度・主担当)
- ・特別展「ボストン美術館 パリジェンヌ展 時代を映す女性たち」(次々年度、主担当)
- ・所蔵作品展第1期、第2期、第3期、第4期(西洋美術担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・NHK文化センター「広島県立美術館所蔵作品の魅力」講師(9/21)
- ・「エッシャー展」ギャラリートーク(11/13、11/18、11/25、12/2、12/9、12/16、12/18)
- ・「エッシャー展」団体解説(11/28)

- ・「エッシャー展」美術講座「エッシャーは何を追い求めたのか」(12/10)
- ・所蔵作品展リレートーク(5/20、6/24、10/6、2/3)
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー(6/4、7/30、11/5、3/4)

【広報活動】

- ・「所蔵作品展」
広島県立美術館メールマガジン執筆(5/18、9/28)
- ・「第4回新県美展」
広島県立美術館メールマガジン執筆(6/9)
広島県立美術館ブログ執筆(7/29)
- ・「エッシャー展」
テレビ・ラジオ出演(11/8、11/10、11/11、11/14、11/18、11/30、12/2、12/8)
広島県立美術館メールマガジン執筆(11/9、11/25)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・「藤岡亜弥 川はゆく」ギャラリートーク、ギャラリーG(7/24)
- ・広島芸術学会芸術展示「不在の存在論」アーティストトーク司会、ギャラリーGおよび広島県立美術館県民ギャラリー(2/25)

3 調査研究活動

【館外出版物への執筆】

- ・「少しだけ、センチメンタルな旅」『広島芸術学会会報』第137号巻頭言、2016年4月
- ・「藤岡亜弥「川はゆく」に寄せて」、2016年7月、ギャラリーG
- ・「ドリス・サルセド展」『美術ひろしま2015-16』、公益財団法人広島市文化財団、2016年12月

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会委員

■ 隅川 明宏

1 美術館内での業務等

【担当展覧会】

- ・特別展「徳川家康没後400年記念 天下太平 徳川名宝展」(主担当)
- ・特別展「東山魁夷展—自然と人、そして町」(副担当)
- ・特別展「第5回広島県ジュニア美術展」(主担当)
- ・所蔵作品展第1期、第2期、第3期、第4期(日本画担当)

【教育支援(教育普及)】

- ・特別展「徳川名宝展」ギャラリートーク(4/8、4/22、5/13、5/27)
- ・「」 団体解説(4/22、4/26、5/11②、5/13②、5/21②、5/25)
- ・「」 美術講座(5/22「御用絵師狩野派と広島」)
- ・所蔵作品展リレートーク(5/20、6/24、2/3)
- ・「」 友の会ギャラリーガイドレクチャー(11/5)
- ・愛知教育大学附属中学校実地研修受入(5/25)
- ・博物館実習受入(8/18-23、ただし21を除く)
- ・「」 施設見学受入(7/7県立広島大学、11/26広島大学)
- ・美術作品鑑賞授業(11/14・1/17坂町立小屋浦小学校、11/16・1/31廿日市市立津田小学校、11/21・1/

16広島県立東城高校)

- ・平山郁夫セミナー進行補助(9/10、10/1、11/5、12/3)

【研修・自己啓発】

- ・広島県環境県民局広報実践講座(4/25受講)
- ・〃 人権研修講座(9/7受講)
- ・広島県自治総合研修センター初任後期研修(10/24-26受講)
- ・日本博物館協会中国支部総会(5/17出席)
- ・〃 研修会(11/10-11出席)

【広報活動】

- ・特別展「徳川名宝展」(テレビ・ラジオ出演:4/5、4/7、4/21、4/26)、(新聞・雑誌寄稿:『色絵馬』75号、『月刊 経済春秋』5月号、毎日新聞備後版「毎日美術館」、中国新聞文化面「徳川名宝展に寄せて」)
- ・特別展「東山魁夷展」(ラジオ出演:9/5)
- ・所蔵作品展第1期(HP「所蔵作品より 平山郁夫《内海の春》」、メルマガ)
- ・〃 第3期(HP「所蔵作品より 船田玉樹《日輪》」)
- ・〃 第4期(HP「所蔵作品より 狩野派《西湖図》」、メルマガ、『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』78号「熊谷直彦《十二ヶ月山水図》」)
- ・所蔵作品(児玉希望《暮春》解説『中国新聞カレンダー2017』)

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・NHK文化センター広島教室講座「広島県立美術館所蔵作品の魅力」(7/20講師)
- ・キッズアートプロジェクトしずおか視察研修会(1/21教育普及事業解説)
- ・国立教育政策研究所社会教育実践研究センター社会教育主事講習(2/16「広島県立美術館の施設及び事業について」講師)
- ・日中韓文化交流フォーラム視察(11/16、11/18作品解説)
- ・広島県教育センター専門研修講座・図画工作科、美術科、芸術科(美術)「行ってみよう!やってみよう!美術館連携」講座(6/24「美術作品鑑賞の視点と方法」講師)
- ・広島市観光ボランティアガイド研修会(2/27「縮景園・県立美術館の成り立ち」講師)
- ・広島市民カレッジ「究めるⅢ!」(9/1「浮世絵あれこれ」講師)
- ・広島修道大学「教育学特論」(11/12「広島県立美術館と教育普及活動」講師)
- ・広島大学・インディアナポリス大学共同グローバル教育プロジェクト(9/11作品解説)
- ・広島大学教育学研究科・教育学部「学習方法開発特講」「図画工作科学習指導論」(2/7「美術館と学校教育との連携」講師)

3 調査研究活動

【館内外での調査・研究】

- ・広島近世・近代美術に関する調査・研究

【館内出版物への執筆】

- ・(研究ノート)「広島藩主浅野家奉納の大絵馬—『厳島絵馬鑑』より—」『広島県立美術館研究紀要』第20号、平成29年3月

【館外出版物への執筆】

- ・(作品解説)公益財団法人徳川記念財団 徳川家広編『天下太平 徳川名宝展』図録、株式会社講談社、平成28年4月

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・所属学会
文化史学会

Ⅵ 入館者数一覧

展 覧 会 名		所蔵作品展	特 別 展				
			徳川名宝展	第4回新県美展	大恐竜展	東山魁夷展	エッシャー展
開 催 期 日		H28. 4. 1 ～ H29. 3. 31	H28. 4. 1 ～ H28. 5. 29	H28. 7. 2 ～ H28. 7. 17	H28. 7. 23 ～ H28. 9. 4	H28. 9. 17 ～ H28. 10. 30	H28. 11. 11 ～ H28. 12. 25
開 催 日 数		326 日	51 日	16 日	44 日	40 日	45 日
個 人	一 般	2,135	17,013	3,453	18,431	19,040	10,394
	高・大学生	209	555	93	803	362	724
	小・中学生	—	—	102	6,660	412	1,402
	小 計	2,344	17,568	3,648	25,894	19,814	12,520
団 体	一 般	3,545	16,331	846	25,549	43,948	12,552
	高・大学生	525	406	5	555	506	1,029
	小・中学生	—	—	18	10,923	711	1,987
	小 計	4,070	16,737	869	37,027	45,165	15,568
有 料 入 館 者 数		6,414	34,305	4,517	62,921	64,979	28,088
招 待 者 等		99,959	9,552	2,710	25,366	7,051	6,191
合 計 (観 覧 者 総 数)		106,373	43,857	7,227	88,287	72,030	34,279
一 日 あ た り 観 覧 者 数		326	860	452	2,007	1,801	762

(注) 1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展の団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第4回新県美展(第68回広島県美術展)」、「第5回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「徳川名宝展」、「伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名		特 別 展				総 計
		第5回広島県 ジュニア美術展	彫金家清水南山展	第63回 日本伝統工芸展	合 計	
開 催 期 日		H28. 12. 16 ～ H28. 12. 24	H29. 1. 6 ～ H29. 2. 12	H29. 2. 23 ～ H29. 3. 12		
開 催 日 数		10 日	38 日	18 日	262 日	588 日
個 人	一 般	—	1,062	3,014	72,407	74,542
	高・大学生	—	44	80	2,661	2,870
	小・中学生	—	21	—	8,597	8,597
	小 計	—	1,127	3,094	83,665	86,009
団 体	一 般	—	2,921	3,156	105,303	108,848
	高・大学生	—	44	27	2,572	3,097
	小・中学生	—	40	—	13,679	13,679
	小 計	—	3,005	3,183	121,554	125,624
有 料 入 館 者 数		—	4,132	6,277	205,219	211,633
招 待 者 等		5,650	2,161	1,908	60,589	160,548
合 計 (観 覧 者 総 数)		5,650	6,293	8,185	265,808	372,181
一 日 あ た り 観 覧 者 数		565	166	455	1,015	633

Ⅶ 美術品等収集状況

1 分野別収集美術品数一覧

(平成29年3月31日現在)

種 目		一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所 管 換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	232	3	341	12
	油 彩 画	230	62	292	518 (27)	4	814 (27)	209 (2-0)
	水 彩 画	89	4	93	217 (69)	0	310 (69)	1
	素 描	44	20	64	291	0	355	20
	パステル画 アクリル画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	331	0	564	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平面造形ほか	3	56	59	2	0	61	0
彫 塑		8	23	31	70	0	101	6
工 芸		112	1,184	1,296	306 (10)	4	1,606 (10)	5
書		5	0	5	93	1	99	0
美 術 資 料		2	2	4	669 (1)	0	673 (1)	2
合 計		619	1,591	2,210	2,786 (107)	12	5,008 (107)	255 (2-0)

※()内は28年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

2 収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法	取得区分
1	油彩画	南薫造	自画像2	1904	45.0×33.5	油彩・画布	寄附
2	油彩画	南薫造	自画像3	1902-07頃	33.2×24.7	油彩・画布	寄附
3	油彩画	南薫造	洋行途上	1907	17.5×25.7	油彩・板	寄附
4	油彩画	南薫造	赤衣の男	1907頃	74.3×60.6	油彩・画布	寄附
5	油彩画	南薫造	燈下	1907-10頃	42.7×30.0	油彩・画布	寄附
6	油彩画	南薫造	樹1		23.2×32.6	油彩・板	寄附
7	油彩画	南薫造	樹2		64.7×79.8	油彩・画布	寄附
8	油彩画	南薫造	農村風景1		49.5×60.3	油彩・画布	寄附
9	油彩画	南薫造	農村風景2		45.3×60.5	油彩・画布	寄附
10	油彩画	南薫造	城		23.7×33.0	油彩・板	寄附
11	油彩画	南薫造	水郷	1925	72.0×60.1	油彩・画布	寄附
12	油彩画	南薫造	少女3		33.3×24.1	油彩・板	寄附
13	油彩画	南薫造	波止場		37.3×45.6	油彩・板	寄附
14	油彩画	南薫造	アトリエからの眺め		27.0×21.7	油彩・板	寄附
15	油彩画	南薫造	少女4	1937	24.9×33.3	油彩・画布	寄附
16	油彩画	南薫造	ゴルフ場(室蘭)	1938頃	37.5×45.2	油彩・板	寄附
17	油彩画	南薫造	軽井沢	1938頃	21.3×27.1	油彩・板	寄附
18	油彩画	南薫造	中国の少女	1939	33.0×23.8	油彩・板	寄附
19	油彩画	南薫造	水辺2		37.5×45.8	油彩・板	寄附
20	油彩画	南薫造	瀬戸内風景		23.8×33.3	油彩・板	寄附
21	油彩画	南薫造	瀬戸内海風景		18.3×27.0	油彩・ガラス	寄附
22	油彩画	南薫造	柘榴		15.7×22.2	油彩・ガラス	寄附
23	油彩画	南薫造	テニスコート		50.2×60.7	油彩・画布	寄附
24	油彩画	南薫造	浅間山		49.8×60.3	油彩・画布	寄附
25	油彩画	南薫造	風景		23.9×32.7	油彩・板	寄附
26	水彩画	南薫造	水辺2	1902-07頃	25.5×20.2	水彩・紙	寄附
27	水彩画	南薫造	風景2	1902-07頃	21.5×21.5	水彩・紙	寄附
28	水彩画	南薫造	シンガポール	1907	25.3×34.0	水彩・紙	寄附
29	水彩画	南薫造	波		24.3×33.0	水彩・紙	寄附
30	水彩画	南薫造	海景		25.5×34.2	水彩・紙	寄附
31	水彩画	南薫造	婦人像1	1907-10頃	55.8×38.5	水彩・紙	寄附
32	水彩画	南薫造	婦人像2	1907-10頃	63.3×45.2	水彩・紙	寄附
33	水彩画	南薫造	スケッチ	1907-10頃	26.5×18.8	水彩・紙	寄附
34	水彩画	南薫造	図案	1907-10頃	22.5×22.8	水彩・紙	寄附
35	水彩画	南薫造	夜景1	1907-10頃	24.7×32.6	水彩・紙	寄附
36	水彩画	南薫造	夜景2	1907-10頃	35.4×25.2	水彩・紙	寄附
37	水彩画	南薫造	ふたり	1907-10頃	35.7×25.5	水彩・紙	寄附
38	水彩画	南薫造	モルトン村	1908	25.3×17.6	水彩・紙	寄附
39	水彩画	南薫造	モルトン村／男	1908頃	モルトン村：17.6×24.0／男：18.0×12.6	水彩・紙	寄附
40	水彩画	南薫造	滞船2	1907-10頃	35.5×25.3	水彩・紙	寄附
41	水彩画	南薫造	ロンドンにて	1908	35.5×25.3	水彩・紙	寄附
42	水彩画	南薫造	夕に祈る(エスキース)	1908頃	33.4×23.3	水彩・紙	寄附
43	水彩画	南薫造	少女	1907-10頃	35.5×25.3	水彩・紙	寄附
44	水彩画	南薫造	公園	1909	34.9×24.9	水彩・紙	寄附
45	水彩画	南薫造	働く人1	1907-10頃	25.9×22.0	水彩・紙	寄附
46	水彩画	南薫造	風景3	1907-10頃	36.3×53.1	水彩・紙	寄附
47	水彩画	南薫造	働く人2	1907-10頃	30.0×45.1	水彩・紙	寄附
48	水彩画	南薫造	働く人3	1907-10頃	24.0×32.6	水彩・紙	寄附
49	水彩画	南薫造	風車のある風景	1907-10頃	25.2×35.5	水彩・紙	寄附
50	水彩画	南薫造	たき火	1907-10頃	31.0×25.2	水彩・紙	寄附
51	水彩画	南薫造	聖		31.9×43.5	水彩・紙	寄附
52	水彩画	南薫造	土浦	1914	24.3×33.2	水彩・紙	寄附
53	水彩画	南薫造	屋根の見える風景		24.5×15.8	水彩・紙	寄附
54	水彩画	南薫造	マドラス	1916	24.5×15.8	水彩・紙	寄附

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質・技法	取得区分
55	水彩画	南薫造	ダーズリン2	1916	25.3×35.5	水彩・紙	寄附
56	水彩画	南薫造	アグラ2	1916	33.1×23.8	水彩・紙	寄附
57	水彩画	南薫造	ファテプール・シクリ	1916	17.8×25.4	水彩・紙	寄附
58	水彩画	南薫造	鶴渡る(エスキース)	1916	32.7×24.3	水彩・紙	寄附
59	水彩画	南薫造	風景4	1916	15.9×22.8	水彩・紙	寄附
60	水彩画	南薫造	元安川		25.0×18.3	水彩・紙	寄附
61	水彩画	南薫造	火を囲む人々		63.4×87.7	水彩・紙	寄附
62	水彩画	南薫造	印度民家図	1916頃	48.8×69.0	墨・紙	寄附
63	水彩画	南薫造	印度ベナーレス郊外景	1920	58.7×68.7	墨・紙	寄附
64	水彩画	南薫造	震災風景2	1923	24.1×32.7	水彩・紙	寄附
65	水彩画	南薫造	震災風景3	1923	24.2×32.7	水彩・紙	寄附
66	水彩画	南薫造	震災風景4	1923	24.0×32.7	水彩・紙	寄附
67	水彩画	南薫造	震災風景5	1923	33.1×48.5	水彩・紙	寄附
68	水彩画	南薫造	海水浴	1924	24.2×32.6	水彩・紙	寄附
69	水彩画	南薫造	ハンモック2		24.2×32.6	水彩・紙	寄附
70	水彩画	南薫造	演習風景	1927頃	18.4×27.8	水彩・紙	寄附
71	水彩画	南薫造	林本源邸	1930	23.3×31.5	水彩・紙	寄附
72	水彩画	南薫造	台湾風景	1930	32.0×48.2	水彩・紙	寄附
73	水彩画	南薫造	風景5		23.8×32.5	水彩・紙	寄附
74	水彩画	南薫造	風景6		30.8×46.4	水彩・紙	寄附
75	水彩画	南薫造	ゴルフ場		39.0×54.3	水彩・紙	寄附
76	水彩画	南薫造	岸辺1		34.0×51.1	水彩・紙	寄附
77	水彩画	南薫造	岸辺2		32.3×48.8	水彩・紙	寄附
78	水彩画	南薫造	西湖 白堤	1939	24.2×32.6	水彩・紙	寄附
79	水彩画	南薫造	杭州 西湖	1939	28.8×39.0	水彩・紙	寄附
80	水彩画	南薫造	銅陵付近	1939	19.8×27.2	水彩・紙	寄附
81	水彩画	南薫造	長江を上る	1939	31.5×24.3	水彩・紙	寄附
82	水彩画	南薫造	船倉内の演芸会を覗く	1939	38.8×28.7	水彩・紙	寄附
83	水彩画	南薫造	鄱陽湖畔	1939	39.7×52.8	水彩・紙	寄附
84	水彩画	南薫造	九江の煙水亭	1939	37.8×53.2	水彩・紙	寄附
85	水彩画	南薫造	中国の少女2	1939	33.0×23.7	水彩・紙	寄附
86	水彩画	南薫造	塔の見える風景		29.0×39.0	水彩・紙	寄附
87	水彩画	南薫造	あぜ道		39.8×54.0	水彩・紙	寄附
88	水彩画	南薫造	山寺1	1942	32.7×48.3	水彩・紙	寄附
89	水彩画	南薫造	山寺2	1942	28.8×38.8	水彩・紙	寄附
90	水彩画	南薫造	風景7		32.6×48.3	水彩・紙	寄附
91	水彩画	南薫造	雪の日	1947	28.3×38.5	水彩・紙	寄附
92	水彩画	南薫造	虫干し	1946頃	28.2×38.3	水彩・紙	寄附
93	水彩画	南薫造	風景8		24.7×32.7	水彩・紙	寄附
94	水彩画	南薫造	雪道		24.4×33.0	水彩・紙	寄附
95	油彩画	山路商	たまねぎ	1933頃	23.8×33.0	油彩・板	寄附
96	油彩画	山路商	れもん	1943	15.5×21.9	油彩・板	寄附
97	漆 工	高中惣六	乾漆根来輪花盛器		径32.2×高11.8	乾漆・髹漆	寄附
98	漆 工	高中惣六	乾漆青貝平鉢		径40.5×高3.8	乾漆・螺鈿	寄附
99	漆 工	高中惣六	ネジ梅蒔絵中棗		径6.75×高6.3	漆・金・蒔絵	寄附
100	漆 工	高中惣六	むさし野中棗		径6.9×高6.9	漆・金・蒔絵	寄附
101	漆 工	高中惣六	宝珠形秋草蒔絵香合		径6.0×高2.0	漆・金・貝・蒔絵	寄附
102	漆 工	高中隆司	乾漆菊形盛器		径35.8×高7.0	乾漆・髹漆	寄附
103	漆 工	高中隆司	乾漆果物盛器	昭和24(1949)	径33.2×高12.2	乾漆・螺鈿	寄附
104	漆 工	高中隆司	中棗 春の山	昭和45(1970)頃	径7.8×高7.8	漆・金・蒔絵	寄附
105	漆 工	高中隆司	乾漆盛器		径41.5～42.0	乾漆・漆絵・金箔	寄附
106	漆 工	鯉城政廣	堆彩漆菓子鉢 付取箸		(菓子鉢)高30、径23.8、(取箸)長26.5	木・漆・堆彩漆	寄附
107	工芸資料	(不詳)	西王母図大徳利	明治時代 19世紀	高63.5、径21.0	陶器	寄附
108	油彩画	国盛義篤	曇日の水辺	1932	72.8×60.3	油彩・画布	受託
109	油彩画	小早川篤四郎	裸婦		97.0×130.4	油彩・画布	受託

3 新規収集美術品より

(1) 南 薫造の絵画作品《自画像2》等 94 点

南 薫造(明治16年－昭和25年 1883－1950)は、本県呉市安浦町出身。東京美術学校を卒業後、イギリスやフランスに留学。帰国後は、有島壬生馬(生馬)との二人展や文展で滞欧作を発表して好評を博した後、郷里の風景を描いた温和な作風で文展での受賞を重ね、若くして画壇での地位を築いた。官展や光風会展のほか、第1回展から日本水彩展にも作品を発表し、水彩画家としても活躍。風景画を得意とし、日本の印象派を代表する画家の一人として知られている。

【美校時代(1902－07年頃)】《自画像2・3》(No. 1・2)や《水辺2》(No. 26)など、細かなタッチを積み重ね、落ち着いた色調を用いて丁寧に描く画業初期の特色を示している。



No. 1 《自画像2》

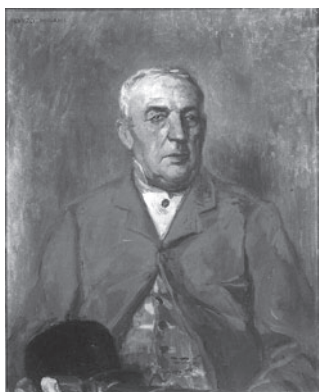


No. 2 《自画像3》



No. 26 《水辺2》

【留学時代(1907－10年頃)】美校卒業後の1907年、南はイギリスに留学した。水彩画の研究が目的だったと述べており、主にロンドンとパリに滞在、約2年半の滞欧を経て1910年に帰国した。《赤衣の男》(No. 4)や《婦人像1・2》(No. 31・32)は、留学前半期にイギリスの美術学校で描いたと考えられる作品。同時期の油彩の人物画と同様、外光派的な表現に基づいた美校時代の特色を残す作品となっている。水彩では、留学時代の後半にパリやヨーロッパ各地を回って描いたと考えられる《公園》(No. 44)や《働く人3》(No. 48)、《風車のある風景》(No. 49)など、美校時代には見られない多彩な表現が散見され、技術的な進化が認められる。



No. 4 《赤衣の男》



No. 31 《婦人像1》



No. 32 《婦人像2》



No. 44 《公園》



No. 48 《働く人3》



No. 49 《風車のある風景》

【インド訪問(1916年)】ヨーロッパから帰国後、郷里の情景を描いた印象派風の作品により文展で高い評価を得た南は、1916年1月、画業の新たな展開を求めるようにインドに渡った。滞欧中からインドやパキスタンの彫刻作品などにも関心を抱いていた画家は、約40日間のインド滞在中、博物館や寺院、遺跡などを精力的に回ってスケッチを重ねた。雄大な自然を描いた《ダージリン2》(No. 55)の一方、作者の画題の好みが顕著に見られるのは、自然の中に人々の生活が表れた情景で、チニカロザ付近の水汲みに来る人々を描いた《アグラ2》(No. 56)や、帰国後に改めて描き直したと思われる水墨画(《印度民家図》No. 62、《印度ベナーレス郊外景》No. 63)などがその好例である。



No. 56 《アグラ2》



No. 55 《ダージリン2》



No. 62 《印度民家図》



No. 63 《印度ベナーレス郊外景》

【朝鮮半島訪問(1925・36・42年)・台湾訪問(1930年)・中国訪問(1939年)】1925年に画友の辻永と写生旅行に訪れたのを皮切りに、1936年と42年、南は美術展審査員として朝鮮半島を、また1930年には台湾を訪問している。民族衣装を身に着けた《少女3》(No. 12)や、台湾北部の名園として知られる《林本源亭》(No. 71)、朝鮮半島の名山にあった神溪寺と思われる《山寺1・2》(No. 88・89)など、独自の歴史と文化を伝える作品を残した。中国訪問の作例では、《長江を上る》(No. 81)、《船倉内の演芸会を覗く》



No. 71 《林本源亭》



No. 88 《山寺1》



No. 89 《山寺2》



No. 12 《少女3》



No. 81 《長江を上る》



No. 82 《船倉内の演芸会を覗く》

(No. 82)など、兵士の束の間の穏やかな時間を描いた作例に、作者の特色が認められる。スケッチブックにも類似の作があり、帰国後に改めて描き直したもののだろう。上海、南京、九江などの戦跡を回る旅であったが、伸びやかに描かれた西湖の風景(No. 78・79)には、戦争の影響を感じさせない異国の情景が穏やかに表現されている。

【大正～昭和戦前期の日本】郷里を描いたと考えられる《農村風景 1・2》(No. 8・9)は、既蔵品では層の薄い大正期と考えられる作例。やや平板な表現や輪郭の強調などにより、装飾的な傾向も認められ、画風の展開を図っていたと見ることもできる。

【安浦時代(1944-50年)】1944年に疎開し、南は郷里で没した。《雪の日》(No. 91)や《虫干し》(No. 92)は、即興的な筆使いで自宅の庭を描く。後者は既蔵の油彩《曝書》の関連作であり、作画の過程をたどる上でも興味深い作である。



No. 78 《西湖 白堤》



No. 79 《杭州 西湖》



No. 8 《農村風景 1》



No. 9 《農村風景 2》



No. 91 《雪の日》



No. 92 《虫干し》

(2) 山路 商 《たまねぎ》、《れもん》

山路 商(明治36年-昭和19年 1903-1944)は、新潟県長岡市出身。大正時代半ばに広島に移住、大正末から画壇で作品を発表した。田中万吉、灰谷正夫、福井芳郎ら、昭和期の広島洋画壇を支えた新進作家とともに美術グループを結成したほか、詩や舞台装置など多分野で活動を展開。戦前期の広島における前衛美術運動のリーダーとして活躍した。鬚光との交友は終生続き、強い影響を与えた作家としても知られる。

《たまねぎ》は、フォーヴィスムの影響が見られる1930年代前半頃の作。生命力を感じさせる芽や、乾いてもろくなった外皮など、勢いのある線描のなかにも繊細な表現をあわせ持つ点が見どころである。

《れもん》は、色彩のコントラストを抑え、柔らかな筆使いで形態の輪郭を暈したような表現にこの時期の作風が見て取れる。裏面の書込みから、最晩年に当たる1943年春の作である。



No. 95 《たまねぎ》



No. 96 《れもん》

(3) 高中惣六の漆作品《乾漆根来輪花盛器》など5点

高中惣六(明治33年－昭和49年 1900－1974)は広島県因島市に生まれ、宮城県立工業学校漆工科を卒業。高中美文(明治42年東京美術学校卒業、惣六の叔父)、次いで石井士口(東京美術学校助教授)に師事した。大正12年宮中賢所正殿の修理に従事。同年、関東大震災のため帰郷・独立し、昭和5年から広島県三原市城町で制作に従事。昭和7年広島県美術協会会員となり審査委員を務め、特別会員に推される。昭和12年天皇陛下が江田島兵学校に行幸の際、乾漆花瓶を天覧に供した。同年中国四国9県連合展で特賞受賞など。戦後は晩照会(備後地方50歳以上の作家で構成)、日本工芸会に所属し、出品した。

No. 97《乾漆根来輪花盛器》は乾漆技法により稜花を軽やかに象った高坏形の盛器、No. 98《乾漆青貝平鉢》は円形の周縁に面取を施した乾漆製平鉢で見込に放射状に蛇行する青貝螺鈿を施し、側面には巻貝螺鈿を埋め込む。乾漆技法の追求はこの作家の最大の特徴の一つであり、また、広い面を接ぎ合わせる青貝螺鈿や巻貝の螺鈿もこの作家の技法・作風の特徴をなす。後者は当館が所蔵する《乾漆菓子器》(径26cm×高8cm、1971・昭和46年制作、第18回日本伝統工芸展)と同系統の作品であり、より入念・大胆である。両作品とも底裏に金蒔絵銘「惣六作」が記されている。

No. 99《ネジ梅蒔絵中棗》、No. 100《むさし野中棗》、No. 101《宝珠形秋草蒔絵香合》はいずれも瀟洒なデザインの蒔絵が施された茶器であり、特にNo. 101に見られる平日粉や微塵貝のあしらいは作家の特徴が現れている。No. 100は本体に銘はなく箱書に「塗師惣六」とあり、No. 99は金蒔絵銘「惣」、No. 101は金蒔絵銘「惣六作」が底裏に記されている。いずれも共箱を伴うが、制作年に繋がる箱書きは見当たらない。



No. 97 《乾漆根来輪花盛器》



No. 98 《乾漆青貝平鉢》

(4) 高中隆司の漆作品《乾漆菊形盛器》など4点

高中隆司(大正15年－平成24 1926－2012)は、広島県因島市に生まれ、幼少期に三原市へ転居。父の高中惣六について漆芸を学ぶ。昭和24年第1回広島県美術展で県知事賞を受賞するなど実績を積み、同展無鑑査・審査員となる。また昭和38年以後日本伝統工芸展中国支部展に出品してしばしば受賞し、伝統工芸展(本展)にも昭和47年から出品。父に続き小林和作と親交が深く、合作もある。三原市文化協会美術部長、広島県工芸美術作家協会理事として地域の美術振興に貢献した。

No. 102《乾漆菊形盛器》は乾漆成形の典型とも言える造形であるが、著しく多弁の輪花としたところに乾漆造形としての挑戦が感じられる。底裏に「隆」の金蒔絵銘。No. 103《乾漆果物盛器》は第1回広島県美術展県知事賞受賞作品で地域文化史上の重要作品であり、稜花を象った高坏形の盛器で巻貝螺鈿があしらわれており、父子に継続した乾漆造形の追求や特徴的な装飾技法が伺われる。共箱蓋裏に「隆二作」。No. 104《中棗 春の山》は高中隆司が髹漆を施した上に、小林和作(尾道に在住した洋画家)が漆絵を描き、隆司が蒔絵を施したもので、地域文化の様相の一端を物語る。底裏に「隆」側面に「和作」の金

蒔絵銘が記される。

No. 105《乾漆盛器》は、通常は轆轤成形によるであろう円形器物の乾漆作品。径約42cmのスケールがあり、漆絵と箔絵による鉄線唐草の瀟洒な装飾がほどこされ、他作にないモダンで軽快なかわいらしさがある。寄贈者の記憶によると昭和40年代頃の制作と思われる。箱書きには「隆二作」とあるが、底裏には「竜」の金蒔絵銘が記される。作者は本名を「隆二」作家名を「隆司」とするが、昭和52年第24回日本伝統工芸展など作家名を「竜」とすることもあったようだ。



No. 103 《乾漆果物盛器》



No. 104 《中棗 春の山》

(5) 鯉城政廣《堆彩漆菓子鉢付取箸》

鯉城政廣は、略歴不詳の人物でその生涯は判然としなない。七代金城一国斎の調査によっても現時点では明らかではない。作品裏に記された漆銘に鯉城政廣とあるため、広島的人物、あるいは広島で活躍した人物であると考えられる。

本作品は、金城三代一国斎の作品と見間違え程その特徴をよく捉えている。木地の部分を大きく残して堆彩漆(高盛絵)を施す文様配置、葉脈の描き方、植物の好み、ニガウリや蜂の配置の仕方、特に盛り上げた漆の葉の緑色などは、三代一国斎の影響を抜きにしては語れないものである。附属の取箸にも植物と鉢の高盛絵を施し、繊細な表現が見られる。



No. 106 《堆彩漆菓子鉢付取箸》

(6) 《西王母図大徳利》

本資料は、高さ63.5センチもある大きな徳利である。寄贈者の祖父が「江波焼八升徳利 若山記念 一個」と遺言の家具分配の中に記したものを受け継いだという。桃を手にした西王母と「藝陽竹山 道亭製」の銘が鉄釉で書かれている。「藝陽」は安芸国瀬戸内沿岸地域を示し、「竹山」は窯の名称、「道亭」は絵付けした人物の名と思われる。竹山の銘は、19世紀前半に現れた広島の窯である竹屋窯で使われたと考えられている。同時期には江山を名乗る江波窯も稼働しており、二つの窯の関連性に着目する説もある。しかし、これらの窯の状況は断片的で未だ全像は解明されていない。本資料は、現在のところ、日本に残存している唯一の竹屋窯の作例で、広島はやきもの研究にとって数少ない貴重な資料である。

お雇い外国人として知られるアメリカのエドワード・S・モースは3度にわたり来日し、1882(明治

15)年、3度目は民具や陶器収集が目的で、フェノロサやビゲローらと関西や中国地方を旅している。モースは収集した日本陶器を『モース日本陶器コレクション目録』としてまとめ、現在は知ることができない窯の陶器も含まれ、日本陶器五千点を収載した世界随一の資料群で、ボストン美術館がすべてを収蔵している。そのコレクションにはモースが明治15年に広島で収集した竹屋窯の作例が含まれており、『同目録』に「文政戊午 藝陽竹山 松花製 道亭画」と紹介されている。同書の安芸国の項では、竹屋窯や江波窯についての記述もあるという。本資料はボストン蔵の陶磁資料との関係性が期待され、今後の調査研究により明治期広島の陶磁器生産に関する状況が明らかになる可能性を秘めている。



No. 107 《西王母図大徳利》

（7）国盛義篤《曇日の水辺》

国盛義篤(明治30年－昭和26年 1897－1951)は、本県山県郡出身で後に広島に転居。はじめ、京都絵画専門学校で日本画を学ぶが、間もなく洋画に転向。大正末期から春陽会を中心に作品を発表し、1925年と26年には春陽会賞を連続受賞している。戦後は京都市立美術大学で後進の指導にもあたるなど、京都を拠点に活躍した広島を代表する洋画家の一人である。

曇日の薄い陽射しが川面を鈍く照らし、余寒を感じさせる早春の川辺を描く。裏面の書込みから、1932年3月の作である。画業初期には温かみのある色彩を用いた抒情的な作品を描いていた作者だが、この時代には次第に落ち着いた色調へと移行。本作では、近景の草地や遠景の家並といった個々の対象を簡略化し、抑えた色彩を用いてやや平板な色面として描き出すことで、くすんだ空が包み込む統一感ある情景とともに、空間を埋める早春の大気の表現にも成功している。第10回春陽会展(1932年)の出品作である。

（8）小早川篤四郎《裸婦》

小早川篤四郎(明治26年－昭和34年 1893－1959)は、広島市出身。幼少時に台湾に移住し、明治末期に帰国。大正初期に上京して、岡田三郎助に学び、大正末期から帝展や東光展で活躍した。戦中は従軍画家として上海などをまわり、戦争記録画も描くが、1945年に岡山県津山市に転居。同地では津山洋画研究所を設立するなど後進の指導にもあたっている。

横たわる裸婦を画面いっぱいに捉え、健やかな姿態を強調した画面。手前の布や食器類などがやや作りこんだ印象を与えるものの、安定感のある構図と手慣れた描写で、画面を破綻なくまとめている。裏面には、画家が1945年に転居した岡山県津山市の住所があることから、同地を離れる1952年頃までに描かれたと考えられる。遺族によると、師・岡田三郎助の影響で、人物画の大作を制作の中心にしていたといい、本作もその系譜に位置づけられる晩年の作である。

Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的(展覧会名)	会期・場所
日本画	田中 頼璋	庭園	島根県立石見美術館 神戸ファッション美術館 東京都庭園美術館 読売新聞東京本社事業局 美術館連絡協議会	子どもとファッション展	28.02.27～04.11(島根県立石見美術館)
	和高 節二	村の子供			28.04.23～06.05(神戸ファッション美術館)
水彩画	南 薫造	うしろむき			28.07.16～08.31(東京都庭園美術館)
油彩画	南 薫造	ピアノ			※《庭園》、《村の子供》、《うしろむき》の展示は、島根会場のみ
	南 薫造	小童			
油彩画	藤田 嗣治	婦人像(リオ)	名古屋市美術館 中日新聞社	生誕130年記念 藤田嗣治展～東と西を結ぶ絵画～	28.04.29～07.03(名古屋市美術館)
油彩画	名井 萬亀	初空襲	兵庫県立美術館 広島市現代美術館 読売新聞東京本社事業局 美術館連絡協議会	1945年±5年	28.05.21～07.03(兵庫県立美術館)
	名井 萬亀	トランプ			28.07.30～10.10(広島市現代美術館)
	桂 ゆき	春			
日本画	児玉 希望	飛泉淙々	山口県立美術館 松本市美術館 山口朝日放送株式会社	遥かなる山―発見された風景美	28.05.26～07.03(山口県立美術館) 28.07.16～09.04(松本市美術館) ※展示は、各会場とも半期
油彩画	和田 貢	漁夫	ふくやま美術館	画業70年 和田貢	28.06.29～09.04(ふくやま美術館)
	和田 貢	少女たちのパレード			
油彩画	ルネ・マグリット	人間嫌いたち	ベルギー近代美術の精華展 実行委員会 姫路市立美術館	日本・ベルギー友好150周年 ベルギー近代美術の精華展	28.07.02～08.25(姫路市立美術館)
陶 磁	八木 一夫	人物	群馬県立館林美術館 静岡県立美術館 三重県立美術館 読売新聞東京本社事業局 美術館連絡協議会	再発見！ニッポンの立体	28.07.16～09.19(群馬県立館林美術館) 28.11.15～29.01.09(静岡県立美術館) 29.01.24～04.09(三重県立美術館)
日本画	児玉 希望	緑塊(新水墨画十二題)	京都国立近代美術館	あの時みんな熱かった！ アンフォルメルと日本の美術	28.07.29～09.11(京都国立近代美術館)
	児玉 希望	白崖(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	滴律(新水墨画十二題)			
	児玉 希望	徑(新水墨画十二題)			
陶 磁	河井寛次郎	青磁観音菩薩像	美術館「えき」 KYOTO 毎日新聞社	没後50年 河井寛次郎展～過去が咲いてゐる今 未来の蕾で一杯な今～	28.09.15～10.23(美術館「えき」KYOTO)
油彩画	南 薫造	小童	東京ステーション ギャラリー 和歌山県立近代美術館 下関市立美術館 読売新聞東京本社事業局 美術館連絡協議会	動き出す！絵画 ペール 北山の夢―モネ、ゴッホ、 ピカソらと大正の若き洋画家たち	28.09.17～11.06(東京ステーションギャラリー) 28.11.19～29.01.15(和歌山県立近代美術館) 29.01.28～03.12(下関市立美術館)

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的(展覧会名)	会期・場所
陶 磁	林 康夫	作品	鳥取県立博物館 埼玉県立近代美術館 高知県立美術館 読売新聞東京本社事業局 美術館連絡協議会	日本におけるキュビズム ーピカソ・インパクト	28.10.01～11.13(鳥取県立博物館) 28.11.23～29.01.29(埼玉県立近代美術館) 29.02.12～03.26(高知県立美術館)
日本画	平山 郁夫	黄河(晨)	平山郁夫美術館 中国新聞備後本社	平山郁夫が描く シルク ロード・日本の街道	28.10.08～12.16(平山郁夫美術館)
染 織	森口 邦彦	友禅着物「溪流」	パリ日本文化会館(国際交流基金)	森口邦彦ー伝統と革新	28.11.16～12.17(パリ日本文化会館)
	森口 邦彦	友禅着物「新雪」			
	森口 邦彦	友禅着物「光波」			
素 描	殿敷 侃	作品(顔)	広島市現代美術館	殿敷侃：逆流の生まれる ところ	29.03.18～05.21(広島市現代美術館)
	殿敷 侃	予告			
	殿敷 侃	作品(身体)			
日本画	平山 郁夫	天山南路(昼)	奈良県立美術館 産経新聞社	祈りの美～清水公照・平 山郁夫・杉本健吉…	29.01.14～03.15(奈良県立美術館)
日本画	平山 郁夫	浅春	平山郁夫美術館	開館20周年記念 平山郁 夫 平和の祈り	29.03.18～05.21(平山郁夫美術館)
	平山 郁夫	母子			
	平山 郁夫	広島生変図			
油彩画	久保田辰男	家族	久保田辰男絵画展実行委員会	久保田辰男絵画展～ふる さと・牛歩の50年	29.03.28～04.02(広島県立美術館 県民ギャラリー)

Ⅸ 関係法規

広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成28年10月12日

(設 置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、広島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位 置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上幟町とする。

(業 務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設(以下「展示施設」という。)その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

(職 員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

(指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例(平成16年広島県条例第28号)の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 展示施設等及び駐車場の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関すること。
- (5) 美術館の入館料の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

(開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日にあたる場合を除く。)
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

(利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可(以下「利用許可」という。)をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

(利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

(展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

(入館料の納付等)

第11条 美術館の展示する美術品等を観覧する者は、別表第一に定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

(利用料金の納付等)

第12条 展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第二及び別表第三に定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

(入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
 - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
 - (3) 療育手帳の交付を受けている者
 - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
 - (5) 六十五歳以上の者
 - (6) 県内の大学又はこれに準ずる学校に在学する外国人留学生
 - (7) 小学校、中学校、高等学校又はこれらに準ずる学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者の引率者
 - (8) 祝日法第二条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
 - (9) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示(以下「特別展」という。)と併せて観覧する者
 - (10) その他知事が別に定める者
- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、特別展に係る入館料を減免することができる。
- (1) 祝日法第二条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童、中学校の生徒又はこれらに準ずる者
 - (2) 祝日法第二条に規定する文化の日に入館する者
 - (3) ひろしま教育の日を定める条例(平成十三年広島県条例第四十号)第三条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者
 - (4) その他知事が別に定める者

(利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。

- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
- (2) 前条第一項第一号から第四号までに掲げる者(以下「身体障害者等」という。)又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
- (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。
- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
- (5) 幼保連携型認定こども園又は幼稚園、小学校、中学校若しくはこれらに準ずる学校の校長(幼保連携型認定こども園及び幼稚園にあつては、園長)が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼保連携型認定こども園の幼児又は当該幼稚園の幼児、当該小学校の児童、当該中学校の生徒若しくはこれらに準ずる者が利用するとき。

- (6) その他教育委員会が別に定める場合
- 2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。
 - (1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。
 - (2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

(利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用許可の取消し等)

- 第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。
- (1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。
 - (2) 第九条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
 - (3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。
 - (4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。
 - (5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。
- 2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

(遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- (3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- (4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。
- (5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。
- (6) 指定管理者の指示に従うこと。
- (7) その他教育委員会が定める事項

(禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他危険物等の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

(入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

(原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき(利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。)は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

(損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

(委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

- 1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事がある徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則(平成19年3月15日条例第21号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。(平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行)

(経過措置)

3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定によってした処分、手続その他の行為であって、この条例による改正後のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。

4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例(これに基づく規則その他の規程を含む。)の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月25日条例第56号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。
(定める日=平成19年12月26日)

附 則(平成22年6月28日条例第31号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年7月11日条例第31号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月26日条例第23号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月16日条例第三号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月22日条例第7号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成28年10月12日条例第47号)

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

別表第1(第12条関係)

1 所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大学生及びこれに準ずる者	1人1回310円	1人1回250円	1人1回250円
その他15歳以上の者 (中学校又は高等学校の生徒 及びこれに準ずる者を除く。)	1人1回510円	1人1回410円	1人1回410円

2 特別展の場合

1人1回 2,090円以内で知事が定める額

別表第2(第12条関係)

展示施設等の利用料金の範囲

施設区分		第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
入場料有料の場合	1時間につき	1,750円以内	2,990円以内	2,990円以内	2,990円以内	3,190円以内	4,840円以内
	1日につき	13,380円以内	23,870円以内	23,870円以内	23,870円以内	25,310円以内	
入場料無料の場合	1時間につき	930円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,650円以内	2,470円以内
	1日につき	6,690円以内	11,940円以内	11,940円以内	11,940円以内	12,660円以内	
電気設備を利用する場合		実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3(第12条関係)

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法(昭和26年法律第185号)第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき 1時間まで 1時間を超える時間30分までごとに	410円以内 210円以内

広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)
広島県条例第3号

(設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

(広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)
教育委員規則第1号

最終改正 平成29年3月23日教育委員会規則第1号

(趣 旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

(開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認

める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

(展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

- 2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

(駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者(以下「駐車場利用者」という。)は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

- 2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

(利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

(利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

- 2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号又は同条第二項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金(条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。)を免除する。

- 2 条例第十四条第一項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。
- 3 条例第十四条第一項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。
- 4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨ててのものとする。

(利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第二項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

- 2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

(補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則(平成二九年三月二三日教育委員会規則第一号)抄

(施行期日)

- 1 この教育委員会規則は、平成二十九年四月一日から施行する。

(広島県美術展開催運営規則の廃止)

- 2 広島県美術展開催運営規則(昭和五十二年広島県教育委員会規則第二号)は、廃止する。

広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)に広島県立美術館美術品等収集評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島県重要文化財はこの限りでない。

(委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

- 2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員

- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は再任することができる。

(臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、委員会の会議を総理する。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は(以下「会議」という。)は、必要に応じ美術館長が召集する。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
 - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
 - (2) 近代の工芸作品
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
 - (3) 近代の彫塑作品
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
 - (4) その他の美術作品
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
 - (5) 美術資料
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
 - (6) 補助的関連資料
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
 - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料
 - (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品
 - (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
 - (1) 絵画作品
 - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品

- 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品
- 3) 戦後における国際的評価の高い作家の作品
- (2) 工芸作品
 - 1) 東洋の伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式の作品
 - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
 - 3) 近代工芸確立期（1920 年代）及び戦後昂揚期（1960 年代）の作品
 - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品
 - 1920-1930 年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品
 - 1) 欧米作家等の作品
 - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻(立体)作品
 - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
 - (2) “手で見る彫刻”作品
 - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など
 - 近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など
 - わが国とアジア各国の優れた工芸作品(陶磁、染色、漆芸など)を収集する。
- 3 1920-1930年代(両大戦間)の美術作品など
 - 現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

広島県立美術館美術品等取扱要綱

(趣 旨)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則(昭和39年規則第33号。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(定 義)

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

(管 理)

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

(寄 託)

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長(以下「館長」という。)に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者(以下「寄託者」という。)に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等(以下「寄託品」という。)の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

(寄託期間)

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

(一時返還)

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

(返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

(受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

(寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

(寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めたときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

(寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附をしようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄付申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

(貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

(借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

(貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者(以下「借用者」という。)は、貸し付けを受けた美術品等(以下「借用美術品等」という。)を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

(報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長(以下「局長」という。)に報告しなければならない。

(補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則(昭和43年4月1日教育委員会規則第1号)に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

1 利用形態

① 常設展示室(2階)

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

② 企画展示室(3階)

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体(その機関を含む。)又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について(昭和54年3月29日)」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

③ 県民ギャラリー(地階)

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー(地階)

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

⑤ 図書館(1階)

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

⑥ 情報ギャラリー(1階)

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。

講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

広島県立美術館評価委員会設置要項

(設 置)

第1条 広島県立美術館(以下「美術館」という。)の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組 織)

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会 議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関すること
- (2) 美術館の事業計画の評価に関すること
- (3) 美術館の事業実績の評価に関すること
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関すること

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶 務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成23年6月29日から施行する。

X 名 簿

美術品等収集評価委員会

委員長	白石和己	山梨県立美術館長
委員	井関和代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	島田康寛	元神戸市立小磯記念美術館長
〃	菅村亨	広島大学大学院教育学研究科教授
〃	中林和雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館副館長
〃	谷新	宇都宮美術館館長
〃	山梨俊夫	国立国際美術館長

広島県立美術館評価委員会委員

委員長	蓑豊	兵庫県立美術館館長
委員	大小田博之	(一社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	河野高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川敏之	美術作家・就実短期大学教授
〃	竹内泰彦	広島県立美術館友の会会長
〃	永野正雄	(株)テレビ新広島相談役
〃	水沢勉	神奈川県立近代美術館館長
〃	山下治子	雑誌ミュゼ編集長

職員

館長	千足伸行
副館長	前田恭正
総務課長	下瀬浩三
事業調整員	三浦緑
事業調整員	寶諸亜希子
事業調整員	植原聡子
学芸課長	福田浩子
主任学芸員	宮本真希子
〃	角田新
〃	藤崎綾
学芸員	神内有理
〃	門田彩
〃	山下寿水
〃	隅川明宏

平成28年度

広島県立美術館年報

平成29年12月25日発行

発行者 **広島県立美術館**

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

電話 (082) 221-6246

印刷所 **株式会社 タクトープリントメディア**

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目2-30

電話 (082) 244-1110

(人名については、敬称略)